フジテック株式会社

◆本社	〒522-8588	滋賀県彦根市宮田町591番地1(ビッグウィング)	TEL(0749)30-7111
◆東京本社	〒108-8307	東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー	TEL(03)4330-8200
◆首都圏統括本部	〒108-8307	東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー	TEL(03)4330-8202
新宿営業所	〒160-0023	東京都新宿区西新宿八丁目1番1号 アゼリアビル	TEL(03)6744-9210
日本橋営業所	〒103-0027	東京都中央区日本橋二丁目13番10号 日本橋サンライズビルディング	TEL(03)5202-7088
■北海道支店	〒060-0042	北海道札幌市中央区大通西8丁目1番地1 朝日生命札幌大通ビル	TEL(011)281-1070
旭川営業所	〒070-0030	北海道旭川市宮下通九丁目766番地 キタノビル	TEL(0166)23-1962
釧路営業所	〒085-0046	北海道釧路市新橋大通五丁目1番9号 ピースビル釧路	TEL(0154)24-0054
函館営業所	〒040-0011	北海道函館市本町7番24号 MDビル五稜郭	TEL(0138)56-6522
■東北支店	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町一丁目9番1号 仙台トラストタワー	TEL(022)222-0271
盛岡営業所	〒020-0023	岩手県盛岡市内丸17番7号 内丸US	TEL(019)654-1066
秋田営業所	〒010-0003	秋田県秋田市東通五丁目6番1号	TEL(018)833-2752
山形営業所	〒990-0039	山形県山形市香澄町二丁目5番16号 香澄ビル	TEL(023)615-0293
郡山営業所	〒963-8852	福島県郡山市台新一丁目31番3号	TEL(024)932-1970
■東関東支店	〒260-0013	千葉県千葉市中央区中央一丁目11番1号 千葉中央ツインビル1号館	TEL(043)224-2271
■北関東支店	〒330-0843	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町一丁目75番地1 太陽生命大宮吉敷町ビル	TEL(048)645-0480
宇都宮営業所	〒321-0953	栃木県宇都宮市東宿郷四丁目1番20号 山口ビル	TEL(028)636-7055
■横浜支店	〒221-0052	神奈川県横浜市神奈川区栄町5番地1 横浜クリエーションスクエア 3F	TEL(045)451-1601
■北信越支店	〒950-0962	新潟県新潟市中央区出来島一丁目5番55号 メイプルコート・ウエダ	TEL(025)283-6166
富山営業所	〒930-0018	富山県富山市千歳町一丁目6番18号 河口ビル	TEL(076)432-2277
北陸営業所	〒920-0867	石川県金沢市長土塀一丁目16番14号 丸昌ビル	TEL(076)261-5108
福井営業所	〒910-0018	福井県福井市田原二丁目20番17号 近藤ビル	TEL(0776)26-3534
長野営業所	〒380-0816	長野県長野市三輪田町1313番地 クイーンズ・ケービル	TEL(026)234-4522
■名古屋支店	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦二丁目2番2号 名古屋丸紅ビル	TEL(052)229-1805
■静岡支店	〒420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町20番地3 富士岡第2ビル	TEL(054)255-3701
浜松営業所	〒432-8058	静岡県浜松市南区新橋町1805番地1	TEL(053)445-3010
◆近畿統括本部	〒567-8510	大阪府茨木市庄一丁目28番10号(ビッグフィット)	TEL(072)622-8379
奈良営業所	〒630-8122	奈良県奈良市三条本町1番83-6号	TEL(0742)36-1156
和歌山営業所	〒640-8323	和歌山県和歌山市太田三丁目10番21号	TEL(073)475-6590
■京滋支店	〒600-8007	京都府京都市下京区四条通高倉西入立売西町82番地 京都恒和ビル	TEL(075)231-7144
滋賀営業所	〒520-2153	滋賀県大津市一里山一丁目17番7号	TEL(077)544-2580
■神戸支店	〒650-0024	兵庫県神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルⅡ	TEL(078)391-4795
■広島支店	〒730-0013	広島県広島市中区八丁堀7番2号 JDS八丁堀ビル	TEL(082)223-6733
岡山営業所	〒700-0825	岡山県岡山市北区田町一丁目2番10号 ゴフェルビル	TEL(086)232-1606
山口営業所	〒754-0021	山口県山口市小郡黄金町4番3号 谷口ビル	TEL(083)972-4988
松江営業所	〒690-0015	島根県松江市上乃木三丁目13番18号	TEL(0852)22-2852
鳥取営業所	〒680-0942	鳥取県鳥取市湖山町東一丁目779番地2	TEL(0857)32-2215
■四国支店	〒760-0023	香川県高松市寿町一丁目4番3号 高松中央通りビル	TEL(087)851-7130
松山営業所	〒790-0001	愛媛県松山市一番町二丁目5番地15 一番館ビル	TEL(089)943-3187
徳島営業所	〒770-0832	徳島県徳島市寺島本町東二丁目5番地1 元木ビル	TEL(088)623-0390
高知営業所	〒781-0073	高知県高知市北金田5番19号 トレソール北金田	TEL(088)884-0730
■九州支店	〒812-0024	福岡県福岡市博多区綱場町4番1号 福岡RDビル	TEL(092)281-0045
北九州営業所	〒802-0001	福岡県北九州市小倉北区浅野二丁目2番5号 VIP浅野ビル	TEL(093)531-7097
大分営業所	〒870-0021	大分県大分市府内町三丁目4番20号 恒和ビル	TEL(097)536-2520
長崎営業所	〒850-0045	長崎県長崎市宝町4番8号 松八ビル	TEL(095)846-4871
熊本営業所	〒860-0863	熊本県熊本市中央区坪井二丁目1番42号 SDK熊本ビル	TEL(096)341-4050
宮崎営業所	〒880-0803	宮崎県宮崎市旭二丁目2番9号 ベアーズ旭ビル	TEL(0985)25-6835
鹿児島営業所	〒892-0844	鹿児島県鹿児島市山之口町3番31号 住友生命鹿児島ビル	TEL(099)226-9555
■沖縄支店	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地三丁目25番6号	TEL(098)862-8747

お客さま相談室

0120-807-922 受付時間(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

安全に関するご注意
- ●法令を遵守してください。
- ●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

2020年4月版 XIORD2004-AT

FUJITEC

NEW

XIOR

エクシオール

設計資料

遮煙エレベータ乗り場ドア対応

2020年4月版

はじめに

いつもフジテックのエレベータをご愛顧賜り、誠にありがとうございます。
この「設計資料」は、お客さまがマシンルームレス・エレベータ〈エクシオール〉を設計および施工される際に、参考資料としていただくためのものです。
事前にこの資料をよくお読みいただき、正しくエレベータの設計および施工をしていただきますよう、お願い申し上げます。
なお、この「設計資料」は、エレベータを設計される方がいつでも利用できる所に、大切に保管してください。
ご不明な点などがございましたら、当社にお問い合わせください。

安全に設計していただくために

本書の《記号》について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。
それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。また、エレベータの認可を得ることもできないもの。
⚠注意	注意事項を守らないと、傷害またはエレベータが損傷を起こすおそれがあるもの。

メモ

目　次

Ⅰ エレベータの計画にあたって
Ⅰ-1 エレベータ実施設計上の注意事項……2
Ⅰ-2 バリアフリー新法について……6

Ⅱ P 乗用エレベータ
Ⅱ-1 計画編（一方向出入口）
1-1 エレベータの仕様、台数の選定……12
1-2 基本仕様……13
1-3 RC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……14
1-4 S造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……16
1-5 RC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【2枚両引き】…18
1-6 S造の場合の寸法例（積載1000kg超）【2枚両引き】……20
1-7 RC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【4枚両引き】…22
1-8 S造の場合の寸法例（積載1000kg超）【4枚両引き】……24
1-9 ２台並列設置の場合の配置例……26
Ⅱ-2 計画編（二方向出入口）
2-1 RC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……28
2-2 S造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……30
2-3 RC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【2枚両引き】…32
2-4 S造の場合の寸法例（積載1000kg超）【2枚両引き】……34
2-5 RC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【4枚両引き】…36
2-6 S造の場合の寸法例（積載1000kg超）【4枚両引き】……38
Ⅱ-3 計画編（展望用）
3-1 展望用の場合の寸法例（積載1000kg以下）……40
3-2 展望用の場合の寸法例（積載1000kg超）……42

Ⅲ R 住宅用エレベータ
Ⅲ-1 計画編（一方向出入口）
1-1 エレベータの仕様、台数の設定……44
1-2 基本仕様……45
1-3 RC造の場合の寸法例（R-6）……46
1-4 S造の場合の寸法例（R-6）……48
1-5 RC造の場合の寸法例（R-9）【60m以下の場合】……50
1-6 S造の場合の寸法例（R-9）【60m以下の場合】……52
1-7 RC造の場合の寸法例（R-9）【60m超の場合】……54
1-8 S造の場合の寸法例（R-9）【60m超の場合】……56
1-9 RC造の場合の寸法例（R-9トランク付）【60m以下の場合】…58
1-10 S造の場合の寸法例（R-9トランク付））【60m以下の場合】…60
1-11 RC造の場合の寸法例（R-9トランク付）【60m超の場合】…62
1-12 S造の場合の寸法例（R-9トランク付）【60m超の場合】…64
1-13 RC造の場合の寸法例（R-13）……66
1-14 S造の場合の寸法例（R-13）……68
1-15 RC造の場合の寸法例（R-15）……70
1-16 S造の場合の寸法例（R-15）……72
1-17 2台並列設置の場合の寸法例……74
Ⅲ-2 計画編（二方向出入口）
2-1 昇降路がRC造の場合の寸法例（R-9）……76
2-2 昇降路がS造の場合の寸法例（R-9）……78
2-3 昇降路がRC造の場合の寸法例（R-13）……80
2-4 昇降路がS造の場合の寸法例（R-13）……82
2-5 昇降路がRC造の場合の寸法例（R-15）……84
2-6 昇降路がS造の場合の寸法例（R-15）……86

Ⅳ B 寝台用エレベータ
Ⅳ-1 計画編（一方向出入口）
1-1 エレベータの仕様、台数の設定……88
1-2 基本仕様……89
1-3 RC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……90
1-4 S造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……92
1-5 RC造の場合の寸法例（積載1000kg超）……94
1-6 S造の場合の寸法例（積載1000kg超）……96
Ⅳ-2 計画編（二方向出入口）
2-1 RC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……98
2-2 S造の場合の寸法例（積載1000kg以下）……100
2-3 RC造の場合の寸法例（積載1000kg超）……102
2-4 S造の場合の寸法例（積載1000kg超）……104

Ⅴ E 非常用エレベータ
Ⅴ-1 計画編
1-1 エレベータ配置計画上のご注意……106
1-2 基本仕様……107
1-3 RC造の場合の寸法例……108
1-4 S造の場合の寸法例……110

Ⅵ S 人荷共用エレベータ
Ⅵ-1 計画編（一方向出入口）
1-1 エレベータの仕様、台数の設定……112
1-2 基本仕様……113
1-3 RC造の場合の寸法例……114
1-4 S造の場合の寸法例……116
Ⅵ-2 計画編（二方向出入口）
2-1 RC造の場合の寸法例……118
2-2 S造の場合の寸法例……120

Ⅶ F 荷物用エレベータ
Ⅶ-1 計画編（一方向出入口）
1-1 エレベータの仕様……122
1-2 基本仕様……123
1-3 RC造の場合の寸法例……124
1-4 S造の場合の寸法例……126
Ⅶ-2 計画編（二方向出入口）
2-1 RC造の場合の寸法例……128
2-2 S造の場合の寸法例……130

Ⅷ 出入口
Ⅷ-1 2枚片引き編
1-1 小枠幕板なし……132
1-2 大枠幕板なし……134
1-3 大枠幕板付き……136
1-4 ホールボタン・インジケーター一体型枠……138
1-5 ストライクパネル付き小枠……140
1-6 フロントパネル付き枠……142
Ⅷ-2 2枚両引き編
2-1 小枠幕板なし……144
2-2 大枠幕板なし……146
2-3 大枠幕板付き……148
2-4 ホールボタン・インジケーター一体型枠……150
Ⅷ-3 4枚両引き編
3-1 大枠幕板なし（RC造）……152
3-2 大枠幕板なし（S造）……154
3-3 大枠幕板付き（RC造）……156
3-4 大枠幕板付き（S造）……158
Ⅷ-4 2枚片引き編（荷物用）
4-1 小枠幕板なし……160
4-2 大枠幕板なし……162

Ⅸ 電気設備
Ⅸ-1 電源設備容量
1-1 1台/1回線……164
1-2 2台/1回線……166
Ⅸ-2 高調波流出電流……168
Ⅸ-3 非常用連絡装置……170
Ⅸ-4 電気設備……170
Ⅸ-5 電気系統図……170

Ⅹ その他
Ⅹ-1 工事範囲について……171
Ⅹ-2 据付工程
2-1 積載1000kg以下……172
2-2 積載1000kg超……173
Ⅹ-3 仕様一覧表……174

Ⅰ エレベータの計画にあたって

⚠警告 建築基準法施行令を遵守してください。
（建築基準法施行令　第5章の4第2節）

Ⅰ－1　エレベータ実施設計上の注意事項

●乗降ロビー

●昇降路防火区画

エレベータ昇降路に防火区画が要求される場合は、令第112条に適合するようにしてください。
エレベータ昇降路に竪穴区画が要求される場合はエレベータの乗場開口部に遮煙性能を有する防火設備が必要です。
※エレベータ乗場ドア自体に遮煙性能を持たせた「遮煙エレベータ乗場ドア」（大臣認定品）を有償でご用意しております。

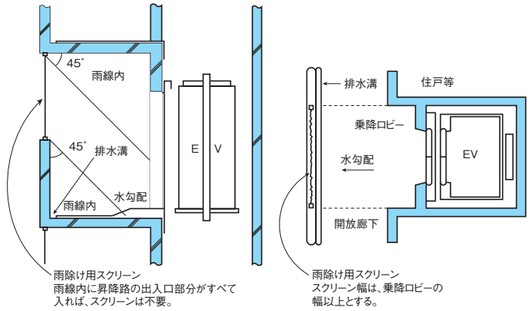
遮煙エレベータ乗場ドア（大臣認定品）

ガラス窓	防火設備の種類
有	令第112条第19項第二号の規定に適合する「防火設備」
無	令第112条第19項第二号の規定に適合する「特定防火設備」

〔注〕エレベータ乗場ドアをガラス窓付とする場合は防火設備となります。
面積区画等にて特定防火設備が必要とされる場合は、別途特定防火設備を設けていただく必要があります。

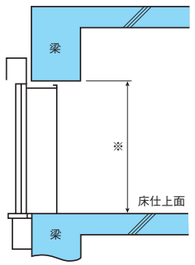
●乗降ロビー雨水対策

昇降路の出入口を開放廊下に面して設ける場合は、下図に準じた雨水対策を施工ください。また、積雪寒冷地においては、この他地域の気象条件に応じた対策が必要となります。（指導指針）



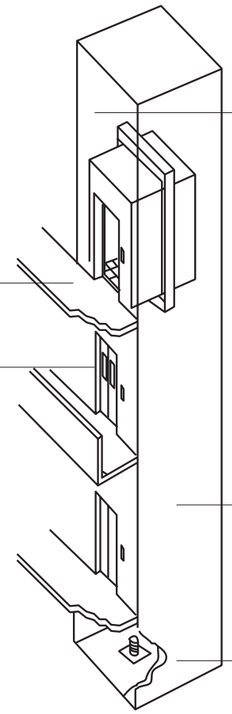
●枠と上部梁

エレベータの出入口上部に梁がある場合、梁の高さによっては出入口が取り付けられなくなることがありますので、下記について配慮ください。



※寸法は下記を確保ください。
- 住宅用フロントパネル付き小枠の場合
  出入口高さ+260㎜以上
- 大枠幕板付きの場合
  幕板上端+50㎜以上
- その他の枠の場合
  出入口高さ+70㎜以上
- ドア形式4枚両引きで遮煙エレベータ乗場ドアの場合
  出入口高さ+120㎜以上

〔注〕指導指針は「昇降路・遊戯施設　設計・施工上の指導指針」（'94版）の略です。



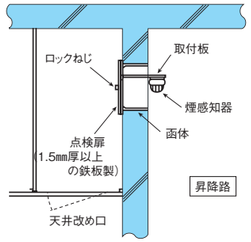
●昇降路出入口ドア

共同住宅等の建築物におけるエレベータは、かご内の犯罪を防止するため、出入口のドアに防犯窓を設けなければなりません。ただし、下記いずれかの設備を設けることにより防犯上支障がない場合などは、この限りではありません。（指導指針）
- かごに監視カメラを設けて昼夜共常駐の管理人が監視する場合
- 建物の出入口にオートロック設備が設けられている場合
- かご内に防犯ブザーを設置している場合

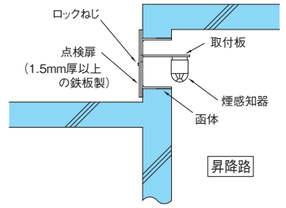
〔注〕行政によっては、上記と異なる行政指導を受ける場合があります。

●煙感知器

消防法により、火災報知設備の中の一つである煙感知器を昇降路頂部に設置する場合、この感知器はエレベータの運行に支障を与えることなく、保守点検ができる構造としてください。（指導指針）
点検扉が屋外に設置される場合は雨水対策をしてください。



施工例（屋内）



施工例（屋外）

●昇降路の壁

昇降路の壁または囲いは次の要件を満たすよう施工ください。
- 難燃材料で造りまたは覆うこと（令第129条の7）
- 任意の5㎠の面に300Nの垂直荷重が作用しても、15mm以上の変形や塑性変形が生じないこと（平成20国告示1454号）
- 昇降路内側は平滑な壁面とすること
- RC壁の厚さが150mm以上あること（積載が1000kgを超える場合は条件により必要壁厚が厚くなる場合がありますので当社にご相談ください）
  尚、コンクリートの強度は21N/㎟（Fc21）以上確保ください。また、昇降路壁に電気配管などを埋め込む場合は平面位置を当社にご相談ください。

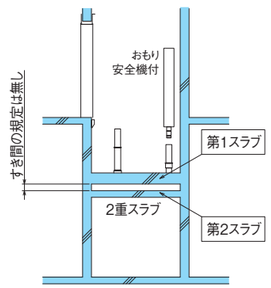
●ピット防水工事

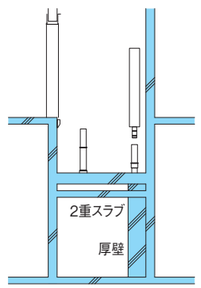
ピット部分は、地下水等による漏水のおそれのある場合は、防水モルタル等により防水工事を施工ください。（指導指針）

●ピット床下部使用

ピット床下部を人が数多く出入りする居室や通路などに使用することはできません。やむを得ず人の出入りの少ない物置等に使用する場合は、次のいずれかの措置が必要です。（ただし、特定行政庁によっては許可されない場合がありますので個別に特定行政庁に確認する必要があります）
- ピット床を二重スラブとし、つり合いおもり側にも非常止め装置を設けること
- ピット床を二重スラブとし、つり合いおもり側直下部を厚壁にすること

〔注〕釣合おもりに非常止め装置を設ける場合は、昇降路必要寸法が大きくなりますので、当社にご相談ください。





●昇降路内設備

昇降路内に建築物に設ける給水、排水、その他エレベータに必要でない配管設備は施工しないでください。（令第129条の2の5）

●昇降路内の温度

機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により昇降路内の温度が40℃を超える場合は、部品の劣化進行防止や故障発生防止の面から昇降路に換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備を設けてください。（平12建告知第1413号第1第三号二）

●居室レイアウト

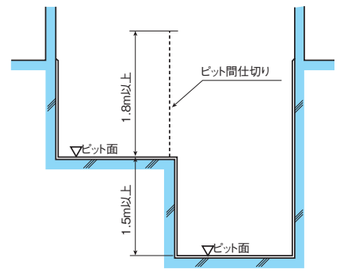
昇降路に隣接しての居室レイアウトは出来るだけ避けてください。

●ピットコンセント

ピット内に必ずコンセントをピット床から手の届く高さで原則として1台1個設けてください。（1φAC100V10A）

●ピット間仕切り

隣接昇降路との間で、ピットに1.5m以上の段差がある場合は、その間に人が乗り越えられない高さ1.8m以上の転落防止のための金網等を設けてください。（指導指針）



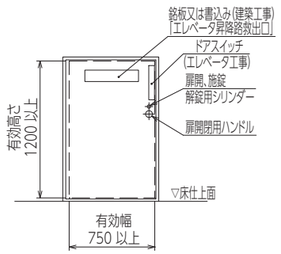
Ⅰ－1　エレベータ実施設計上の注意事項

●昇降路救出口・非常着床出入口

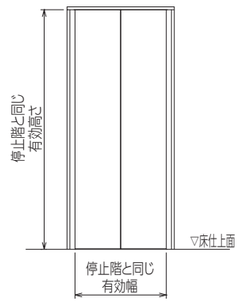
名称	昇降路救出口	非常着床用出入口
目的	出入口を設けない階でのかご内乗客を昇降路外部から救出する	地震時に早期な最寄階着床を行い、かご内乗客を避難させる
設置条件	停止階間の距離が10mを超える場合	地震時管制運転装置付の時に出入口のない昇降路の部分が長い場合
設置場所	10mを超えない範囲	最大42m以内で速度に応じて30秒以内で停止できる距離　※
構造条件	●昇降路の内側及び外側のいずれからも鍵を使用しなければ開かないこと ●自閉機能付、自動施錠	サービス階と同様の着床装置及び、かご着床時にかごドアを 自動的に開閉する機構を設ける(乗場表示器、押ボタンは不要)
寸法	幅:750mm以上　高さ:1200mm以上	停止階の出入口幅及び高さと同じ寸法

速度	出入口間距離
45m/min	17m
60m/min	22m
90m/min	32m
105m/min	37m
120m/min	42m

※30秒で停止可能な出入口間最大距離(参考値)



昇降路救出口
(建築工事)



非常着床用出入口
(エレベータ工事)

(1)昇降路側の扉面からかご敷居先端までの水平距離は30mm以上125mm以下
(2)救出口の敷居先端からかご敷居先端までの水平距離は30mm以上40mm以下
(3)昇降路の防火区画に適合する性能としてください。

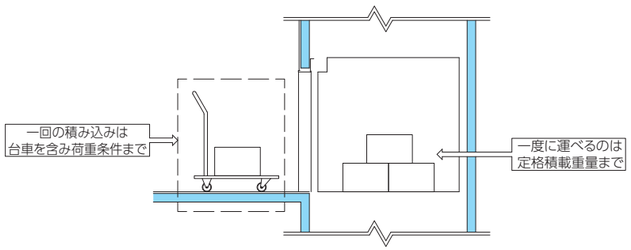
●定格積載・荷重条件

下記条件を確認いただき、運搬する物に合ったエレベータを計画願います。
(1)定格積載重量を超えて荷物を運ぶことはできません。(定格積載重量は各種用途ごとの基本仕様ページをご参照ください)
(2)本書に掲載のエレベータはフォークリフトの乗り込みには対応しておりません。荷物の積み込みは、4輪手押し台車をご使用ください。
　(フォークリフト対応のエレベータを計画される際は当社にご相談ください)
(3)一度に重い荷物を積み込むと、かご床仕上材の破損や、床下地材が変形する恐れがあります。
　荷物は定格積載重量の範囲内で、荷重条件以下に分けて積み込んでください。
　(荷重条件には荷物を運ぶ台車の重量も含みます)

基本仕様での荷重条件は用途・機種によらず250kgとなります。
対応可能な最大荷重条件は下記の通りです。

用途	乗用	住宅用	寝台用(標準装備仕様)					人荷共用(有償付加仕様)			荷物用(有償付加仕様)				
機種	全て	全て	B-11	B-15	B-17	B-20	B-23	S-20L	S-22L	S-26L	F-750	F-1000	F-1500	F-2000	F-2500
荷重条件[kg]	250	250	675	800	800	800	800	800	800	800	600	800	1000	1000	1000

※上記は4輪台車を使用した場合の荷重条件となります。
※本書に記載のない、かごサイズの場合は当社にご相談ください。



●二方向出入口　(正背)かご開閉機器装置の点検対策

下図のように一方の乗場出入口が最下階のみの場合、対策1～3のいずれかの対策が必要となります。

積載1000kg以下

出入口有効高さ	ピット深さ(mm)
2000	1700
2100	1600

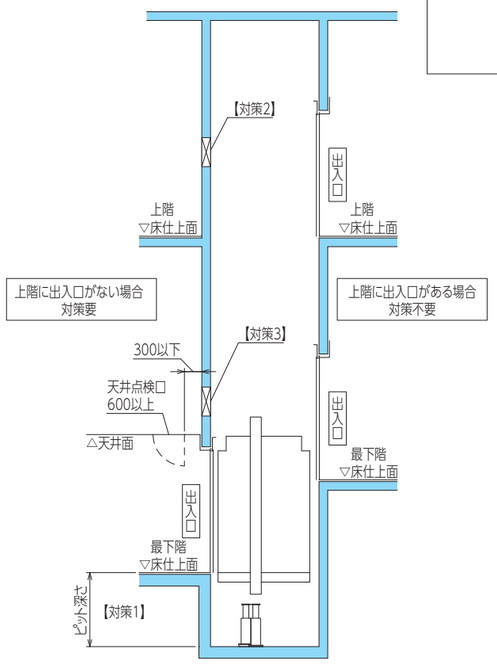
※基本仕様(天井高さ2250mm)の場合のみ
基本仕様と異なる場合は、当社にご相談ください。

積載1000kg超

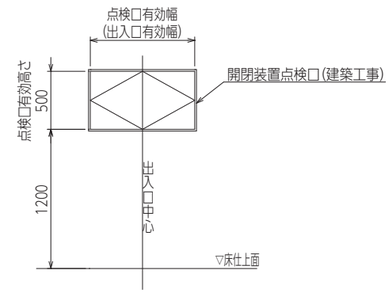
速度(m/min)	ピット深さ(mm)
45,60	1650
90	1800
105	1950
120	2000

※基本仕様(天井高さ2250mm、
出入口有効高さ2100mm)の場合のみ
基本仕様と異なる場合は、当社にご相談ください。

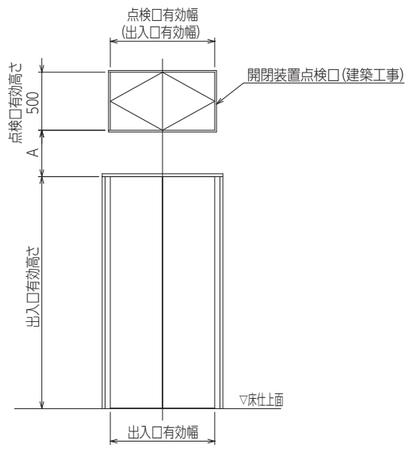
【対策1】　ピット深さ拡大



昇降路断面図



【対策2】　上方階に点検口設置



A寸法(mm)

扉形式	RC造	S造
2枚両引き・片引き	300	400
4枚両引き	400	500

【対策3】　最下階出入口上部に点検口設置

・開閉装置点検口について
1. 点検口は建築工事にて施工ください。
2. 材質は鋼製としてください。
3. 対策2の場合で点検口の下端が床面から1800未満の時は
　自動施錠付としてください。
4. 対策3の場合は自動閉鎖付(ストッパー付)としてください。
5. 点検口の形式は片開き又は観音開きとしてください。
6. ドアスイッチ付(エレベータ工事)
7. 昇降路の防火区画に適合する性能としてください。

Ⅰ－2　バリアフリー新法について

バリアフリー新法は正式には、「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」で、次の施設や移動経路が対象となります。

①多数の人が利用する特定建築物　（学校、デパート、ホテル、共同住宅など）
②旅客施設、車両　（鉄道の駅、空港旅客ターミナル、旅客船ターミナルなど）
③道路　、　④路外駐車場　、　⑤都市公園

また、市町村が指定する重点整備地区内の施設や経路も対象となります。（計画の内容によります。）

●法律の主旨

高齢者、障がい者等の移動等の日常生活・社会生活における移動上・施設の利用上の利便性・安全性の向上の促進を図る。

●基準と適合義務

施設や移動経路の種類別に基準と適合義務が定められています。

①建築物移動等円滑化基準

・義務：　不特定多数または主として高齢者、障がい者が利用する床面積が2000㎡以上の特別特定建築物、または市町村が指定する重点整備地区内の建築物（計画で移動等円滑化を図るもの）
・努力義務：　多数の者が利用する特定建築物

②建築物移動等円滑化誘導基準

・義務：　計画認定を受ける特定建築物

③公共交通移動等円滑化基準

・義務：　旅客施設の新設または大幅な改良、市町村が指定する重点整備地区内の旅客施設（計画で移動等円滑化を図るもの）
・努力義務：　全ての旅客施設

④道路移動等円滑化基準

・義務：　国土交通大臣が指定する特定道路、市町村が指定する重点整備地区内の道路（計画で移動等円滑化を図るもの）
・努力義務：　全ての道路

⑤路外駐車場移動等円滑化基準
⑥都市公園移動等円滑化基準
　　エレベータに関する規定はありません。

●建築物移動等円滑化基準への適合

2000㎡以上の特別特定建築物に設ける１基以上のエレベータ、または重点整備地区内の建築物に設置する移動等円滑化を図るエレベータは、建築物移動等円滑化基準として下表に適合する義務が求められます。また、他の特定建築物に設ける１基以上のエレベータにも下表に適合するよう努力義務が課せられています。

項目	多数の人が利用するエレベータ	不特定多数の人が利用するエレベータ		不特定多数の人 及び主として視覚障がい者が利用するエレベータ
		床面積が2000㎡未満※	床面積が2000㎡以上※	
乗場ロビー	幅150ｃｍ×奥行150ｃｍ			
出入口幅	80ｃｍ以上			
かごの間口サイズ			140ｃｍ以上	
かごの奥行サイズ	135ｃｍ以上			
対応仕様	車いす仕様			車いす仕様、視覚障がい者仕様（点字、音声案内）
その他	エレベータは、多数の人が利用する居室、車いす使用者用の便房・駐車施設がある階及び地上階に停止すること。			

※　建築物の増築、改築、用途変更等の場合には、工事範囲の床面積が対象となります。

●建築物移動等円滑化誘導基準への適合

計画認定を受ける特定建築物には、建築物移動等円滑化誘導基準として次の要件に適合することが求められます。※

１．多数の人が利用するエレベータ全てについて、次の基準に適合すること。
　　乗場ロビーは幅150ｃｍ×奥行150ｃｍ、出入口幅は80ｃｍ以上、かごの奥行サイズは135ｃｍ以上。
２．１項によるほか、下表の基準に適合するエレベータを１基以上設けること。

項目	多数の人が利用するエレベータ	不特定多数の人が利用するエレベータ	不特定多数の人及び主として視覚障がい者が利用するエレベータ
乗場ロビー	幅150ｃｍ×奥行150ｃｍ	幅180ｃｍ×奥行180ｃｍ	
出入口幅	80ｃｍ以上	90ｃｍ以上	
かごの間口サイズ	140ｃｍ以上	160ｃｍ以上	
かごの奥行サイズ	135ｃｍ以上		
対応仕様	車いす仕様		車いす仕様、視覚障がい者仕様（点字、音声案内）
その他	エレベータは多数の人が利用する居室、車いす使用者用の便房・駐車施設・浴室・客室等ある階及び地上階に停止すること。		

※計画認定
建築物移動等円滑化誘導基準を満たす特定建築物は、所管行政庁の計画認定を受けることができます。
その際、建築主は支援措置（容積率算定の特例、税制等の助成、認定建築物としての表示制度）が受けられます。

●公共交通移動等円滑化基準への適合

公共交通事業者が新設・大規模な改良を計画している駅等の旅客施設や重点整備地区内の移動等円滑化を図る対象となる旅客施設には、駅等の出入口からプラットホーム等の乗降場に至るまでの経路について、公共交通移動等円滑化基準として下表の基準に適合するエレベータ及びスロープにより高低差を解消することが義務付けられています。
また、既設の旅客施設についても移動円滑化基準に適合するよう努力義務が課せられています。※1

項目	移動等円滑化された経路を構成するエレベータ	
	かご出入口単一タイプ	かご出入口二方向（正背）タイプ　※2
乗場ロビー	幅150ｃｍ×奥行150ｃｍ	
出入口幅	80ｃｍ以上	
かごの間口サイズ	140ｃｍ以上	円滑に乗降できる場合は制限がありません
かごの奥行サイズ	135ｃｍ以上	
対応仕様	車いす仕様、視覚障がい者仕様（点字、音声案内）、ガラス窓付き乗場戸またはかご内カメラ設置（かご二方向出入口の場合は開閉する側を知らせる音声装置が必要。）	

※1　既存の駅舎にも短工期で設置できる駅舎用エレベータ<ラクール>を別途用意しています。
※2　かご二方向出入口の場合は、車いす使用者がかご内で車いすを転回しないで前向きに乗降できるレイアウトであることが必要です。 この要件に適合できない場合は、かご出入口単一タイプの要件を満足する必要があります。

●道路移動等円滑化基準への適合

国土交通大臣が指定する特定道路や重点整備地区内で移動等円滑化を図る対象となる道路の立体横断施設には、下表の基準に適合するエレベータを設置することが義務付けされています。

項目	移動等円滑化された立体横断施設に設けるエレベータ	
	かご出入口単一タイプ	かご出入口二方向（正背）タイプ　※1
乗場ロビー	幅150ｃｍ×奥行150ｃｍ	
出入口幅	90ｃｍ以上	80ｃｍ以上
かごの間口サイズ	150ｃｍ以上	140ｃｍ以上
かごの奥行サイズ	150ｃｍ以上	135ｃｍ以上
対応仕様	車いす仕様、視覚障がい者仕様（点字、音声案内）、ガラス窓付き乗場戸（かご二方向出入口の場合は開閉する側を知らせる音声装置が必要。）	

※1　かご二方向出入口の場合は、車いす使用者がかご内で車いすを転回しないで前向きに乗降できるレイアウトであることが必要です。 この要件に適合できない場合は、かご出入口単一タイプの要件を満足する必要があります。

●路外駐車場移動等円滑化基準への適合

本基準にはエレベータに関する規定はありません。

●都市公園移動等円滑化基準への適合

本基準にはエレベータに関する規定はありません。

●その他

各都道府県から本法に関連する条例及び各市町村から整備要項が公布されている場合は、これらも本法に併せて準拠することが求められます。

〔注〕エレベータの仕様決定に際しては、所轄行政庁と十分に協議願います。

特定建築物	特別特定建築物
1.学校	1.盲学校、聾学校又は養護学校
2.病院又は診療所	2.病院又は診療所
3.劇場、観覧場、映画館又は演芸場	3.劇場、観覧場、映画館又は演芸場
4.集会場又は公会堂	4.集会場又は公会堂
5.展示場	5.展示場
6.卸売市場又は百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	6.百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗
7.ホテル又は旅館	7.ホテル又は旅館
8.事務所	8.保健所、税務署その他不特定かつ多数の者が利用する官公署
9.共同住宅、寄宿舎又は下宿	
10.老人ホーム、保育所、福祉ホームその他これらに類するもの	9.老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するもの（主として高齢者、身体障がい者等が利用するものに限る。）
11.老人福祉センター、児童厚生施設、身体障がい者福祉センターその他これらに類するもの	10.老人福祉センター、児童厚生施設、身体障がい者福祉センターその他これらに類するもの
12.体育館、水泳場、ボーリング場その他これらに類する運動施設又は遊技場	11.体育館(一般公共の用に供されるものに限る。)、水泳場(一般公共の用に供されるものに限る。)若しくはボーリング場又は遊技場
13.博物館、美術館又は図書館	12.博物館、美術館又は図書館
14.公衆浴場	13.公衆浴場
15.飲食店又はキャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの	14.飲食店
16.郵便局又は理髪店、クリーニング取次店、質屋、貸衣装屋、銀行その他類するサービス業を営む店舗	15.郵便局又は理髪店、クリーニング取次店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗
17.自動車教習所又は学習塾、華道教室、囲碁教室その他これらに類するもの	
18.工場	
19.車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場を構成する建築物で旅客の乗降又は待合いの用に供するもの	16.車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場を構成する建築物で旅客の乗降又は待合いの用に供するもの
20.自動車の停留又は駐車のための施設	17.自動車の停留又は駐車のための施設(一般公共の用に供されるものに限る。)
21.公衆便所	18.公衆便所
22.公共用歩廊	19.公共用歩廊

●適用機種

適用機種		内法 間口×奥行	バリアフリー新法 建築物移動等円滑化基準 多数の人が利用	不特定多数の人が利用 2000㎡未満	不特定多数の人が利用 2000㎡以上	不特定多数、視覚障がい者が利用 2000㎡未満	不特定多数、視覚障がい者が利用 2000㎡以上	建築物移動等円滑化誘導基準 多数の人が利用 1台以上	多数の人が利用 その他のEV	不特定多数の人が利用 1台以上	不特定多数の人が利用 その他のEV	不特定多数、視覚障がい者が利用 1台以上	公共交通移動等円滑化基準	道路移動等円滑化基準	路外駐車場移動等円滑化基準	都市公園移動等円滑化基準	手動車いす かご内で車いすを転回できる	手動車いす 乗り込んだ状態でそのまま出る	電動車いす 乗り込んだ状態でそのまま出る
P型	P－6	1400×850	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×
	P－9	1400×1100	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	P－11	1400×1350	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○
	P－11 正背	1400×1350	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	P－13	1600×1350	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	P－13 正背	1600×1350	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－15	1600×1500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－15 正背	1600×1500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－17S	1800×1500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－20S	1800×1700	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－24S（2枚ドア）	2000×1750	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－24S（4枚ドア）	2000×1750	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－24W	2150×1600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－26S	1800×2000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－30S	2000×2050	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－30W	2350×1750	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	P－38S	2350×2100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R型	R－6	1050×1150	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×
	R－9	1050×1520	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	R－9 トランク付き	1050×1520	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	R－9 正背	1050×1520	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	□	×	○	○	×	○	○

〔注1〕P型は乗用、R型は住宅用の意味です。
〔注2〕1台以上とは、複数台設置される場合に基準を満たすものが最低1台であることを示します。
〔注3〕適用機種欄の正背とは、正面と背面にそれぞれ出入口のあるかご出入口二方向タイプを示します。
〔注4〕建築物移動等円滑化基準の2000㎡未満、2000㎡以上とは、建築物の床面積を示します。
尚、増築、改築、用途変更等の場合には、工事範囲の床面積がこの対象となります。
〔注5〕手動車イスが転回できるかごサイズは、間口1400以上×奥行1350以上となります。
〔注6〕□印機種では、車いす使用者がかご内で車いすを転回しないで前向きに乗降できるレイアウトであることが必要です。

○：適合機種
□：適合機種（注6参照）
×：適合しない

●適用機種

適用機種		内法 間口×奥行	バリアフリー新法 建築物移動等円滑化基準 多数の人が利用	不特定多数の人が利用 2000㎡未満	不特定多数の人が利用 2000㎡以上	不特定多数、視覚障がい者が利用 2000㎡未満	不特定多数、視覚障がい者が利用 2000㎡以上	建築物移動等円滑化誘導基準 多数の人が利用 1台以上	多数の人が利用 その他のEV	不特定多数の人が利用 1台以上	不特定多数の人が利用 その他のEV	不特定多数、視覚障がい者が利用 1台以上	公共交通移動等円滑化基準	道路移動等円滑化基準	路外駐車場移動等円滑化基準	都市公園移動等円滑化基準	手動車いす かご内で車いすを転回できる	手動車いす 乗り込んだ状態でそのまま出る	電動車いす 乗り込んだ状態でそのまま出る
R型	R－13	1050×2000	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	R－13 正背	1050×2000	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	□	×	○	○	×	○	○
	R－15	1050×2200	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	R－15 正背	1050×2200	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	□	×	○	○	×	○	○
B型	B－11	1300×2300	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	B－11 正背	1300×2300	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	B－15	1500×2500	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○
	B－15 正背	1500×2500	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○
	B－17	1800×2500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
	B－17 正背	1800×2500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
	B－20	1800×2800	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
	B－20 正背	1800×2800	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
	B－23	2000×3000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
	B－23 正背	2000×3000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
S型	S－20L	1300×2300	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	S－20L 正背	1300×2300	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	□	×	○	○	×	○	○
	S－22L	1400×2300	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○
	S－22L 正背	1400×2300	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	S－26L	1500×2500	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	S－26L 正背	1500×2500	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

〔注1〕R型は住宅用、B型は寝台用、S型は人荷共用の意味です。
寝台用は、病院等で寝台、ストレッチャーに乗った方の輸送を主目的とする機種です。
（寝台用は、寝台、ストレッチャーを日常使用しない共同住宅や事務所ビルには適用できません。）
〔注2〕1台以上とは、複数台設置される場合に基準を満たすものが最低1台であることを示します。
〔注3〕適用機種欄の正背とは、正面と背面にそれぞれ出入口のあるかご出入口二方向タイプを示します。
〔注4〕適用機種欄の～枚戸とは、かご扉の全枚数を示します。
〔注5〕建築物移動等円滑化基準の2000㎡未満、2000㎡以上とは、建築物の床面積を示します。
尚、増築、改築、用途変更等の場合には、工事範囲の床面積がこの対象となります。
〔注6〕手動車イスが転回できるかごサイズは、間口1400以上×奥行1350以上となります。
〔注7〕□印機種では、車いす使用者がかご内で車いすを転回しないで前向きに乗降できるレイアウトであることが必要です。

○：適合機種
□：適合機種（注7参照）
×：適合しない

Ⅱ P 乗用エレベータ

Ⅱ－1　計画編（一方向出入口）

1－1　エレベータの仕様、台数の選定

■ エレベータの仕様、設置台数は、ビルの規模、用途、立地条件に応じて十分な輸送能力と効率良いサービスができるように選択することが大切です。

■ ビルの設置条件に合った、最適なプランをご提案させていただきます。ご計画の際には、当社にご相談ください。

エレベータ配置計画上のご注意

■ 停止階が不揃いの場合は、サービスが低下する場合があります。

■ エレベータが対向配置となる場合は、ホールの広さを十分にとってください。

■ 輸送効率を高めるため、エレベータはできるだけ建物中央に集中配置してください。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

□BIMダウンロード
□CADダウンロード
□お手軽交通計算

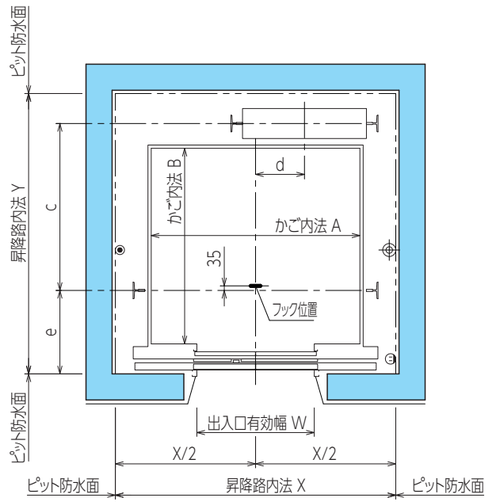
上記3つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は　https://www.fujitec.co.jp/sales/

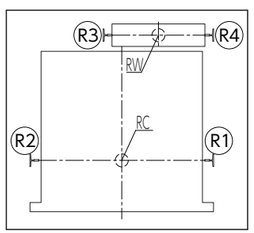
1-2基本仕様

No.	型式	定格速度 (m/min)	容量 定員（名）	容量 積載（kg）	電動機容量 (kW)
1	P-6-2C0-45	45	6	450	2.1
2	P-6-2C0-60	60			2.8
3	P-6-2C0-90	90			4.2
4	P-6-2C0-105	105			4.9
5	P-6-2C0-120	120			5.8
6	P-9-2C0-45	45	9	600	2.8
7	P-9-2C0-60	60			3.7
8	P-9-2C0-90	90			5.6
9	P-9-2C0-105	105			6.5
10	P-9-2C0-105	120			7.4
11	P-11-2C0-45	45	11	750	3.5
12	P-11-2C0-60	60			4.6
13	P-11-2C0-90	90			6.9
14	P-11-2C0-105	105			8.1
15	P-11-2C0-120	120			9.2
16	P-13-2C0-45	45	13	900	4.2
17	P-13-2C0-60	60			5.6
18	P-13-2C0-90	90			8.3
19	P-13-2C0-105	105			9.7
20	P-13-2C0-120	120			12.0
21	P-15-2C0-45	45	15	1000	4.6
22	P-15-2C0-60	60			6.2
23	P-15-2C0-90	90			9.2
24	P-15-2C0-105	105			11.0
25	P-15-2C0-120	120			13.0
26	P-17S-2C0-45	45	17	1150	5.3
27	P-17S-2C0-60	60			7.1
28	P-17S-2C0-90	90			11.0
29	P-17S-2C0-105	105			13.0
30	P-17S-2C0-120	120			15.0
31	P-20S-2C0-45	45	20	1350	6.3
32	P-20S-2C0-60	60			8.3
33	P-20S-2C0-90	90			13.0
34	P-20S-2C0-105	105			15.0
35	P-20S-2C0-120	120			17.0
36	P-24S-2C0-45	45	24	1600	7.4
37	P-24S-2C0-60	60			9.9
38	P-24S-2C0-90	90			15.0
39	P-24S-2C0-105	105			18.0
40	P-24S-2C0-120	120			20.0
41	P-24S-4C0-45	45	24	1600	7.4
42	P-24S-4C0-60	60			9.9
43	P-24S-4C0-90	90			15.0
44	P-24S-4C0-105	105			18.0
45	P-24S-4C0-120	120			20.0
46	P-24W-4C0-45	45	24	1600	7.4
47	P-24W-4C0-60	60			9.9
48	P-24W-4C0-90	90			15.0
49	P-24W-4C0-105	105			18.0
50	P-24W-4C0-120	120			20.0
51	P-26S-2C0-45	45	26	1700	7.9
52	P-26S-2C0-60	60			11.0
53	P-26S-2C0-90	90			16.0
54	P-26S-2C0-105	105			19.0
55	P-26S-2C0-120	120			21.0
56	P-30S-4C0-45	45	30	1350	9.2
57	P-30S-4C0-60	60			13.0
58	P-30S-4C0-90	90			19.0
59	P-30S-4C0-105	105			22.0
60	P-30S-4C0-120	120			25.0
61	P-30W-4C0-45	45	30	2000	9.2
62	P-30W-2C0-60	60			13.0
63	P-30W-2C0-90	90			19.0
64	P-30W-2C0-105	105			22.0
65	P-30W-2C0-120	120			25.0
66	P-38S-4C0-45	45	38	2500	12.0
67	P-38S-2C0-60	60			16.0
68	P-38S-2C0-90	90			23.0
69	P-38S-2C0-105	105			27.0
70	P-38S-2C0-120	120			31.0

1－3　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図

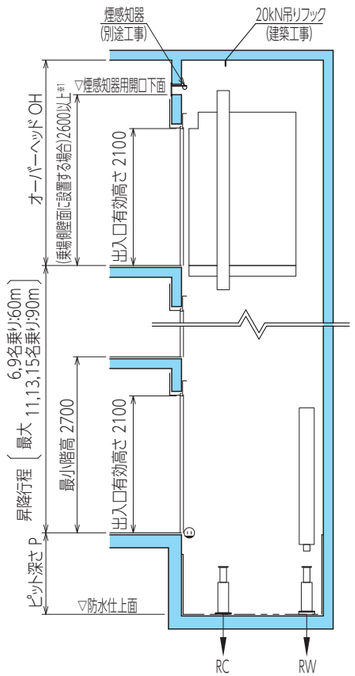


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊡	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、乗場側以外の壁面に設置の場合

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y 昇降行程 60m以下	昇降路内法 X×Y 昇降行程 90m以下	オーバーヘッド OH ※⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	c	d	e
P-6-2C0-45	1400× 850	800	1800×1500	－	3000	3050	3150	－	－	1250	－	－	780	300	485
P-6-2C0-60															
P-6-2C0-90			1850×1550		3350	3400	3500								
P-6-2C0-105					3450	3500	3600								
P-6-2C0-120															
P-9-2C0-45	1400×1100	800	1800×1750	－	3000	3050	3150	－	－	1250	－	－	990	375	520
P-9-2C0-60															
P-9-2C0-90			1850×1800		3350	3400	3500								
P-9-2C0-105					3450	3500	3600								
P-9-2C0-120															
P-11-2C0-45	1400×1350	800	1800×2000	－	3000	3050	3150	－	－	1250	－	－	1180	375	595
P-11-2C0-60															
P-11-2C0-90			1850×2050	1900×2050	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850			
P-11-2C0-105					3450	3500	3600	3600	3700						
P-11-2C0-120															
P-13-2C0-45	1600×1350	900	2150×2150	－	3000	3050	3150	－	－	1250	－	－	1180	375	595
P-13-2C0-60															
P-13-2C0-90				2150×2150	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850			
P-13-2C0-105					3450	3500	3600	3600	3700						
P-13-2C0-120															
P-15-2C0-45	1600×1500	900	2150×2300	－	3000	3050	3150	－	－	1250	－	－	1280	375	645
P-15-2C0-60															
P-15-2C0-90				2150×2300	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850			
P-15-2C0-105					3450	3500	3600	3600	3700						
P-15-2C0-120															

［注］①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

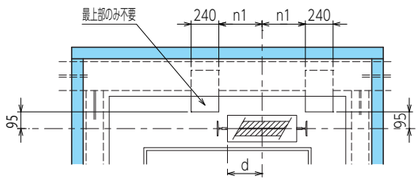
荷重表

（単位：kN）

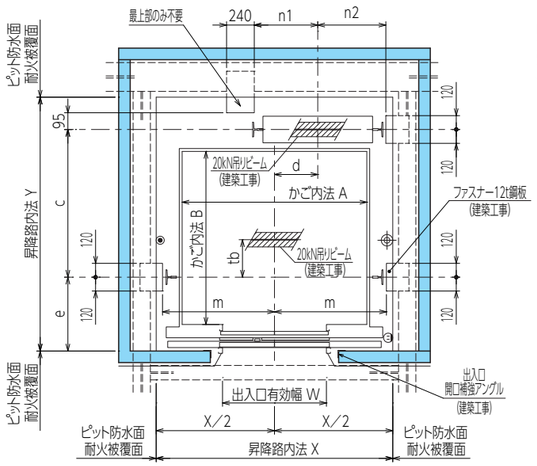
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
P-6-2C0-45	27	28	51	22	52	49	3.6	3.3	5.5	2.8
P-6-2C0-60					64	62				
P-6-2C0-90					66	64				
P-6-2C0-105					67	65				
P-6-2C0-120					67	65				
P-9-2C0-45	29	29	50	25	59	54	3.9	3.3	5.9	3.0
P-9-2C0-60					73	68				
P-9-2C0-90					75	70				
P-9-2C0-105					77	72				
P-9-2C0-120					77	72				
P-11-2C0-45	31	32	51	26	67	60	4.3	3.4	6.4	3.2
P-11-2C0-60					83	76				
P-11-2C0-90					85	79				
P-11-2C0-105					87	81				
P-11-2C0-120					87	81				
P-13-2C0-45	33	34	52	29	75	66	4.7	3.6	6.9	3.5
P-13-2C0-60					93	83				
P-13-2C0-90					96	87				
P-13-2C0-105					98	89				
P-13-2C0-120					98	89				
P-15-2C0-45	34	36	53	30	80	69	4.9	3.6	7.2	3.6
P-15-2C0-60					99	87				
P-15-2C0-90					102	91				
P-15-2C0-105					104	93				
P-15-2C0-120					104	93				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

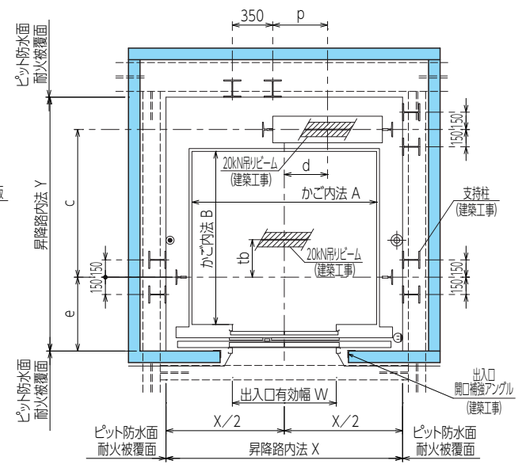
1－4　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



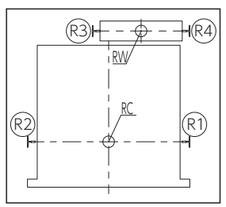
（P-6-COの場合背面側ファスナーの配置が異なります）



昇降路平面図
（ファスナーの場合）



昇降路平面図
（レール支持用柱の場合）



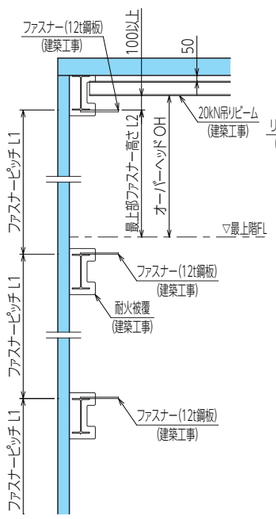
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

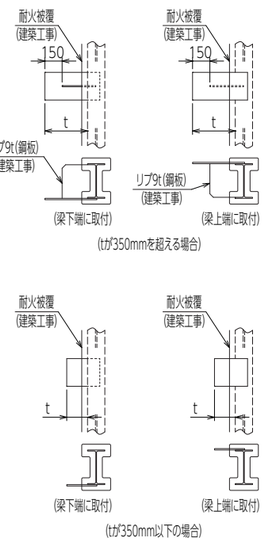
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
◎	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法X×Y 昇降行程 60m以下	昇降路内法X×Y 昇降行程 90m以下	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	c	d	e	m	n1	n2	p	tb
P-6-CO-45	1400× 850	800	1900×1550	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	780	300	485	870	375	—	250	160
P-6-CO-60																				
P-6-CO-90					3350	3400	3500													
P-6-CO-105					3450	3500	3600													
P-6-CO-120																				
P-9-CO-45	1400×1100	800	1900×1800	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	990	375	520	870	450	495	325	275
P-9-CO-60																				
P-9-CO-90					3350	3400	3500													
P-9-CO-105					3450	3500	3600													
P-9-CO-120																				
P-11-CO-45	1400×1350	800	1900×2050	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595	870	450	495	325	250
P-11-CO-60																				
P-11-CO-90				1900×2050	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850								
P-11-CO-105					3450	3500	3600	3600	3700											
P-11-CO-120																				
P-13-CO-45	1600×1350	900	2150×2150	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595	970	550	595	425	275
P-13-CO-60																				
P-13-CO-90				2150×2150	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850								
P-13-CO-105					3450	3500	3600	3600	3700											
P-13-CO-120																				
P-15-CO-45	1600×1500	900	2150×2300	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1280	375	645	970	550	595	425	325
P-15-CO-60																				
P-15-CO-90				2150×2300	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850								
P-15-CO-105					3450	3500	3600	3600	3700											
P-15-CO-120																				

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
P-6-CO-45	27	28	51	22	52	49	3.6	3.3	5.5	2.8
P-6-CO-60					64	62				
P-6-CO-90					66	64				
P-6-CO-105					67	65				
P-6-CO-120					67	65				
P-9-CO-45	29	29	50	25	59	54	3.9	3.3	5.9	3.0
P-9-CO-60					73	68				
P-9-CO-90					75	70				
P-9-CO-105					77	72				
P-9-CO-120					77	72				
P-11-CO-45	31	32	51	26	67	60	4.3	3.4	6.4	3.2
P-11-CO-60					83	76				
P-11-CO-90					85	79				
P-11-CO-105					87	81				
P-11-CO-120					87	81				
P-13-CO-45	33	34	52	29	75	66	4.7	3.6	6.9	3.5
P-13-CO-60					93	83				
P-13-CO-90					96	87				
P-13-CO-105					98	89				
P-13-CO-120					98	89				
P-15-CO-45	34	36	53	30	80	69	4.9	3.6	7.2	3.6
P-15-CO-60					99	87				
P-15-CO-90					102	91				
P-15-CO-105					104	93				
P-15-CO-120					104	93				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

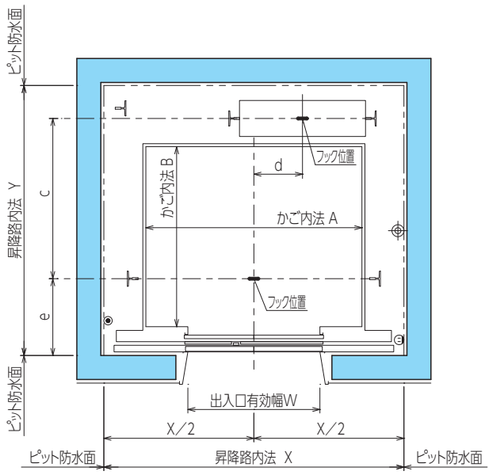
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

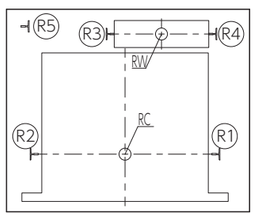
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	90m以下
P-6-CO-45	3700以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-6-CO-60					
P-6-CO-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-6-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-6-CO-120					
P-9-CO-45	3500以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-9-CO-60					
P-9-CO-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-9-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-9-CO-120					
P-11-CO-45	3350以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-11-CO-60					
P-11-CO-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400	3250～3400
P-11-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	3350～3500
P-11-CO-120					
P-13-CO-45	3250以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-13-CO-60					
P-13-CO-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400	3250～3400
P-13-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	3350～3500
P-13-CO-120					
P-15-CO-45	3250以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-15-CO-60					
P-15-CO-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400	3250～3400
P-15-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	3350～3500
P-15-CO-120					

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－5　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉形式：2枚両引きの場合】

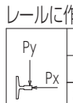


昇降路平面図



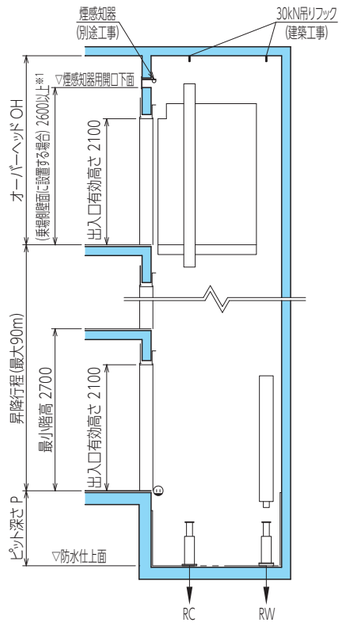
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値



	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2
柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、乗場側以外の壁面に設置の場合

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	c	d	e
P-17S-2CO-45	1800×1500	1100	2400×2190	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1325	405	645
P-17S-2CO-60														
P-17S-2CO-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-17S-2CO-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-17S-2CO-120									1400	1650	1750			
P-20S-2CO-45	1800×1700	1100	2400×2390	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1525	405	645
P-20S-2CO-60														
P-20S-2CO-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-20S-2CO-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-20S-2CO-120									1400	1650	1750			
P-24S-2CO-45	2000×1750	1100	2560×2440	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1560	405	670
P-24S-2CO-60														
P-24S-2CO-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-24S-2CO-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-24S-2CO-120									1400	1650	1750			
P-26S-2CO-45	1800×2000	1100	2400×2690	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1685	405	795
P-26S-2CO-60														
P-26S-2CO-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-26S-2CO-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-26S-2CO-120									1400	1650	1750			

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
　②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
　③最大ピット寸法は2000mmです。
　　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
　④ピット下部は原則として使用できません。
　⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
　⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
　⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
　⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）に
　　してください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）
　　以上確保ください。
　⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
　⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　　昇降路内法が大きくなることがあります。

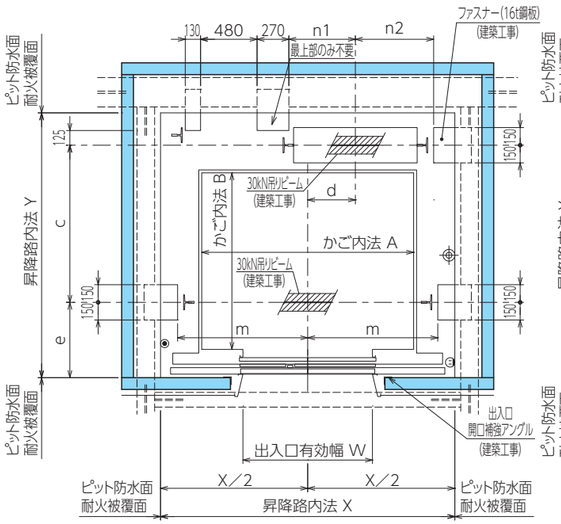
荷重表

（単位：kN）

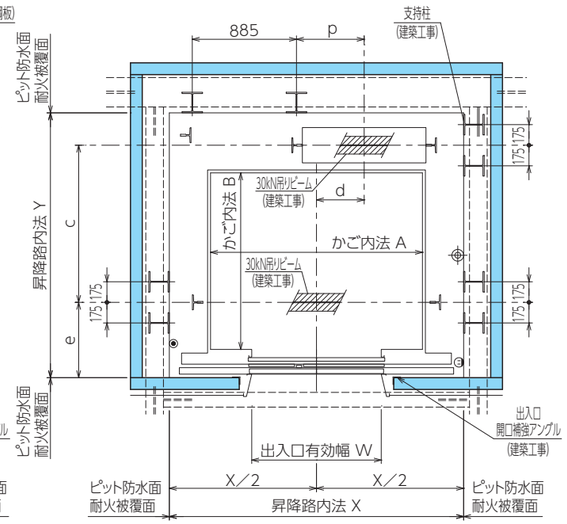
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2CO-45	49	54	62	53	29	121	113	8.8	6.1	12.9	6.5	1.7	1.7
P-17S-2CO-60						149	142						
P-17S-2CO-90						154	147						
P-17S-2CO-105						157	150						
P-17S-2CO-120						157	150						
P-20S-2CO-45	52	57	64	54	29	132	121	9.3	6.5	13.7	6.8	1.7	1.7
P-20S-2CO-60						164	153						
P-20S-2CO-90						169	158						
P-20S-2CO-105						172	162						
P-20S-2CO-120						172	162						
P-24S-2CO-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-2CO-60						183	168						
P-24S-2CO-90						189	173						
P-24S-2CO-105						193	177						
P-24S-2CO-120						193	177						
P-26S-2CO-45	58	63	69	57	29	150	133	10.7	7.1	15.3	7.7	1.7	1.7
P-26S-2CO-60						184	166						
P-26S-2CO-90						190	171						
P-26S-2CO-105						194	175						
P-26S-2CO-120						194	175						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

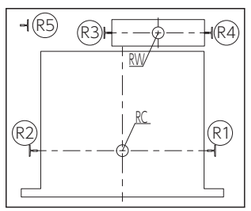
1−6　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉形式：2枚両引きの場合】



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



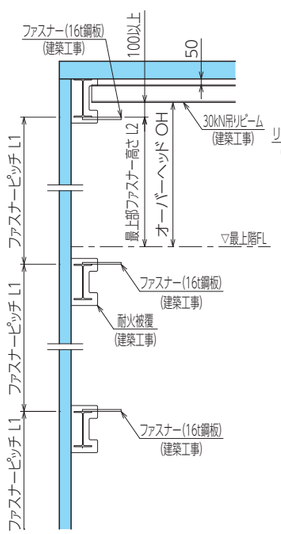
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

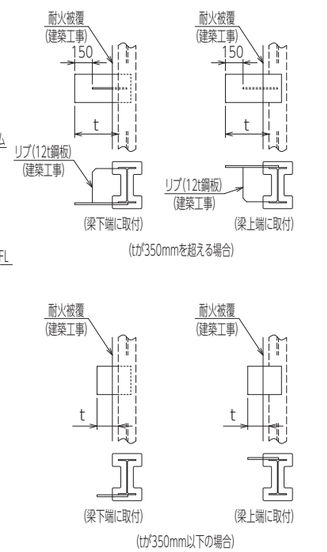
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
☺	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	c	d	e	m	n1	n2	p
P-17S-2C0-45	1800×1500	1100	2450×2240	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1325	405	645	1105	565	665	575
P-17S-2C0-60																		
P-17S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-17S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900							
P-17S-2C0-120									1400	1650	1750							
P-20S-2C0-45	1800×1700	1100	2450×2440	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1525	405	645	1105	565	665	575
P-20S-2C0-60																		
P-20S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-20S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900							
P-20S-2C0-120									1400	1650	1750							
P-24S-2C0-45	2000×1750	1100	2610×2490	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1560	405	670	1205	665	765	675
P-24S-2C0-60																		
P-24S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-24S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900							
P-24S-2C0-120									1400	1650	1750							
P-26S-2C0-45	1800×2000	1100	2450×2740	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1685	405	795	1105	565	665	575
P-26S-2C0-60																		
P-26S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-26S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900							
P-26S-2C0-120									1400	1650	1750							

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2C0-45	49	54	62	53	29	121	113	8.8	6.1	12.9	6.5	1.7	1.7
P-17S-2C0-60						149	142						
P-17S-2C0-90						154	147						
P-17S-2C0-105						157	150						
P-17S-2C0-120						157	150						
P-20S-2C0-45	52	57	64	54	29	132	121	9.3	6.5	13.7	6.8	1.7	1.7
P-20S-2C0-60						164	153						
P-20S-2C0-90						169	158						
P-20S-2C0-105						172	162						
P-20S-2C0-120						172	162						
P-24S-2C0-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-2C0-60						183	168						
P-24S-2C0-90						189	173						
P-24S-2C0-105						193	177						
P-24S-2C0-120						193	177						
P-26S-2C0-45	58	63	69	57	29	150	133	10.7	7.1	15.3	7.7	1.7	1.7
P-26S-2C0-60						184	166						
P-26S-2C0-90						190	171						
P-26S-2C0-105						194	175						
P-26S-2C0-120						194	175						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

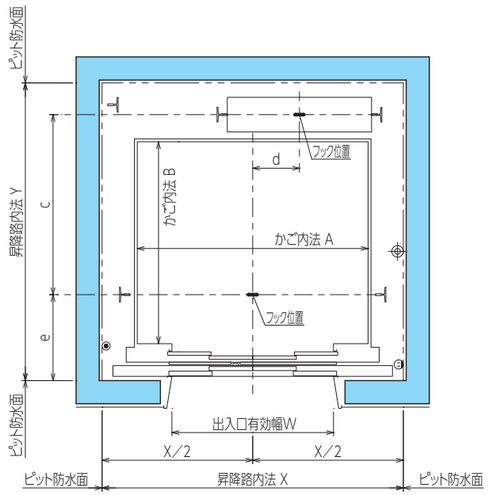
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

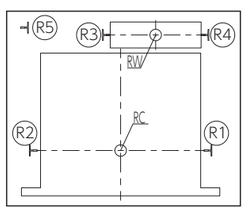
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	90m以下
P-17S-2C0-45	3950以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175	—
P-17S-2C0-60					
P-17S-2C0-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275	3090〜3300
P-17S-2C0-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375	3165〜3375
P-17S-2C0-120					
P-20S-2C0-45	3950以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175	—
P-20S-2C0-60					
P-20S-2C0-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275	3090〜3300
P-20S-2C0-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375	3165〜3375
P-20S-2C0-120					
P-24S-2C0-45	3950以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175	—
P-24S-2C0-60					
P-24S-2C0-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275	3090〜3300
P-24S-2C0-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375	3165〜3375
P-24S-2C0-120					
P-26S-2C0- 45	3850以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175	—
P-26S-2C0- 60					
P-26S-2C0- 90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275	3090〜3300
P-26S-2C0-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375	3165〜3375
P-26S-2C0-120					

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1−7　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】



昇降路平面図

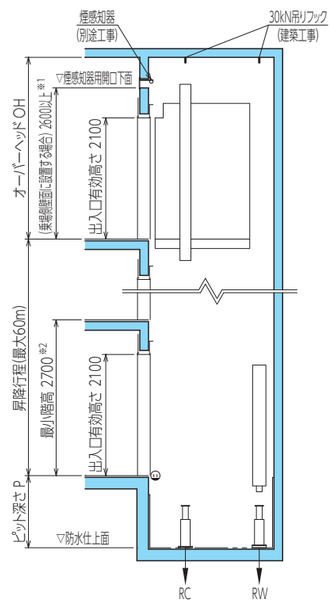


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、遮煙エレベータ乗場ドアありの場合
　3、乗場側以外の壁面に設置の場合
※2. 遮煙エレベータ乗場ドアの場合は、最小階高=2825となります。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	c	d	e
P-24S-4C0-45	2000×1750	1400	2560×2510	3300	3350	3450	1250	1560	405	745
P-24S-4C0-60										
P-24S-4C0-90				3400	3450	3550	1400			
P-24S-4C0-105				3500	3550	3650	1550			
P-24S-4C0-120							1400			
P-24W-4C0-45	2150×1600	1400	2710×2360	3300	3350	3450	1250	1425	330	720
P-24W-4C0-60										
P-24W-4C0-90				3400	3450	3550	1400			
P-24W-4C0-105				3500	3550	3650	1550			
P-24W-4C0-120							1400			
P-30S-4C0-45	2000×2050	1400	2560×2810	3300	3350	3450	1250	1710	405	895
P-30S-4C0-60										
P-30S-4C0-90				3400	3450	3550	1400			
P-30S-4C0-105				3500	3550	3650	1550			
P-30S-4C0-120							1400			
P-30W-4C0-45	2350×1750	1800	3000×2510	3300	3350	3450	1250	1560	330	745
P-30W-4C0-60										
P-30W-4C0-90				3400	3450	3550	1400			
P-30W-4C0-105				3500	3550	3650	1550			
P-30W-4C0-120							1400			
P-38S-4C0-45	2350×2100	1800	3105×2885	3300	3350	3450	1250	1735	330	910
P-38S-4C0-60										
P-38S-4C0-90				3400	3450	3550	1400			
P-38S-4C0-105				3500	3550	3650	1550			
P-38S-4C0-120							1400			

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

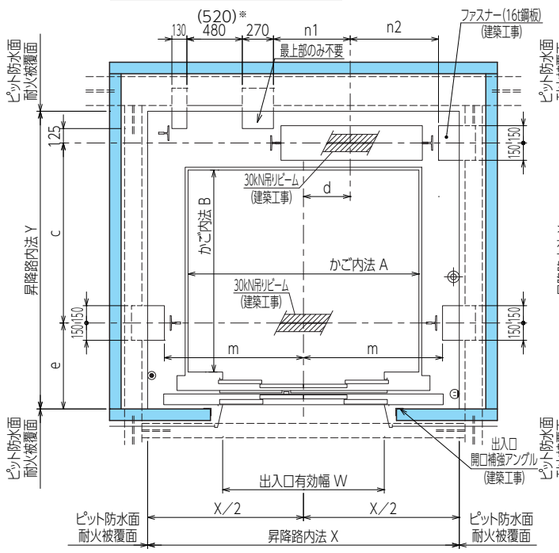
（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4C0-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-4C0-60						183	168						
P-24S-4C0-90						189	173						
P-24S-4C0-105						193	177						
P-24S-4C0-120						193	177						
P-24W-4C0-45	55	61	66	58	30	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24W-4C0-60						183	168						
P-24W-4C0-90						189	173						
P-24W-4C0-105						193	177						
P-24W-4C0-120						193	177						
P-30S-4C0-45	62	68	70	62	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30S-4C0-60						214	192						
P-30S-4C0-90						220	199						
P-30S-4C0-105						224	203						
P-30S-4C0-120						224	203						
P-30W-4C0-45	62	68	70	64	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30W-4C0-60						214	192						
P-30W-4C0-90						220	199						
P-30W-4C0-105						224	203						
P-30W-4C0-120						224	203						
P-38S-4C0-45	66	72	72	64	31	190	159	11.9	6.2	17.0	8.5	1.7	1.7
P-38S-4C0-60						235	201						
P-38S-4C0-90						242	208						
P-38S-4C0-105						247	212						
P-38S-4C0-120						247	212						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

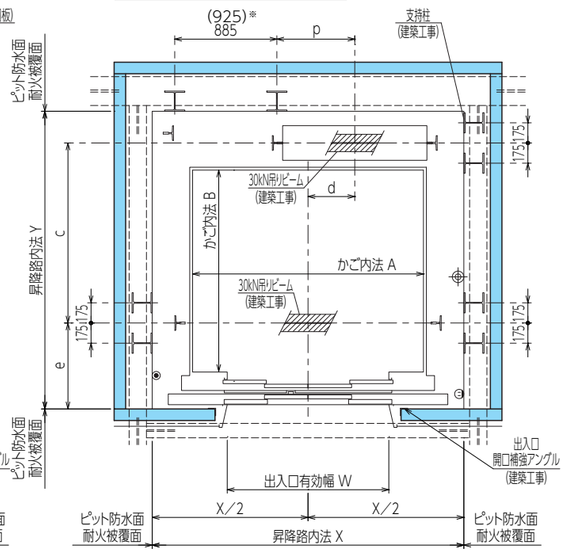
1－8　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】

※38人乗りのみ（　）内寸法値となります

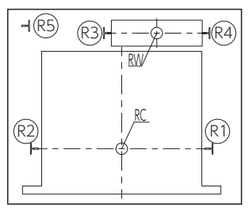


昇降路平面図
(ファスナーの場合)

※38人乗りのみ（　）内寸法値となります



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



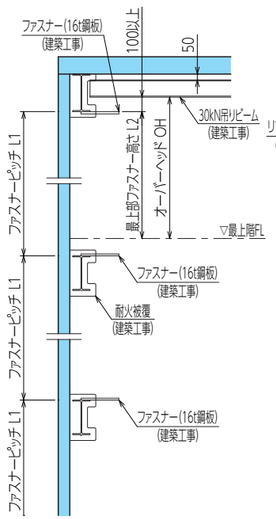
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

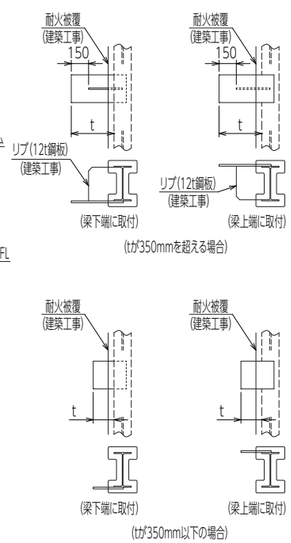
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
Ⓤ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	c	d	e	m	n1	n2	P
P-24S-4CO-45	2000×1750	1400	2610×2560	3300	3350	3450	1250	1560	405	745	1205	665	765	675
P-24S-4CO-60														
P-24S-4CO-90				3400	3450	3550	1400							
P-24S-4CO-105				3500	3550	3650	1550							
P-24S-4CO-120							1400							
P-24W-4CO-45	2150×1600	1400	2760×2410	3300	3350	3450	1250	1425	330	720	1280	665	765	675
P-24W-4CO-60														
P-24W-4CO-90				3400	3450	3550	1400							
P-24W-4CO-105				3500	3550	3650	1550							
P-24W-4CO-120							1400							
P-30S-4CO-45	2000×2050	1400	2610×2860	3300	3350	3450	1250	1710	405	895	1205	665	765	675
P-30S-4CO-60														
P-30S-4CO-90				3400	3450	3550	1400							
P-30S-4CO-105				3500	3550	3650	1550							
P-30S-4CO-120							1400							
P-30W-4CO-45	2350×1750	1800	3050×2560	3300	3350	3450	1250	1560	330	745	1380	765	865	775
P-30W-4CO-60														
P-30W-4CO-90				3400	3450	3550	1400							
P-30W-4CO-105				3500	3550	3650	1550							
P-30W-4CO-120							1400							
P-38S-4CO-45	2350×2100	1800	3155×2935	3300	3350	3450	1250	1735	330	910	1380	765	865	775
P-38S-4CO-60														
P-38S-4CO-90				3400	3450	3550	1400							
P-38S-4CO-105				3500	3550	3650	1550							
P-38S-4CO-120							1400							

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4CO-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-4CO-60						183	168						
P-24S-4CO-90						189	173						
P-24S-4CO-105						193	177						
P-24S-4CO-120						193	177						
P-24W-4CO-45	55	61	66	58	30	148	133	10.2	7	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24W-4CO-60						183	168						
P-24W-4CO-90						189	173						
P-24W-4CO-105						193	177						
P-24W-4CO-120						193	177						
P-30S-4CO-45	62	68	70	62	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30S-4CO-60						214	192						
P-30S-4CO-90						220	199						
P-30S-4CO-105						224	203						
P-30S-4CO-120						224	203						
P-30W-4CO-45	62	68	70	64	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30W-4CO-60						214	192						
P-30W-4CO-90						220	199						
P-30W-4CO-105						224	203						
P-30W-4CO-120						224	203						
P-38S-4CO-45	66	72	72	64	31	190	159	11.9	6.2	17.0	8.5	1.7	1.7
P-38S-4CO-60						235	201						
P-38S-4CO-90						242	208						
P-38S-4CO-105						247	212						
P-38S-4CO-120						247	212						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

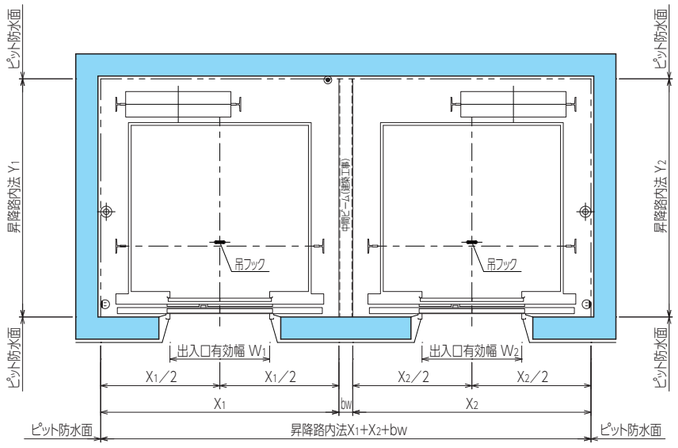
（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
P-24S-4CO-45	3950以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175
P-24S-4CO-60				
P-24S-4CO-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275
P-24S-4CO-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375
P-24S-4CO-120				
P-24W-4CO-45	3950以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175
P-24W-4CO-60				
P-24W-4CO-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275
P-24W-4CO-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375
P-24W-4CO-120				
P-30S-4CO-45	3700以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175
P-30S-4CO-60				
P-30S-4CO-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275
P-30S-4CO-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375
P-30S-4CO-120				
P-30W-4CO-45	3700以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175
P-30W-4CO-60				
P-30W-4CO-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275
P-30W-4CO-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375
P-30W-4CO-120				
P-38S-4CO-45	3600以下	2815〜3025	2865〜3075	2965〜3175
P-38S-4CO-60				
P-38S-4CO-90		2915〜3125	2965〜3175	3065〜3275
P-38S-4CO-105		3015〜3225	3065〜3275	3165〜3375
P-38S-4CO-120				

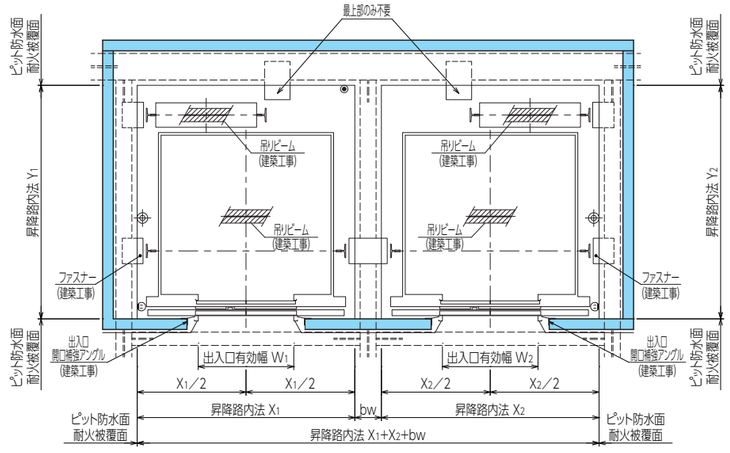
[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－9　2台並列設置の場合の配置例

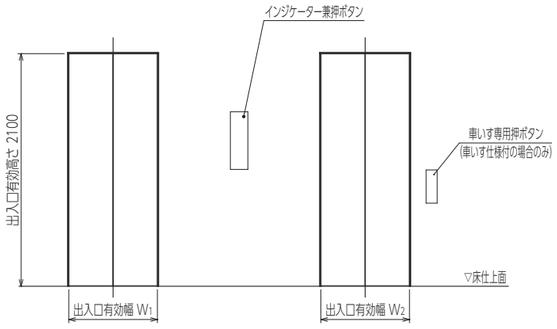
※X, Y寸法値についてはP乗用エレベータの各機種寸法例のページを参照願います。



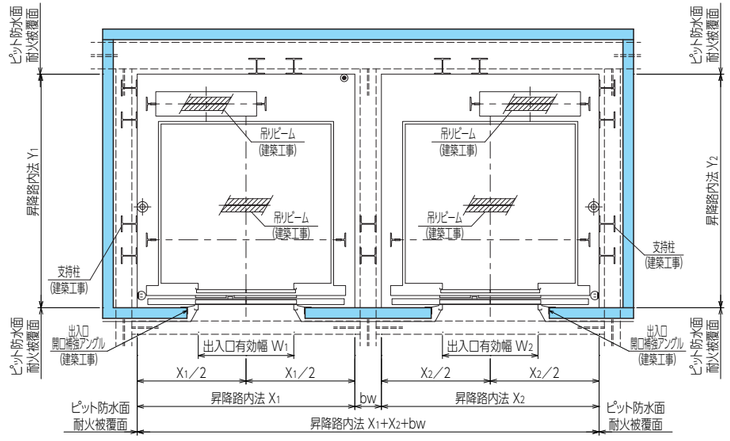
昇降路平面図
(RCの場合)



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



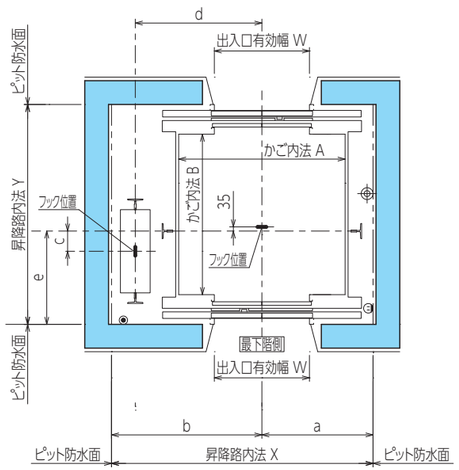
出入口正面図



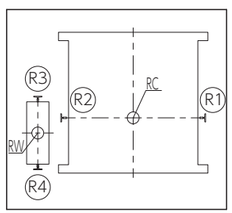
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)

Ⅱ－2　計画編（二方向出入口）

2－1　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図

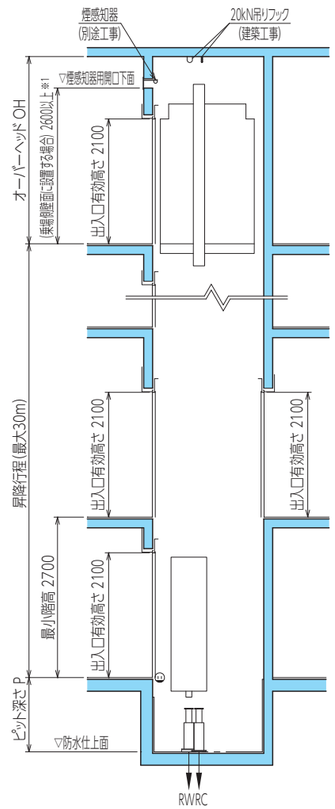


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、乗場側以外の壁面に設置の場合

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注② 標準	ピット深さ P 注② 特殊	a	b	c	d	e
P-11-2C0-45	1400×1350	800	2200×1850	3000	1250	1600	925	1275	170	1065	785
P-11-2C0-60											
P-11-2C0-90				3350							
P-11-2C0-105				3450							
P-11-2C0-120											
P-13-2C0-45	1600×1350	900	2450×1850	3000	1250	1600	1050	1400	170	1165	785
P-13-2C0-60											
P-13-2C0-90				3350							
P-13-2C0-105				3450							
P-13-2C0-120											
P-15-2C0-45	1600×1500	900	2450×2000	3000	1250	1600	1050	1400	195	1165	835
P-15-2C0-60											
P-15-2C0-90				3350							
P-15-2C0-105				3450							
P-15-2C0-120											

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり　等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。

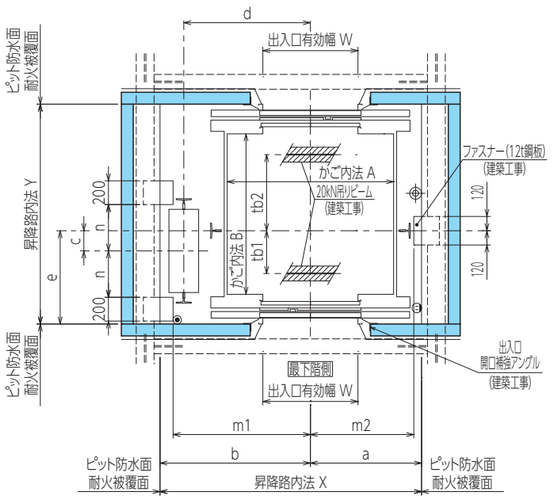
荷重表

（単位：kN）

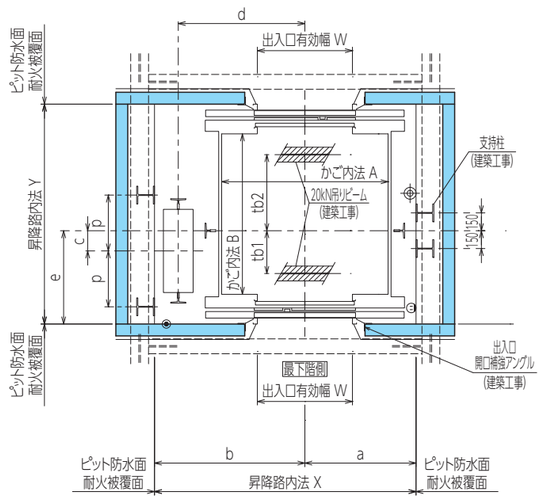
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-2C0-45	29	34	39	14	73	65	5.1	4.4	6.1	3.2
P-11-2C0-60					90	82				
P-11-2C0-90					93	85				
P-11-2C0-105					95	87				
P-11-2C0-120					95	87				
P-13-2C0-45	31	37	40	15	81	71	5.4	4.7	6.7	3.5
P-13-2C0-60					100	90				
P-13-2C0-90					103	93				
P-13-2C0-105					105	95				
P-13-2C0-120					105	95				
P-15-2C0-45	32	39	40	16	86	74	5.6	4.9	6.9	3.6
P-15-2C0-60					106	94				
P-15-2C0-90					109	97				
P-15-2C0-105					111	99				
P-15-2C0-120					111	99				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

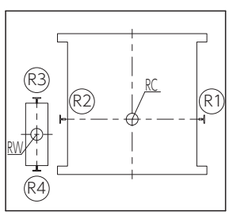
2－2　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図
（ファスナーの場合）



昇降路平面図
（レール支持用柱の場合）



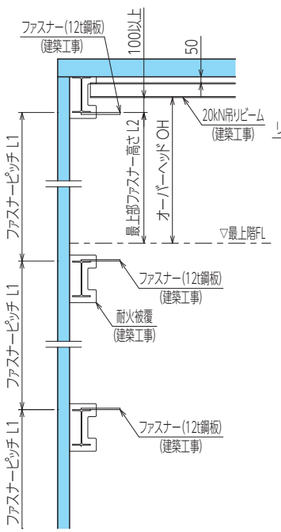
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

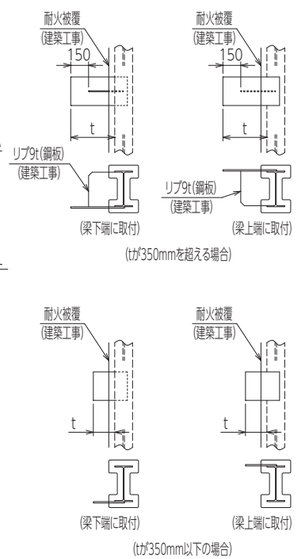
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注② 標準	ピット深さ P 注② 特殊	a	b	c	d	e	m1	m2	n	p	tb1	tb2
P-11-2CO-45	1400×1350	800	2250×1850	3000	1250	1600	950	1300	170	1065	785	1155	870	390	470	360	640
P-11-2CO-60																	
P-11-2CO-90				3350													
P-11-2CO-105				3450													
P-11-2CO-120																	
P-13-2CO-45	1600×1350	900	2450×1850	3000	1250	1600	1050	1400	170	1165	785	1255	970	390	470	360	640
P-13-2CO-60																	
P-13-2CO-90				3350													
P-13-2CO-105				3450													
P-13-2CO-120																	
P-15-2CO-45	1600×1500	900	2450×2000	3000	1250	1600	1050	1400	195	1165	835	1255	970	415	495	335	665
P-15-2CO-60																	
P-15-2CO-90				3350													
P-15-2CO-105				3450													
P-15-2CO-120																	

[注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-2CO-45	29	34	39	14	73	65	5.1	4.4	6.1	3.2
P-11-2CO-60					90	82				
P-11-2CO-90					93	85				
P-11-2CO-105					95	87				
P-11-2CO-120					95	87				
P-13-2CO-45	31	37	40	15	81	71	5.4	4.7	6.7	3.5
P-13-2CO-60					100	90				
P-13-2CO-90					103	93				
P-13-2CO-105					105	95				
P-13-2CO-120					105	95				
P-15-2CO-45	32	39	40	16	86	74	5.6	4.9	6.9	3.6
P-15-2CO-60					106	94				
P-15-2CO-90					109	97				
P-15-2CO-105					111	99				
P-15-2CO-120					111	99				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

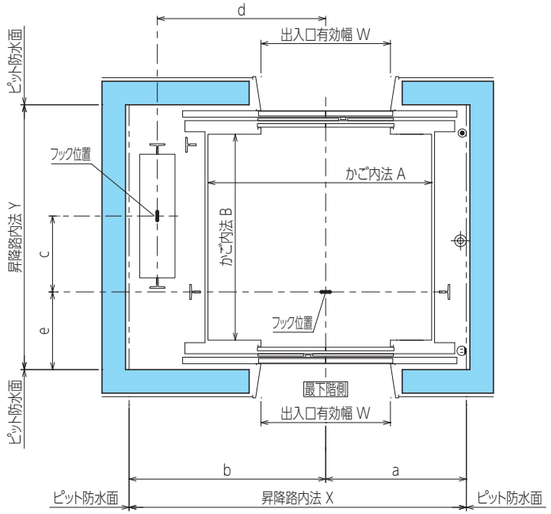
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

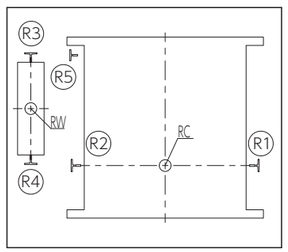
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
P-11-2CO-45	3350以下	2750〜2900
P-11-2CO-60		
P-11-2CO-90		3100〜3250
P-11-2CO-105		3200〜3350
P-11-2CO-120		
P-13-2CO-45	3250以下	2750〜2900
P-13-2CO-60		
P-13-2CO-90		3100〜3250
P-13-2CO-105		3200〜3350
P-13-2CO-120		
P-15-2CO-45	3250以下	2750〜2900
P-15-2CO-60		
P-15-2CO-90		3100〜3250
P-15-2CO-105		3200〜3350
P-15-2CO-120		

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

2−3　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉方式：2枚両引きの場合】



昇降路平面図

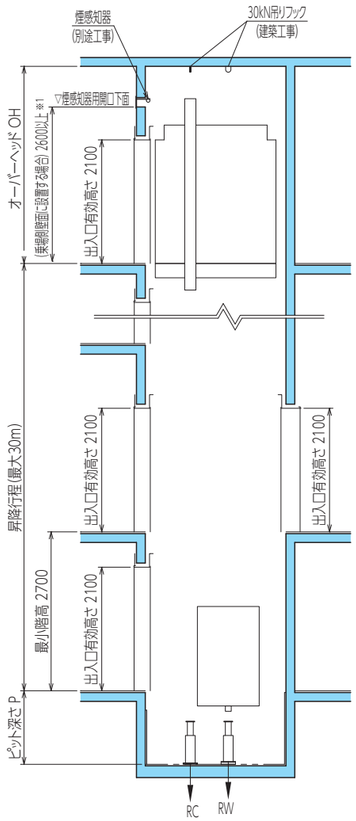


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、乗場側以外の壁面に設置の場合

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注② 標準	ピット深さ P 注② 特殊	a	b	c	d	e
P-24S-2CO-45	2000×1750	1100	3100×2210	3350	1250	1650	1280	1820	645	1630	640
P-24S-2CO-60											
P-24S-2CO-90				3450	1400	1800					
P-24S-2CO-105				3550	1550	1950					
P-24S-2CO-120					1400	1800					
P-26S-2CO-45	1800×2000	1100	2950×2460	3350	1250	1650	1200	1750	445	1555	855
P-26S-2CO-60											
P-26S-2CO-90				3450	1400	1800					
P-26S-2CO-105				3550	1550	1950					
P-26S-2CO-120					1400	1800					

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
　・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
　開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。

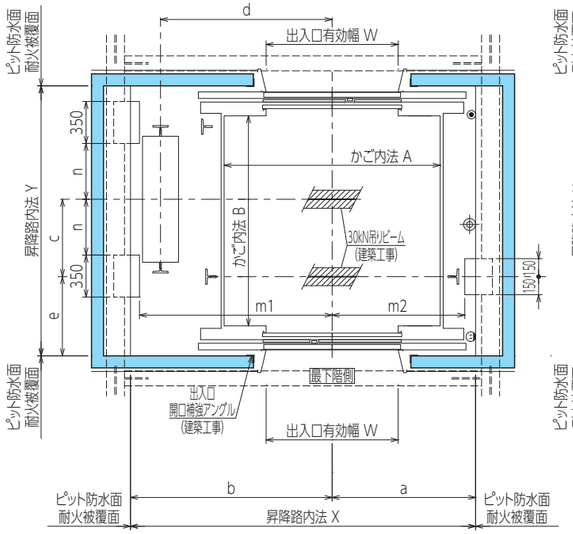
荷重表

（単位：kN）

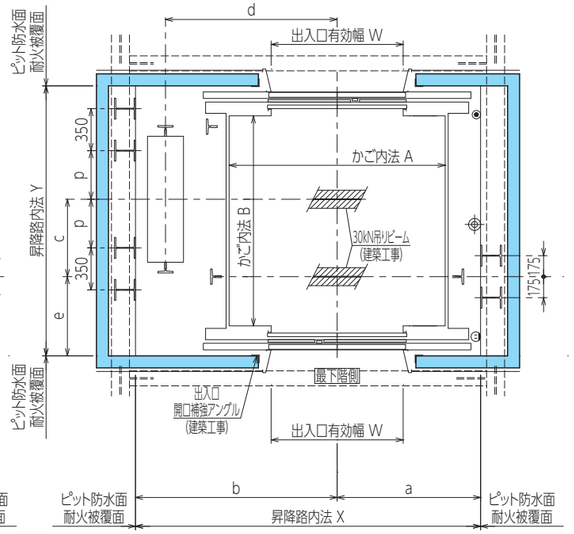
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-2CO-45	54	46	47	47	32	156	140	12.4	8.8	12.5	6.5	1.7	1.7
P-24S-2CO-60						193	177						
P-24S-2CO-90						199	183						
P-24S-2CO-105						204	187						
P-24S-2CO-120						204	187						
P-26S-2CO-45	54	46	45	45	31	154	135	11.9	8.5	12.1	6.3	1.7	1.7
P-26S-2CO-60						190	171						
P-26S-2CO-90						196	176						
P-26S-2CO-105						201	181						
P-26S-2CO-120						201	181						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

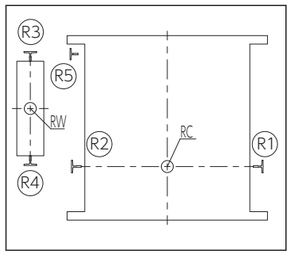
2−4　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉方式：2枚両引きの場合】



昇降路平面図
（ファスナーの場合）



昇降路平面図
（レール支持用柱の場合）



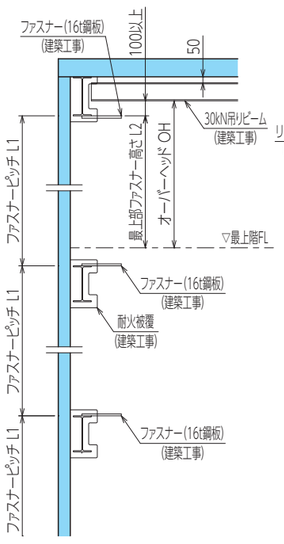
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

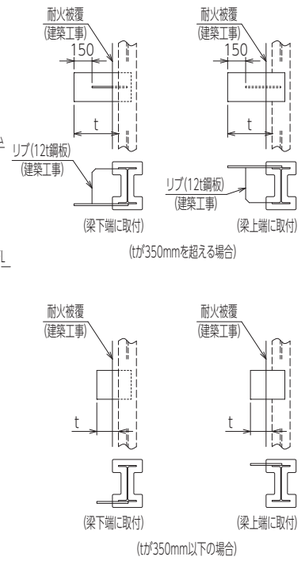
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注② 標準	ピット深さ P 注② 特殊	a	b	c	d	e	m1	m2	n	p
P-24S-2CO-45	2000×1750	1100	3225×2340	3350	1250	1650	1295	1930	645	1630	645	1805	1205	465	405
P-24S-2CO-60															
P-24S-2CO-90				3450	1400	1800									
P-24S-2CO-105				3550	1550	1950									
P-24S-2CO-120					1400	1800									
P-26S-2CO-45	1800×2000	1100	3055×2510	3350	1250	1650	1200	1855	445	1555	860	860	860	565	505
P-26S-2CO-60															
P-26S-2CO-90				3450	1400	1800									
P-26S-2CO-105				3550	1550	1950									
P-26S-2CO-120					1400	1800									

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
　開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-2CO-45	54	46	47	47	32	156	140	12.4	8.8	12.5	6.5	1.7	1.7
P-24S-2CO-60						193	177						
P-24S-2CO-90						199	183						
P-24S-2CO-105						204	187						
P-24S-2CO-120						204	187						
P-26S-2CO-45	54	46	45	45	31	154	135	11.9	8.5	12.1	6.3	1.7	1.7
P-26S-2CO-60						190	171						
P-26S-2CO-90						196	176						
P-26S-2CO-105						201	181						
P-26S-2CO-120						201	181						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

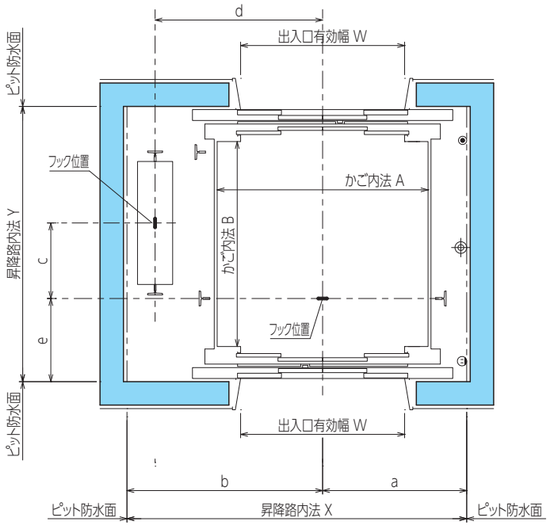
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

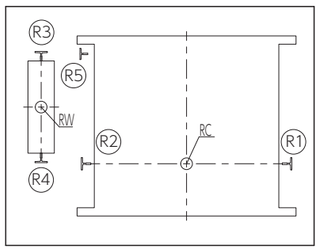
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
P-24S-2CO-45	3950以下	2815〜3025
P-24S-2CO-60		
P-24S-2CO-90		2915〜3125
P-24S-2CO-105		3015〜3225
P-24S-2CO-120		
P-26S-2CO-45	3850以下	2815〜3025
P-26S-2CO-60		
P-26S-2CO-90		2915〜3125
P-26S-2CO-105		3015〜3225
P-26S-2CO-120		

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
　　②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
　　③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

2−5　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】



昇降路平面図

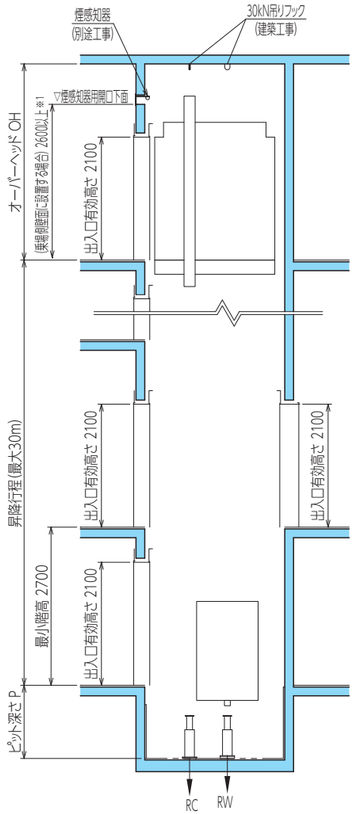


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、乗場側以外の壁面に設置の場合

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注② 標準	ピット深さ P 注② 特殊	a	b	c	d	e
P-24S-4CO-45	2000×1750	1400	3100×2350	3350	1250	1650	1280	1820	645	1630	710
P-24S-4CO-60											
P-24S-4CO-90				3450	1400	1800					
P-24S-4CO-105				3550	1550	1950					
P-24S-4CO-120					1400	1800					
P-30S-4CO-45	2000×2050	1400	3125×2650	3350	1250	1650	1280	1845	445	1165	1010
P-30S-4CO-60											
P-30S-4CO-90				3450	1400	1800					
P-30S-4CO-105				3550	1550	1950					
P-30S-4CO-120					1400	1800					
P-30W-4CO-45	2350×1750	1800	3520×2420	3350	1250	1650	2020	1500	645	1830	710
P-30W-4CO-60											
P-30W-4CO-90				3450	1400	1800					
P-30W-4CO-105				3550	1550	1950					
P-30W-4CO-120					1400	1800					
P-38S-4CO-45	2350×2100	1800	3545×2700	3350	1250	1650	2050	1495	445	1860	980
P-38S-4CO-60											
P-38S-4CO-90				3450	1400	1800					
P-38S-4CO-105				3550	1550	1950					
P-38S-4CO-120					1400	1800					

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
　・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
　開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。

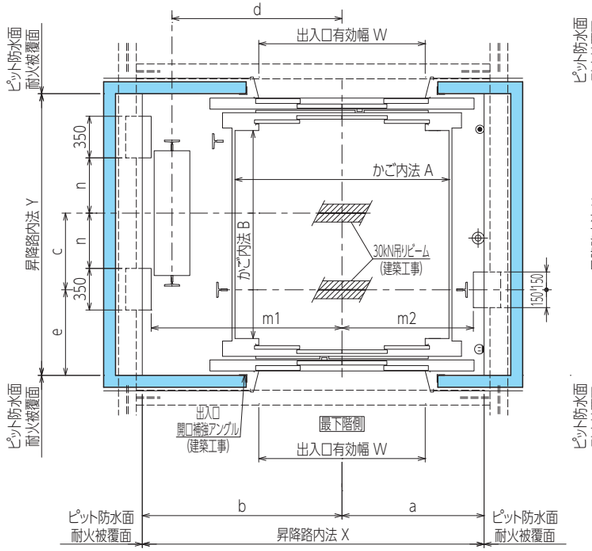
荷重表

（単位：kN）

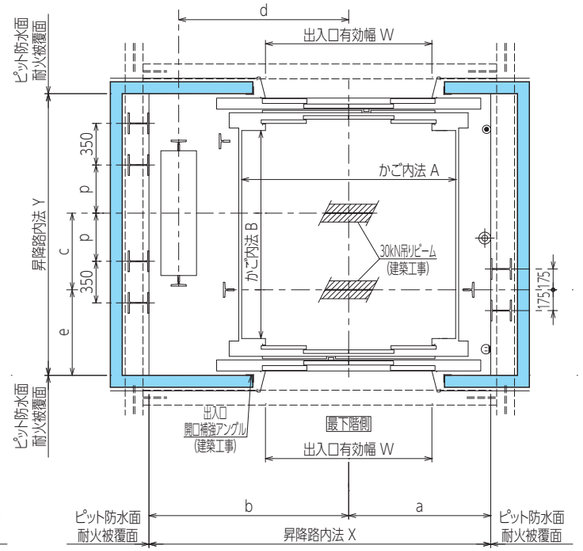
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4CO-45	54	46	47	47	32	157	140	12.4	8.8	12.6	6.5	1.7	1.7
P-24S-4CO-60						194	177						
P-24S-4CO-90						200	183						
P-24S-4CO-105						204	187						
P-24S-4CO-120						204	187						
P-30S-4CO-45	56	47	46	46	32	162	138	11.8	8.6	12.3	6.4	1.7	1.7
P-30S-4CO-60						200	174						
P-30S-4CO-90						206	180						
P-30S-4CO-105						211	184						
P-30S-4CO-120						211	184						
P-30W-4CO-45	60	50	50	50	31	177	156	13.3	9.7	13.8	7.2	1.7	1.7
P-30W-4CO-60						219	196						
P-30W-4CO-90						226	203						
P-30W-4CO-105						231	208						
P-30W-4CO-120						231	208						
P-38S-4CO-45	64	53	52	52	35	193	162	13.5	10.1	14.5	7.5	1.7	1.7
P-38S-4CO-60						239	205						
P-38S-4CO-90						247	212						
P-38S-4CO-105						252	217						
P-38S-4CO-120						252	217						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

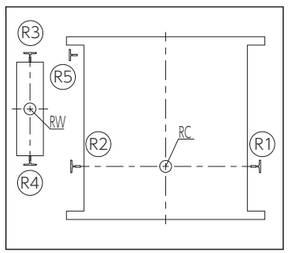
2−6　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



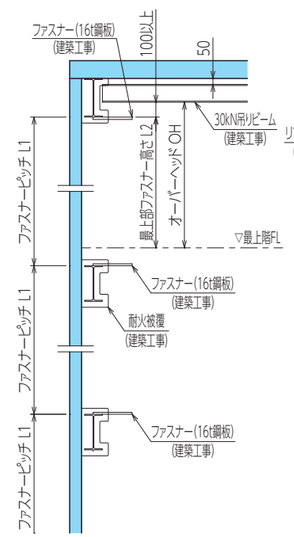
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

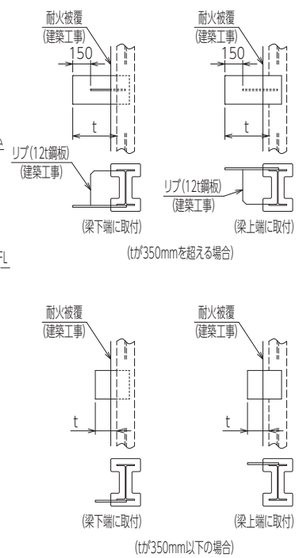
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注② 標準	ピット深さ P 注② 特殊	a	b	c	d	e	m1	m2	n	p
P-24S-4CO-45	2000×1750	1400	3225×2415	3350	1250	1650	1295	1930	645	1630	715	1805	1205	465	405
P-24S-4CO-60															
P-24S-4CO-90				3450	1400	1800									
P-24S-4CO-105				3550	1550	1950									
P-24S-4CO-120					1400	1800									
P-30S-4CO-45	2000×2050	1400	3250×2660	3350	1250	1650	1295	1955	445	1165	1015	1830	1205	565	505
P-30S-4CO-60															
P-30S-4CO-90				3450	1400	1800									
P-30S-4CO-105				3550	1550	1950									
P-30S-4CO-120					1400	1800									
P-30W-4CO-45	2350×1750	1800	3630×2430	3350	1250	1650	1500	2130	645	1830	715	2005	1380	465	405
P-30W-4CO-60															
P-30W-4CO-90				3450	1400	1800									
P-30W-4CO-105				3550	1550	1950									
P-30W-4CO-120					1400	1800									
P-38S-4CO-45	2350×2100	1800	3655×2710	3350	1250	1650	1495	2160	445	1860	985	2035	1380	565	565
P-38S-4CO-60															
P-38S-4CO-90				3450	1400	1800									
P-38S-4CO-105				3550	1550	1950									
P-38S-4CO-120					1400	1800									

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4CO-45	54	46	47	47	32	157	140	12.4	8.8	12.6	6.5	1.7	1.7
P-24S-4CO-60						194	177						
P-24S-4CO-90						200	183						
P-24S-4CO-105						204	187						
P-24S-4CO-120						204	187						
P-30S-4CO-45	56	47	46	46	32	162	138	11.8	8.6	12.3	6.4	1.7	1.7
P-30S-4CO-60						200	174						
P-30S-4CO-90						206	180						
P-30S-4CO-105						211	184						
P-30S-4CO-120						211	184						
P-30W-4CO-45	60	50	50	50	31	177	156	13.3	9.7	13.8	7.2	1.7	1.7
P-30W-4CO-60						219	196						
P-30W-4CO-90						226	203						
P-30W-4CO-105						231	208						
P-30W-4CO-120						231	208						
P-38S-4CO-45	64	53	52	52	35	193	162	13.5	10.1	14.5	7.5	1.7	1.7
P-38S-4CO-60						239	205						
P-38S-4CO-90						247	212						
P-38S-4CO-105						252	217						
P-38S-4CO-120						252	217						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
P-24S-4CO-45	3950以下	2815〜3025
P-24S-4CO-60		
P-24S-4CO-90		2915〜3125
P-24S-4CO-105		3015〜3225
P-24S-4CO-120		
P-30S-4CO-45	3700以下	2815〜3025
P-30S-4CO-60		
P-30S-4CO-90		2915〜3125
P-30S-4CO-105		3015〜3225
P-30S-4CO-120		
P-30W-4CO-45	3700以下	2815〜3025
P-30W-4CO-60		
P-30W-4CO-90		2915〜3125
P-30W-4CO-105		3015〜3225
P-30W-4CO-120		
P-38S-4CO-45	3600以下	2815〜3025
P-38S-4CO-60		
P-38S-4CO-90		2915〜3125
P-38S-4CO-105		3015〜3225
P-38S-4CO-120		

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

Ⅱ－3　計画編（展望用）

3－1　展望用の寸法例（積載1000kg以下）

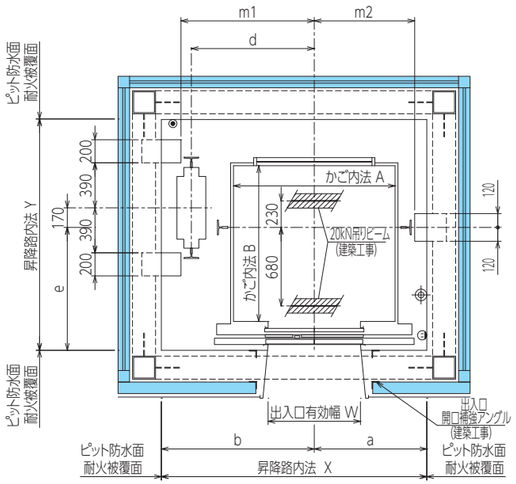
昇降路の壁又は囲いにガラスを用いる場合

・昇降路の壁(囲い)は、5cm²の任意の面に直角方向の外力(300N)が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造としてください
(H20 国土交通省告示 第1454号 第二号)

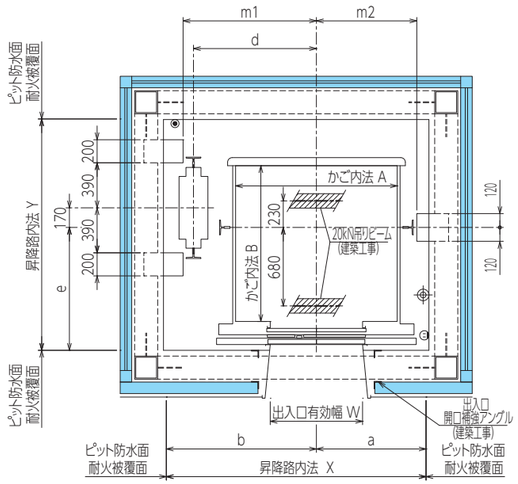
・昇降路の壁又は囲いに使用するガラスは合わせガラス(JIS R3205に適合)またはこれと同等以上の飛散防止性能を有するものとしてください
(H20 国土交通省告示 第1454号 第三号)

昇降路内の温度について

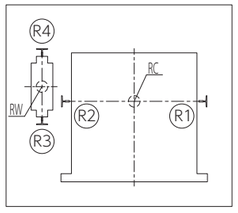
(1)昇降路内温度の制約〈告示1413号第1第三号二〉
　EVの起動により、昇降路内温度は40℃を越えないこと。
(2)昇降路がガラス貼りの場合、昇降路内の温度が高くなることが懸念されます。
　昇降路内温度が40℃を超える場合、当社にご相談ください。
(3)昇降路内温度が特に高くなることが予測される条件
　1)ガラス面が南または西向きの場合　　3)かごクーラー付の場合
　2)ガラス面積が大きい場合　　4)昇降行程が短い場合(2停止の場合など)
(4)昇降路内温度が40℃を超える場合、下記の対応が必要となることがあります(別途工事)
　1)昇降路に使用するガラスは熱線吸収または反射ガラスとしてください。
　2)昇降路上下部に換気設備を設置願います。(防火上問題がなく、雨水が昇降路内に侵入しないもの)



昇降路平面図
(外装なしの場合)



昇降路平面図
(外装ありの場合)



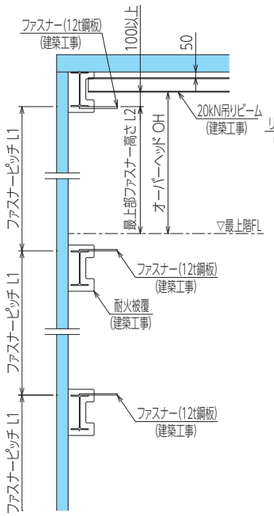
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

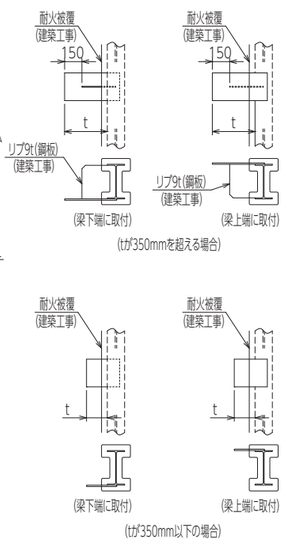
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	d	e	m1	m2
P-11-2C0-45	1400×1350	800	2200×2000	3000	3050	3150	1250	950	1250	1065	1065	870	1155
P-11-2C0-60													
P-11-2C0-90				3350	3400	3500							
P-11-2C0-105				3450	3500	3600							
P-13-2C0-45	1600×1350	900	2450×2000	3000	3050	3150	1250	1050	1400	1165	1065	970	1255
P-13-2C0-60													
P-13-2C0-90				3350	3400	3500							
P-13-2C0-105				3450	3500	3600							
P-15-2C0-45	1600×1500	900	2450×2150	3000	3050	3150	1250	1050	1400	1165	1135	970	1255
P-15-2C0-60													
P-15-2C0-90				3350	3400	3500							
P-15-2C0-105				3450	3500	3600							

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩外装の形状により、上記のオーバーヘッド寸法より拡大となる
場合があります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-2C0-45	34	40	46	19	67	60	4.5	4.0	5.6	2.9
P-11-2C0-60					83	76				
P-11-2C0-90					85	78				
P-11-2C0-105					87	80				
P-13-2C0-45	36	42	48	20	75	66	4.9	4.4	6.1	3.2
P-13-2C0-60					93	83				
P-13-2C0-90					96	86				
P-13-2C0-105					98	88				
P-15-2C0-45	38	44	48	21	80	69	5.1	4.6	6.4	3.3
P-15-2C0-60					99	87				
P-15-2C0-90					102	90				
P-15-2C0-105					104	92				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
P-11-2C0-45	3350以下	2750〜2900	2800〜2950	2850〜3000
P-11-2C0-60				
P-11-2C0-90		3100〜3250	3150〜3300	3200〜3350
P-11-2C0-105		3200〜3350	3250〜3400	3300〜3450
P-13-2C0-45	3250以下	2750〜2900	2800〜2950	2850〜3000
P-13-2C0-60				
P-13-2C0-90		3100〜3250	3150〜3300	3200〜3350
P-13-2C0-105		3200〜3350	3250〜3400	3300〜3450
P-15-2C0-45	3250以下	2750〜2900	2800〜2950	2850〜3000
P-15-2C0-60				
P-15-2C0-90		3100〜3250	3150〜3300	3200〜3350
P-15-2C0-105		3200〜3350	3250〜3400	3300〜3450

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

3－2　展望用の寸法例（積載1000kg超）

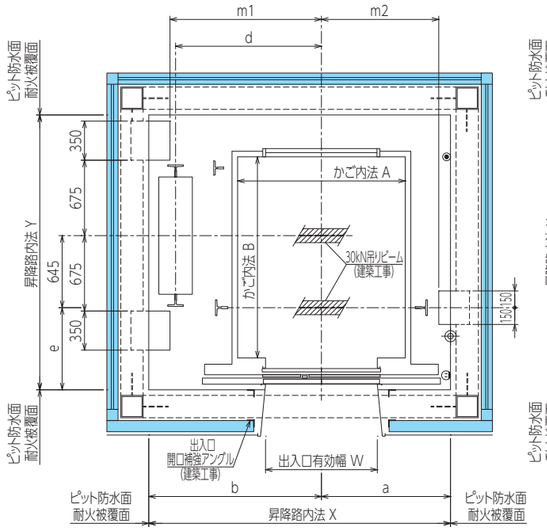
昇降路の壁又は囲いにガラスを用いる場合

・昇降路の壁(囲い)は、5cm²の任意の面に直角方向の外力(300N)が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造としてください
(H20 国土交通省告示 第1454号 第二号)

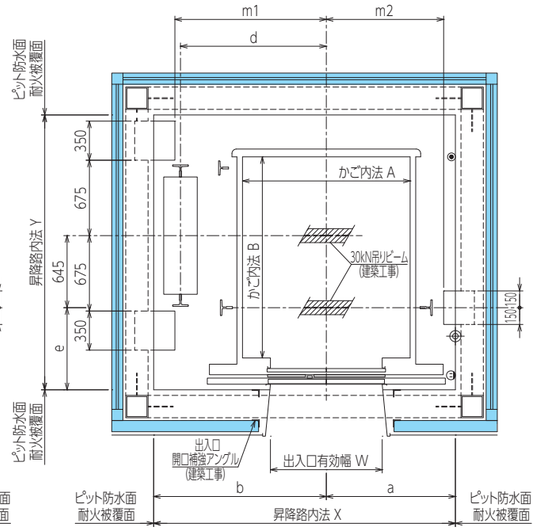
・昇降路の壁又は囲いに使用するガラスは合わせガラス(JIS R3205に適合)またはこれと同等以上の飛散防止性能を有するものとしてください
(H20 国土交通省告示 第1454号 第三号)

昇降路内の温度について

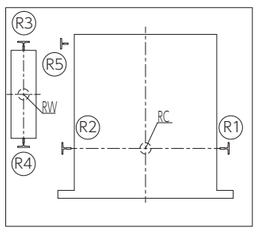
(1)昇降路内温度の制約(告示1413号第1第三号二)
　EVの起動により、昇降路内温度は40℃を越えないこと。
(2)昇降路がガラス貼りの場合、昇降路内の温度が高くなることが懸念されます。
　昇降路内温度が40℃を超える場合、当社にご相談ください。
(3)昇降路内温度が特に高くなることが予測される条件
　1)ガラス面が南または西向きの場合　　3)かごクーラー付の場合
　2)ガラス面積が大きい場合　　4)昇降行程が短い場合(2停止の場合など)
(4)昇降路内温度が40℃を超える場合、下記の対応が必要となることがあります(別途工事)
　1)昇降路に使用するガラスは熱線吸収または反射ガラスとしてください。
　2)昇降路上下部に換気設備を設置願います。(防火上問題がなく、雨水が昇降路内に侵入しないもの)



昇降路平面図
(外装なしの場合)



昇降路平面図
(外装ありの場合)



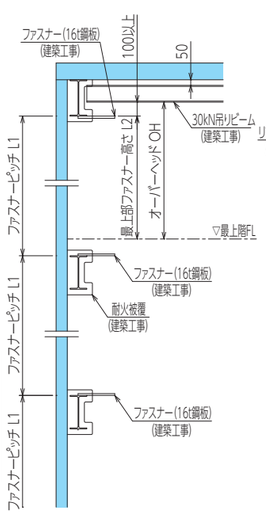
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

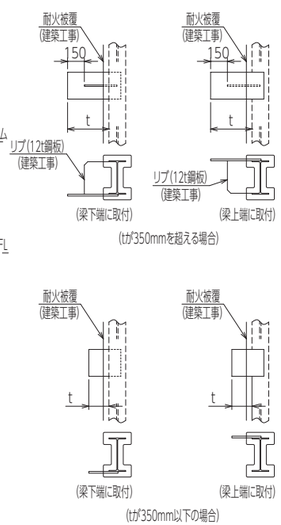
		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
EL	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P	a	b	d	e	m1	m2
P-17S-2CO-45	1800×1500	1100	2975×2335	3350	1250	1220	1755	1530	640	1580	1105
P-17S-2CO-60											
P-17S-2CO-90				3450	1400						
P-17S-2CO-105				3550	1550						
P-20S-2CO-45	1800×1700	1100	2975×2335	3350	1250	1220	1755	1530	640	1580	1105
P-20S-2CO-60											
P-20S-2CO-90				3450	1400						
P-20S-2CO-105				3550	1550						
P-24S-2CO-45	2000×1750	1100	3150×2450	3350	1250	1295	1855	1630	655	1680	1205
P-24S-2CO-60											
P-24S-2CO-90				3450	1400						
P-24S-2CO-105				3550	1550						

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩外装の形状により、上記のオーバーヘッド寸法より延長となる
場合があります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2CO-45	43	37	38	38	28	115	104	9.6	6.7	9.4	5.0	1.7	1.7
P-17S-2CO-60						143	131						
P-17S-2CO-90						147	136						
P-17S-2CO-105						150	139						
P-20S-2CO-45	46	38	39	39	29	123	109	9.9	7.0	9.9	5.2	1.7	1.7
P-20S-2CO-60						153	138						
P-20S-2CO-90						158	142						
P-20S-2CO-105						161	146						
P-24S-2CO-45	50	41	42	42	30	139	121	10.7	7.6	10.9	5.7	1.7	1.7
P-24S-2CO-60						171	152						
P-24S-2CO-90						177	157						
P-24S-2CO-105						181	161						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
P-17S-2CO-45	3950以下	3070〜3120
P-17S-2CO-60		
P-17S-2CO-90		3170〜3220
P-17S-2CO-105		3270〜3320
P-20S-2CO-45	3950以下	3070〜3120
P-20S-2CO-60		
P-20S-2CO-90		3170〜3220
P-20S-2CO-105		3270〜3320
P-24S-2CO-45	3850以下	3070〜3120
P-24S-2CO-60		
P-24S-2CO-90		3170〜3220
P-24S-2CO-105		3270〜3320

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

Ⅲ R 住宅用エレベータ

Ⅲ－1　計画編（一方向出入口）

1－1　エレベータの仕様、台数の選定

■ エレベータの仕様、設置台数は、ビルの規模、用途、立地条件などから予測されるピーク交通需要に対する5分間の輸送能力及び平均待ち時間を指標として効率良いサービスができるように選択することが大切です。

■ 住宅用エレベータとして、6名乗り、9名乗りの他に、13名乗りもご用意しています。ピアノ（アップライトタイプ）や大型家具も運べるよう、9名乗り（トランク付き）または13名乗りをおすすめいたします。また、2台以上設置の場合は、内1台を9名乗り（トランク付き）または13名乗りとすることをおすすめいたします。
特に、13名乗りはトランクを開閉する手間をかけずに大きな物を運ぶことができますので、大変便利です。
なお、13名乗りよりもかご奥行を延長した、15名乗りもご用意しています。

エレベータ配置計画上のご注意

■ 停止階が不揃いの場合は、サービスが低下する場合があります。
■ エレベータが対向配置となる場合は、ホールの広さを十分にとってください。
■ 輸送効率を高めるため、エレベータはできるだけ建物中央に集中配置してください。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

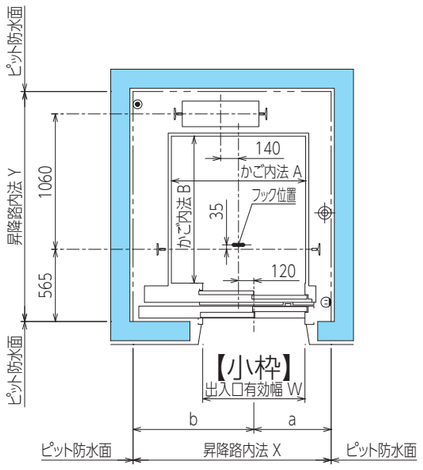
□BIMダウンロード
□CADダウンロード
□お手軽交通計算

上記3つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。
設計をお考えの方は　https://www.fujitec.co.jp/sales/

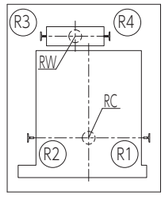
1－2　基本仕様

No.	型式	定格速度（m/min）	容量		電動機容量（kW）
			定員（名）	積載（kg）	
1	R-6-2S-45	45	6	450	2.1
2	R-6-2S-60	60			2.8
3	R-6-2S-90	90			4.2
4	R-6-2S-105	105			4.9
5	R-6-2S-120	120			5.6
6	R-9-2S-45	45	9	600	2.8
7	R-9-2S-60	60			3.7
8	R-9-2S-90	90			5.6
9	R-9-2S-105	105			6.5
10	R-9-2S-120	120			7.4
11	RT-9-2S-45	45	9	600	2.8
12	RT-9-2S-60	60			3.7
13	RT-9-2S-90	90			5.6
14	RT-9-2S-105	105			6.5
15	RT-9-2S-120	120			7.4
16	R-13-2S-45	45	13	900	4.2
17	R-13-2S-60	60			5.6
18	R-13-2S-90	90			8.3
19	R-13-2S-105	105			9.7
20	R-13-2S-120	120			12.0
21	R-15-2S-45	45	15	1000	4.6
22	R-15-2S-60	60			6.2
23	R-15-2S-90	90			9.2
24	R-15-2S-105	105			11.0
25	R-15-2S-120	120			13.0

1－3　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-6）



昇降路平面図



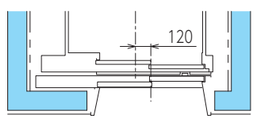
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

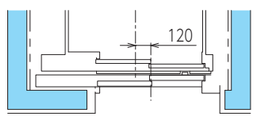
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

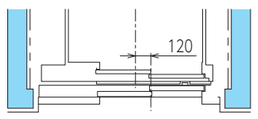
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



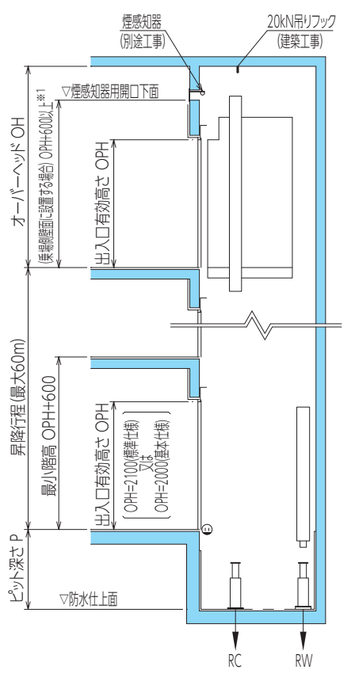
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-6-2S-45	1050×1150	800	1550×1700	1550×1800	3000	3050	3150	1250	605	945
R-6-2S-60										
R-6-2S-90			1600×1750	1600×1850	3350	3400	3500		630	970
R-6-2S-105					3450	3500	3600			
R-6-2S-120										

［注］①昇降路内法はJIS　A4301-1983によります。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり　等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

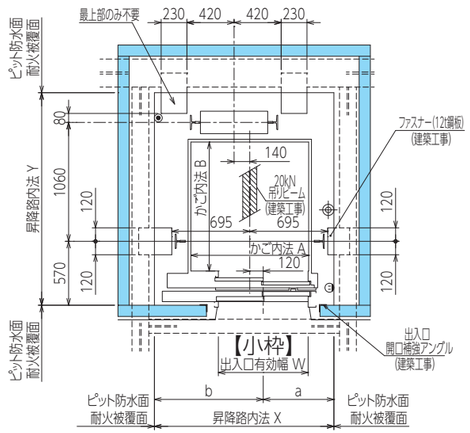
荷重表

（単位：kN）

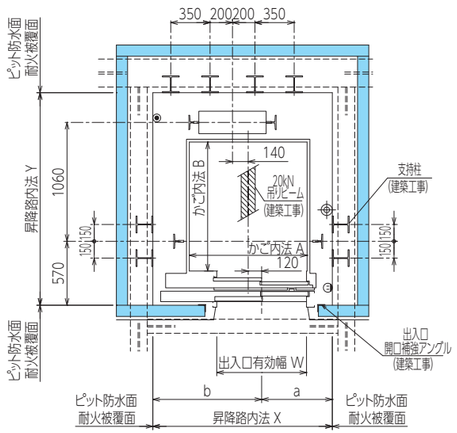
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-6-2S-45	30	28	33	25	51	49	3.6	2.5	4.5	2.8
R-6-2S-60					63	61				
R-6-2S-90					65	63				
R-6-2S-105					67	65				
R-6-2S-120					67	65				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

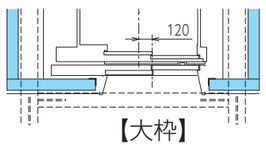
1－4　昇降路がS造の場合の寸法例（R-6）



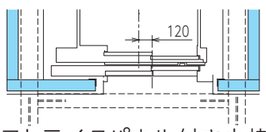
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



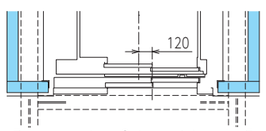
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



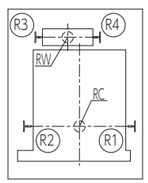
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



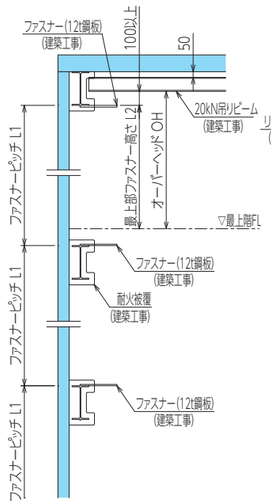
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

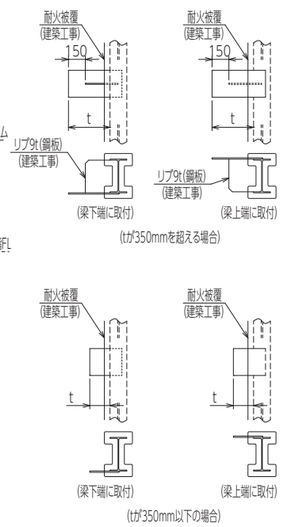
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
ⓜ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-6-2S-45	1050×1150	800	1600×1750	1600×1850	3000	3050	3150	1250	630	970
R-6-2S-60										
R-6-2S-90					3350	3400	3500			
R-6-2S-105					3450	3500	3600			
R-6-2S-120										

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-6-2S-45	30	28	33	25	51	49	3.6	2.5	4.5	2.8
R-6-2S-60					63	61				
R-6-2S-90					65	63				
R-6-2S-105					67	65				
R-6-2S-120					67	65				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

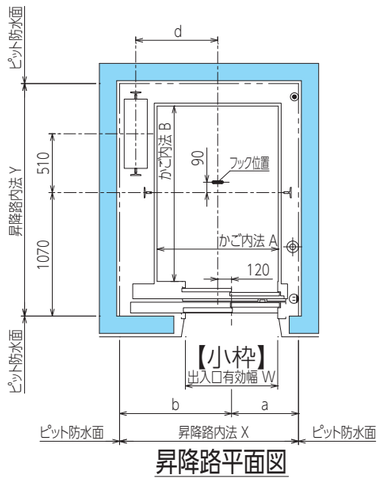
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

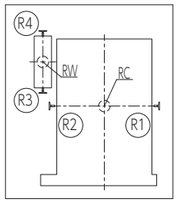
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-6-2S-45	4200以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
R-6-2S-60				
R-6-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
R-6-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500
R-6-2S-120				

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－5　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-9）
【昇降行程：60m以下の場合】



昇降路平面図



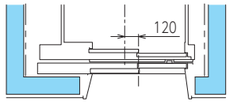
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

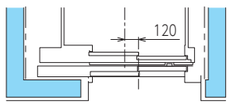
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

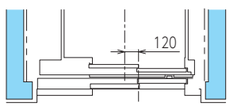
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200~0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊕	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



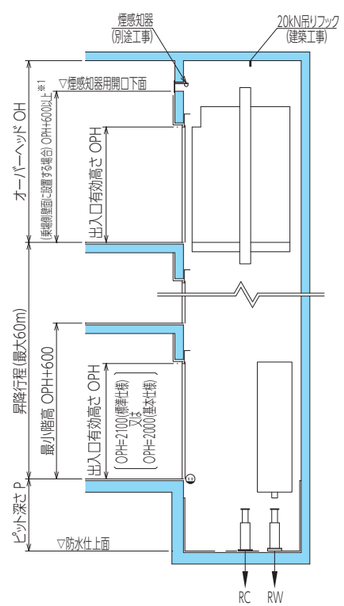
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P	a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程						
					30m以下	45m以下	60m以下				
R-9-2S-45	1050×1520	800	1550×2100	1550×2200	3000	3050	3150	1250	580	970	710
R-9-2S-60											
R-9-2S-90			1600×2150	1600×2250	3350	3400	3500		605	995	715
R-9-2S-105					3450	3500	3600				
R-9-2S-120											

[注] ①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

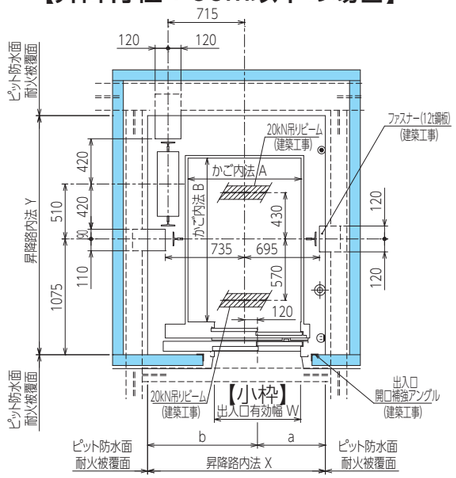
荷重表

（単位：kN）

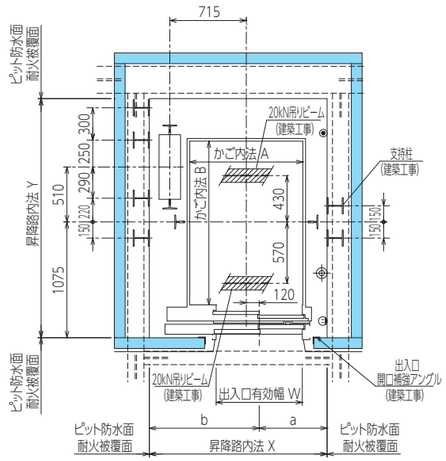
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	33	35	43	23	59	55	4.2	3.5	5.0	2.7
R-9-2S-60					74	69				
R-9-2S-90					76	73				
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

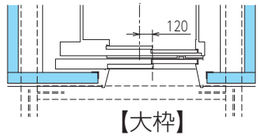
1−6　昇降路がS造の場合の寸法例（R-9）
【昇降行程：60m以下の場合】



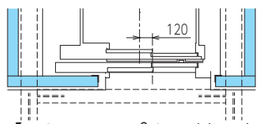
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



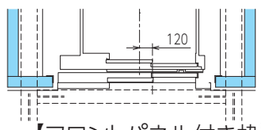
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



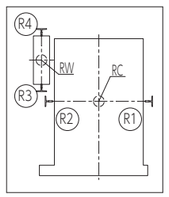
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



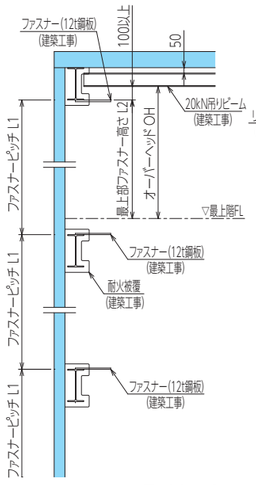
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

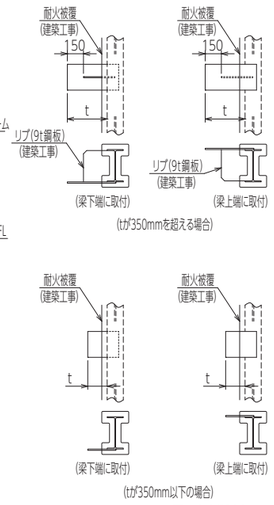
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ　P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-9-2S-45	1050×1520	800	1650×2150	1650×2250	3000	3050	3150	1250	630	1020
R-9-2S-60										
R-9-2S-90					3350	3400	3500			
R-9-2S-105					3450	3500	3600			
R-9-2S-120										

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	33	35	43	23	59	55	4.2	3.5	5.0	2.7
R-9-2S-60					74	69				
R-9-2S-90					76	73				
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

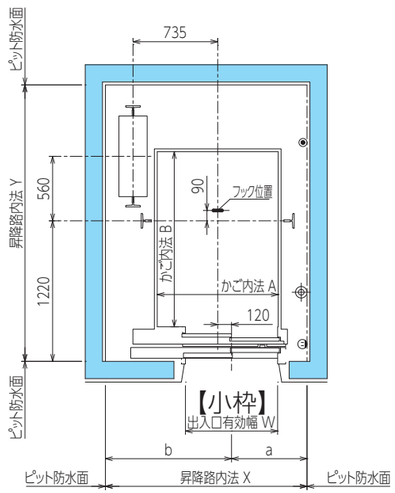
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

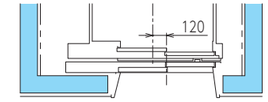
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-9-2S-45	4200以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
R-9-2S-60				
R-9-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
R-9-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500
R-9-2S-120				

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

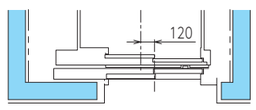
1－7　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-9）
【昇降行程：60m超の場合】



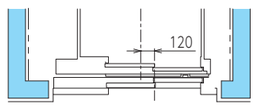
昇降路平面図



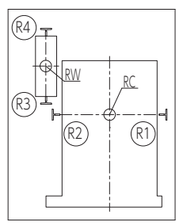
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



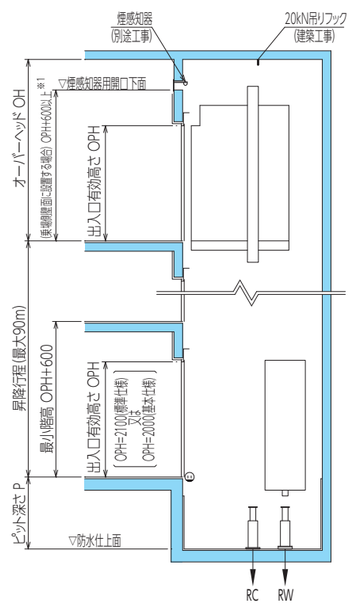
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
E	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
R-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2300	1750×2400	3500	3600	1500	1850	655	1095
R-9-2S-105					3600	3700				
R-9-2S-120										

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

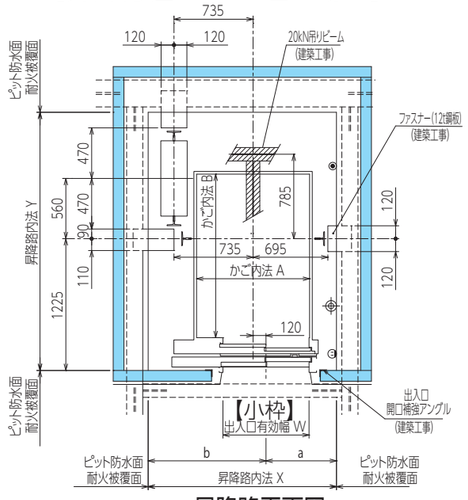
荷重表

（単位：kN）

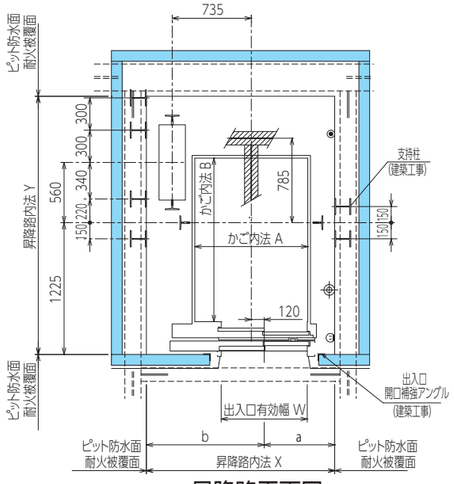
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-90	41	60	37	30	76	73	4.2	3.3	5.2	2.7
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

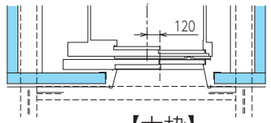
1－8　昇降路がS造の場合の寸法例（R-9）
【昇降行程：60m超の場合】



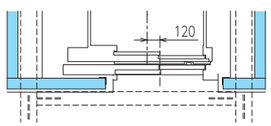
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



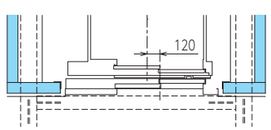
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



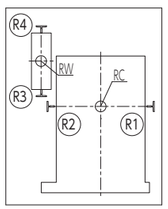
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



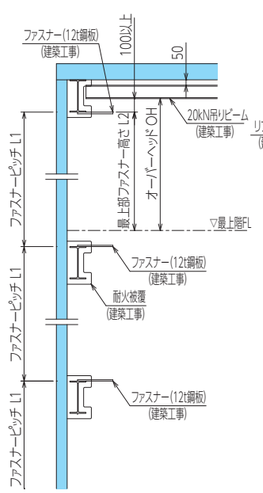
【フロントパネル付き枠】



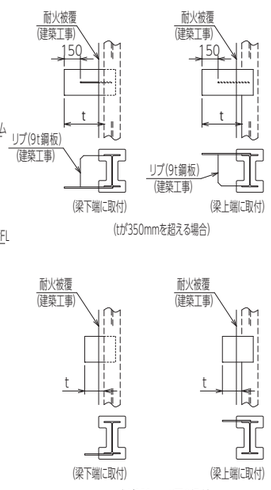
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊡	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ　P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
R-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2300	1750×2400	3500	3600	1500	1850	680	1070
R-9-2S-105					3600	3700				
R-9-2S-120										

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-90	41	60	37	30	76	73	4.2	3.3	5.2	2.7
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

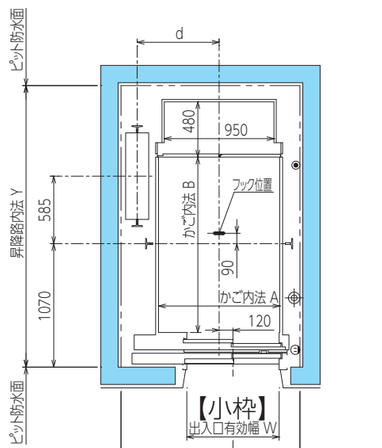
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

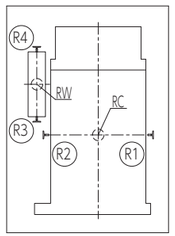
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2）
		昇降行程
		90m以下
R-9-2S-90	4200以下	3250〜3400
R-9-2S-105		3350〜3500
R-9-2S-120		

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－9　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-9トランク付）
【昇降行程：60m以下の場合】



昇降路平面図



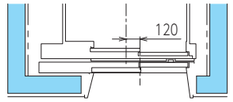
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

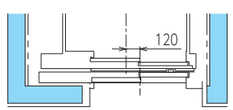
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

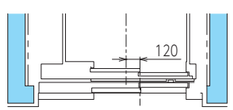
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



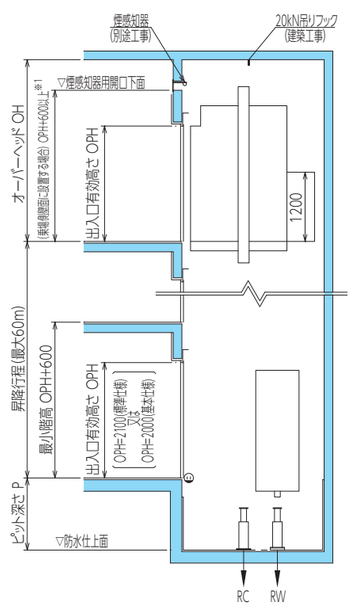
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ　P	a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程						
					30m以下	45m以下	60m以下				
RT-9-2S-45	1050×1520	800	1550×2350	1550×2450	3000	3050	3150	1250	580	970	710
RT-9-2S-60											
RT-9-2S-90			1600×2400	1600×2500	3350	3400	3500		605	995	715
RT-9-2S-105					3450	3500	3600				
RT-9-2S-120											

［注］①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

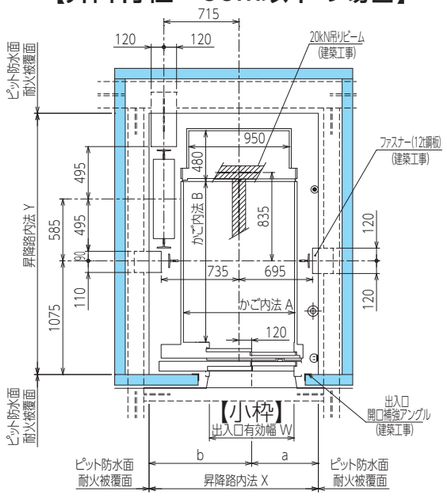
（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-45	33	35	44	24	61	57	4.3	4.0	5.2	2.8
RT-9-2S-60					76	71				
RT-9-2S-90					78	75				
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

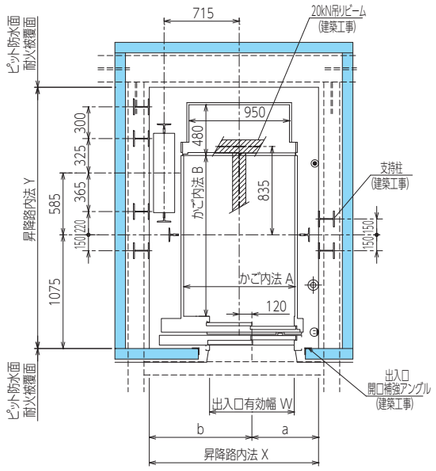
［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

R 住宅用

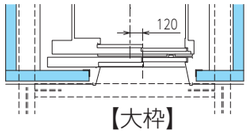
1－10　昇降路がS造の場合の寸法例（R-9トランク付）
【昇降行程：60m以下の場合】



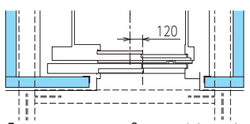
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



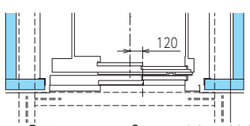
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



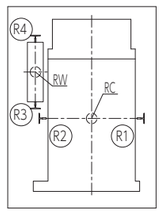
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】

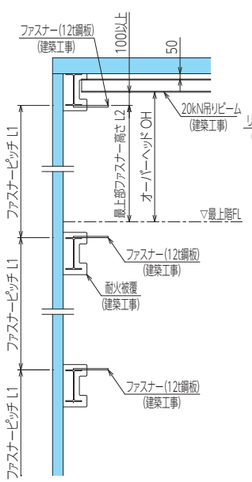


ピット荷重分布図

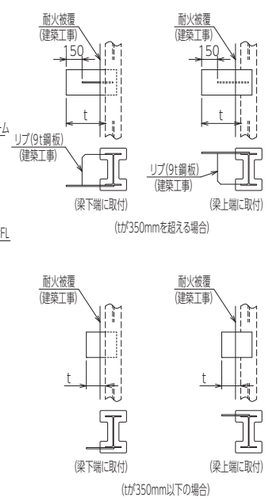
レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ　P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
RT-9-2S-45	1050×1520	800	1650×2400	1650×2500	3000	3050	3150	1250	630	1020
RT-9-2S-60										
RT-9-2S-90					3350	3400	3500			
RT-9-2S-105					3450	3500	3600			
RT-9-2S-120										

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-45	33	35	44	24	61	57	4.3	4.0	5.2	2.8
RT-9-2S-60					76	71				
RT-9-2S-90					78	75				
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

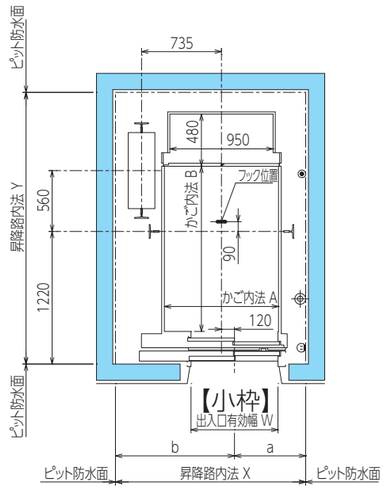
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

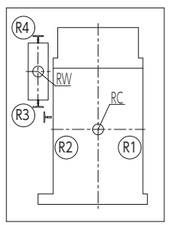
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2）		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
RT-9-2S-45	4050以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050
RT-9-2S-60				
RT-9-2S-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400
RT-9-2S-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500
RT-9-2S-120				

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－11　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-9トランク付）
【昇降行程：60m超の場合】



昇降路平面図



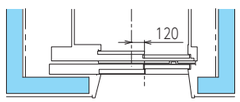
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

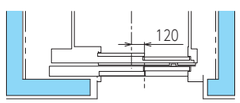
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

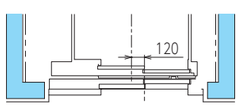
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



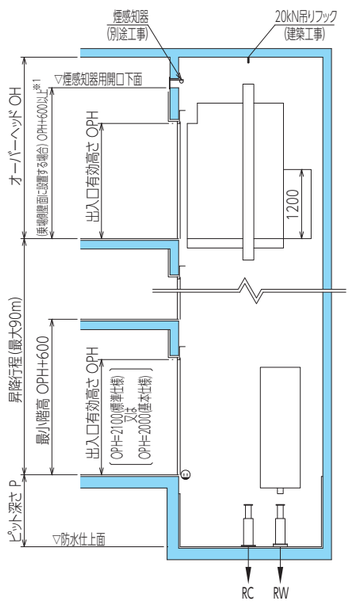
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1.幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
RT-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2400	1750×2500	3500	3600	1500	1850	680	1070
RT-9-2S-105					3600	3700				
RT-9-2S-120										

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

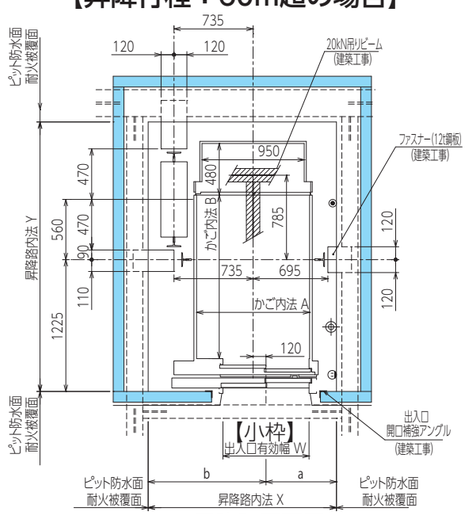
荷重表

（単位：kN）

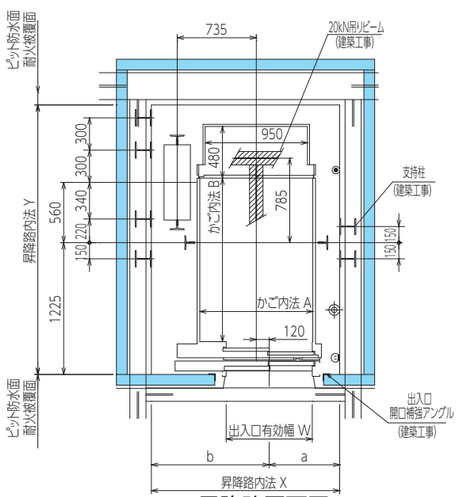
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-90	41	60	37	30	78	75	4.4	3.5	5.3	2.8
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

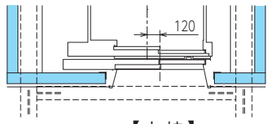
1－12　昇降路がS造の場合の寸法例（R-9トランク付）
【昇降行程：60m超の場合】



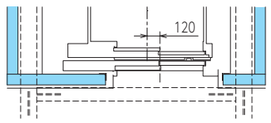
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



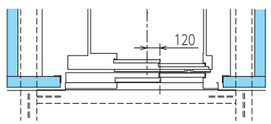
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



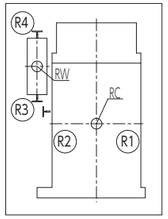
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】

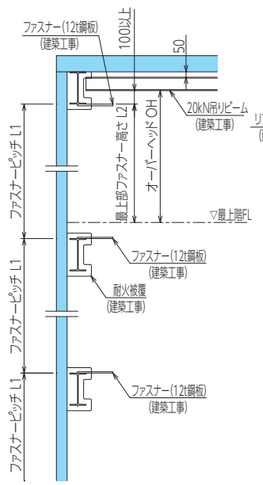


ピット荷重分布図

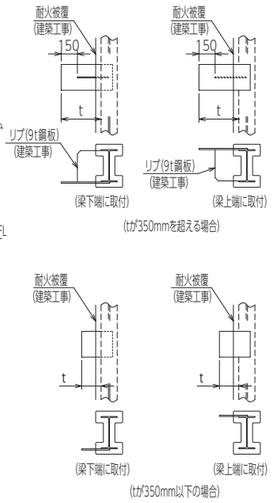
レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

R 住宅用

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
RT-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2400	1750×2500	3500	3600	1500	1850	680	1070
RT-9-2S-105					3600	3700				
RT-9-2S-120										

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-90	41	60	37	30	78	75	4.4	3.5	5.3	2.8
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

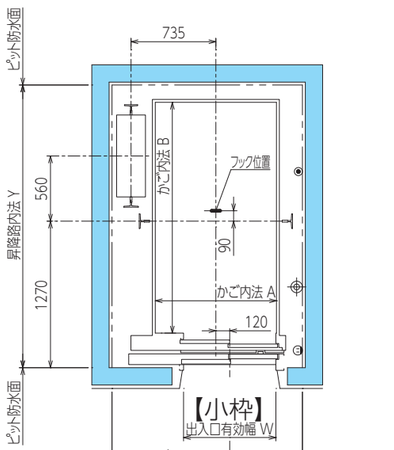
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

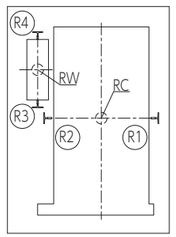
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2）
		昇降行程
		90m以下
RT-9-2S-90	4050以下	3250～3400
RT-9-2S-105		3350～3500
RT-9-2S-120		

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－13　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-13）



昇降路平面図



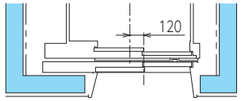
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

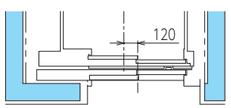
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

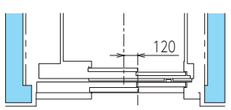
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



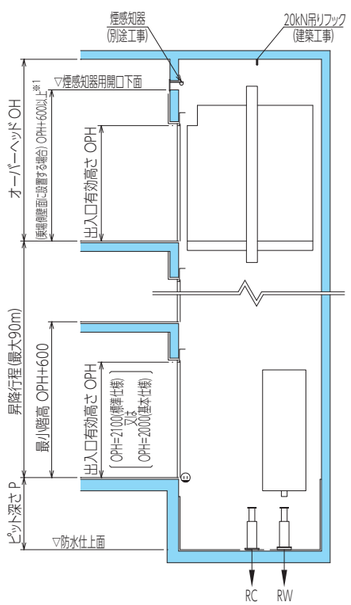
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y フロントパネル付き枠 昇降行程 60m以下	90m以下	左記以外 昇降行程 60m以下	90m以下	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	a 昇降行程 60m以下	90m以下	b 昇降行程 60m以下	90m以下
R-13-2S-45	1050×2000	800	1650×2350	-	1650×2450	-	3000	3050	3150	-	-	1250	-	-	605	-	1045	-
R-13-2S-60																		
R-13-2S-90				1750×2400		1750×2500	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850		655		1095
R-13-2S-105							3450	3500	3600	3600	3700							
R-13-2S-120																		

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

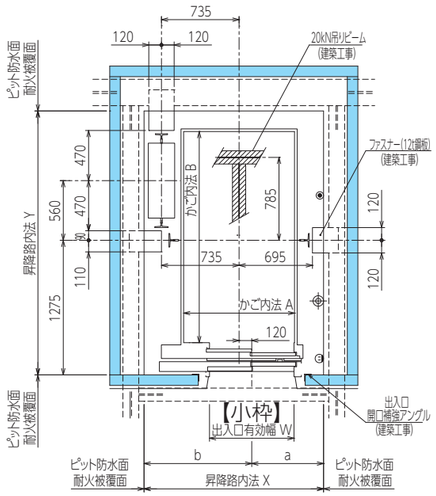
荷重表

（単位：kN）

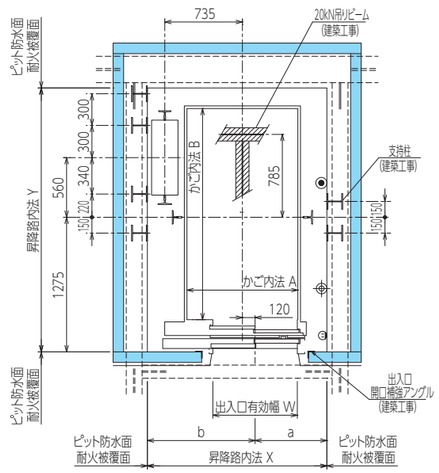
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	37	38	48	25	75	66	5.0	4.0	6.0	3.2
R-13-2S-60					93	83				
R-13-2S-90					96	87				
R-13-2S-105					98	89				
R-13-2S-120					98	89				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

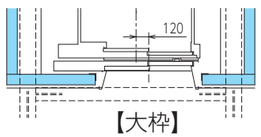
1－14　昇降路がS造の場合の寸法例（R-13）



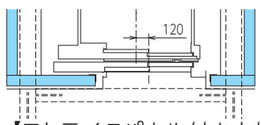
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



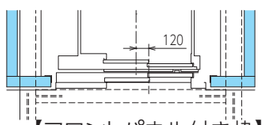
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



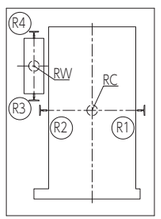
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



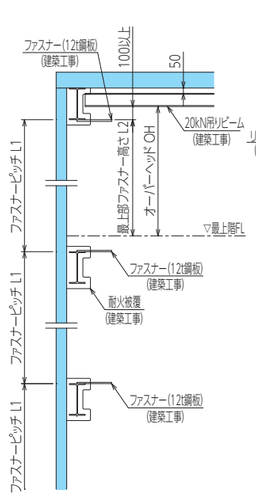
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

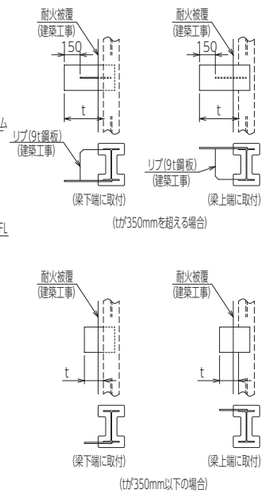
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y				オーバーヘッド OH 注⑥					ピット深さ　P			a		b	
			フロントパネル付き枠		左記以外													
			昇降行程		昇降行程		昇降行程					昇降行程			昇降行程		昇降行程	
			60m以下	90m以下	60m以下	90m以下	30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	90m以下	60m以下	90m以下
R-13-2S-45	1050×2000	800	1700×2400	-	1700×2500	-	3000	3050	3150	-	-	1250	-	-	630	-	1070	-
R-13-2S-60																		
R-13-2S-90				1750×2400		1750×2500	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850		655		1095
R-13-2S-105							3450	3500	3600	3600	3700							
R-13-2S-120																		

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	37	38	48	25	75	66	5.0	4.0	6.0	3.2
R-13-2S-60					93	83				
R-13-2S-90					96	87				
R-13-2S-105					98	89				
R-13-2S-120					98	89				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

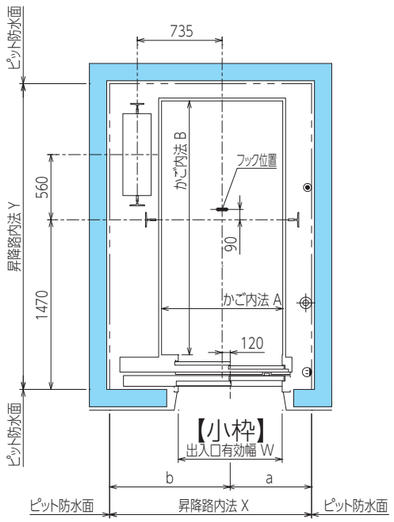
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

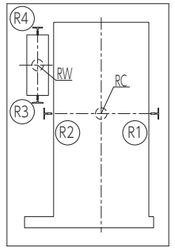
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2）昇降行程			
		30m以下	45m以下	60m以下	90m以下
R-13-2S-45	3700以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050	-
R-13-2S-60					
R-13-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400	3250〜3400
R-13-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500	3350〜3500
R-13-2S-120					

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－15　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-15）



昇降路平面図



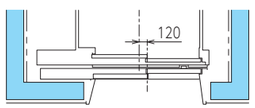
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

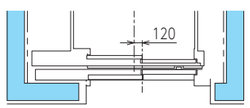
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

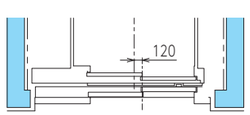
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



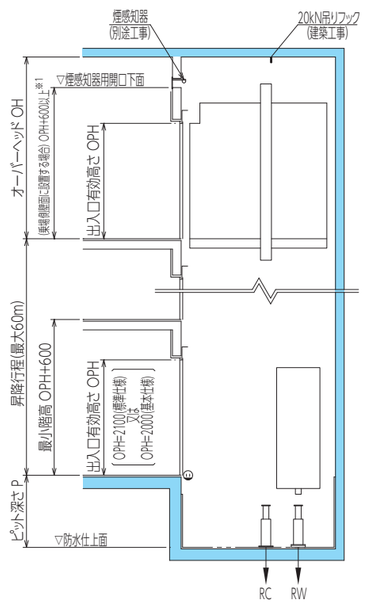
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1.幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-15-2S-45	1050×2200	800	1700×2550	1700×2650	3000	3050	3150	1250	655	1045
R-15-2S-60										
R-15-2S-90					3350	3400	3500			
R-15-2S-105					3450	3500	3600			
R-15-2S-120										

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

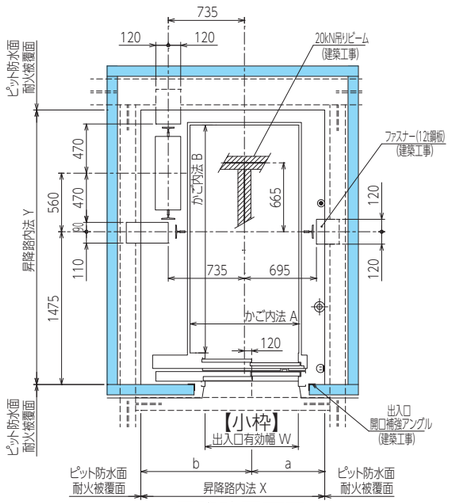
荷重表

（単位：kN）

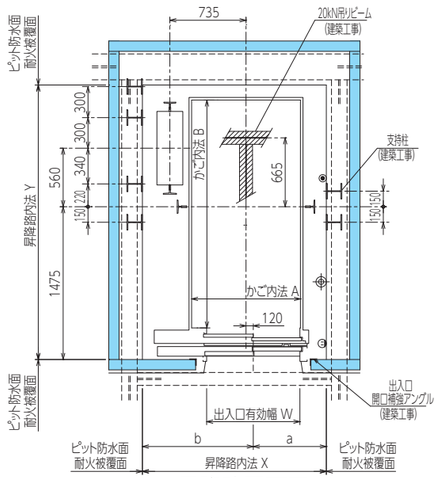
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	38	56	32	25	81	70	5.2	4.5	6.5	3.4
R-15-2S-60					100	88				
R-15-2S-90					103	91				
R-15-2S-105					105	93				
R-15-2S-120					105	93				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

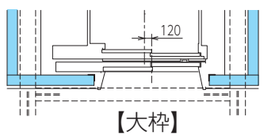
1－16　昇降路がS造の場合の寸法例（R-15）



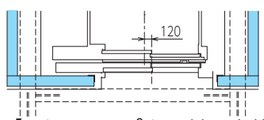
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



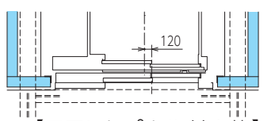
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



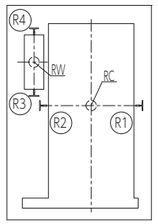
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



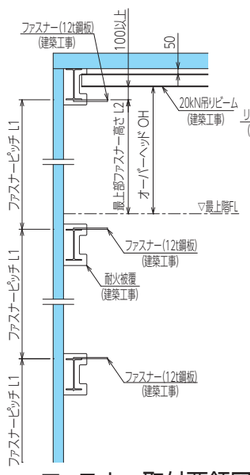
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

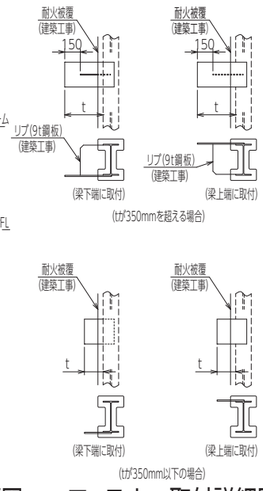
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-15-2S-45	1050×2200	800	1725×2550	1725×2650	3000	3050	3150	1250	655	1070
R-15-2S-60										
R-15-2S-90					3350	3400	3500			
R-15-2S-105					3450	3500	3600			
R-15-2S-120										

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	38	56	32	25	81	70	5.2	4.5	6.5	3.4
R-15-2S-60					100	88				
R-15-2S-90					103	91				
R-15-2S-105					105	93				
R-15-2S-120					105	93				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

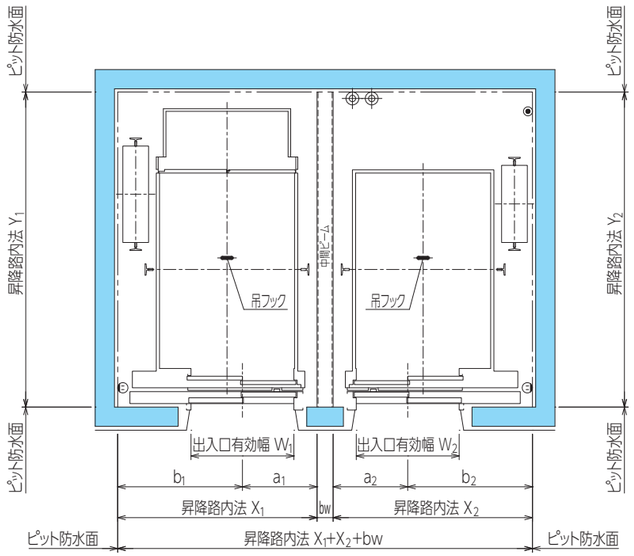
（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2）		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-15-2S-45	3550以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050
R-15-2S-60				
R-15-2S-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400
R-15-2S-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500
R-15-2S-120				

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

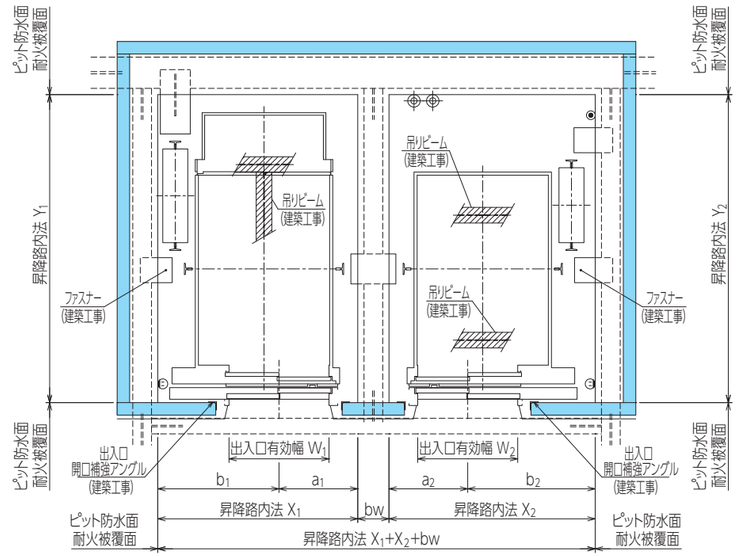
1－17　2台並列設置の場合の寸法例

※a,b,X,Y寸法値についてはR住宅用エレベータの各機種寸法例のページを参照願います。



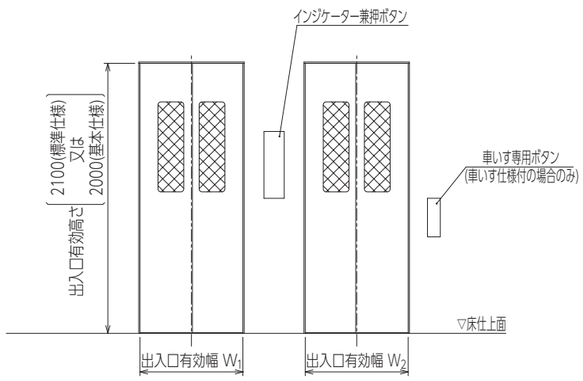
昇降路平面図

（RCの場合）



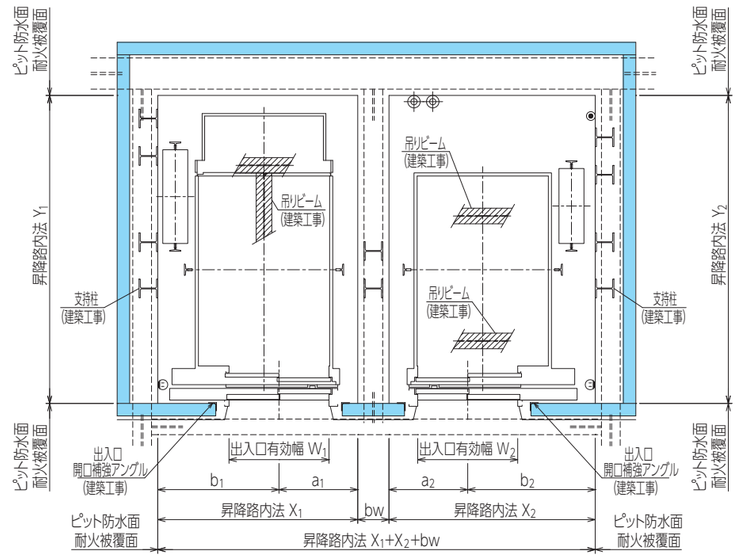
昇降路平面図

（ファスナーの場合）



出入口正面図

注：防犯窓付きの場合を示します



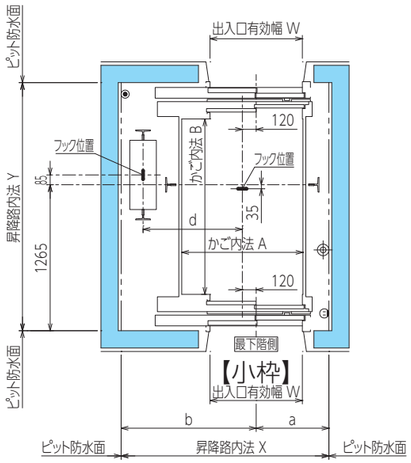
昇降路平面図

（レール支持用柱の場合）

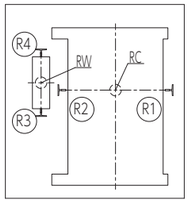
R住宅用

Ⅲ－2　計画編（二方向出入口）

2－1　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-9）



昇降路平面図



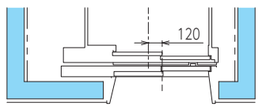
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

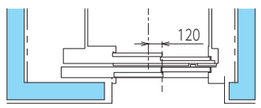
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

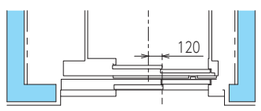
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
ⓤ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



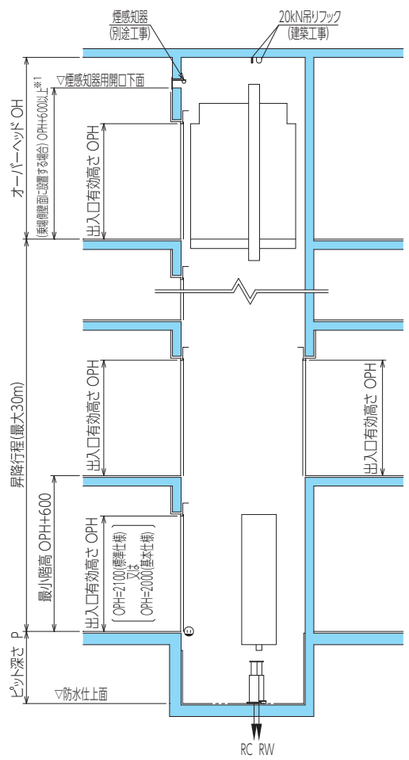
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦	ピット深さ　P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程 30m以下	標準	特殊			
R-9-2S-45	1050×1520	800	1800×1970	1800×2150	3000	1250	1700 (1600)	630	1170	870
R-9-2S-60										
R-9-2S-90					3350					
R-9-2S-105					3450					
R-9-2S-120										

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は（ ）内の寸法となります。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

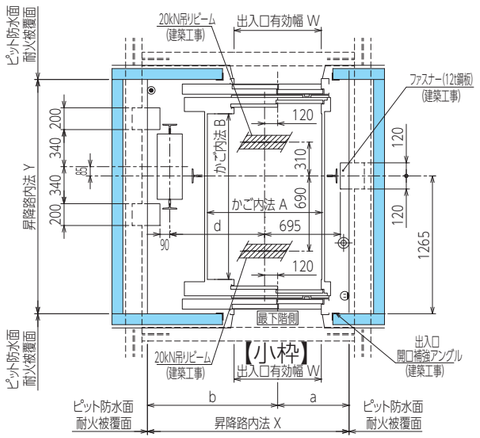
荷重表

（単位：kN）

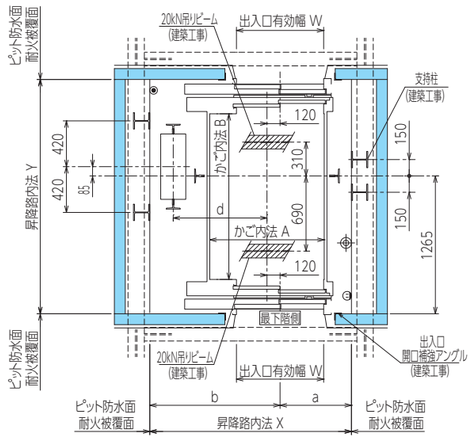
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	27	32	37	13	65	60	4.7	4.0	5.7	3.0
R-9-2S-60					80	75				
R-9-2S-90					82	78				
R-9-2S-105					84	80				
R-9-2S-120					84	80				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

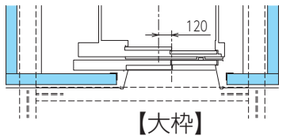
2－2　昇降路がS造の場合の寸法例（R-9）



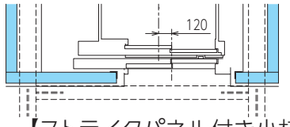
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



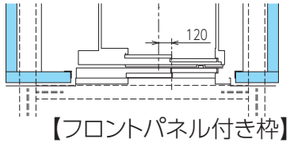
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



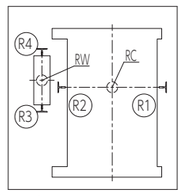
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



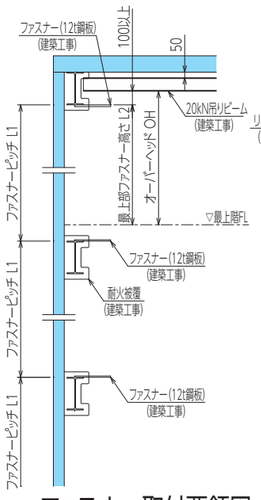
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

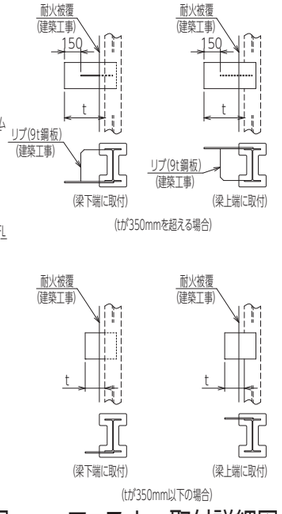
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊡	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦	ピット深さ　P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程 30m以下	標準	特殊			
R-9-2S-45	1050×1520	800	1850×1980	1850×2160	3000	1250	1700（1600）	655	1195	870
R-9-2S-60										
R-9-2S-90					3350					
R-9-2S-105					3450					
R-9-2S-120										

［注］①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は（　）内の寸法となります。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	27	32	37	13	65	60	4.7	4.0	5.7	3.0
R-9-2S-60					80	75				
R-9-2S-90					82	78				
R-9-2S-105					84	80				
R-9-2S-120					84	80				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

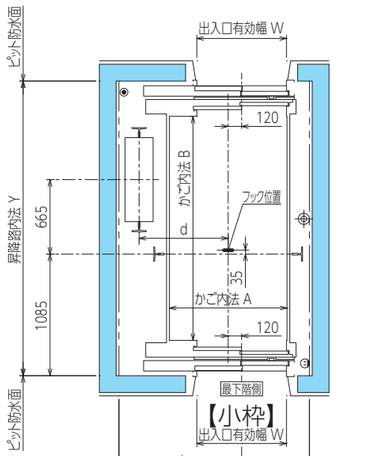
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

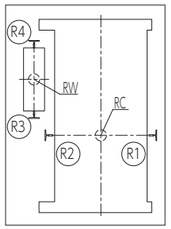
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
R-9-2S-45	3700以下	2750〜2900
R-9-2S-60		
R-9-2S-90		3100〜3250
R-9-2S-105		3250〜3350
R-9-2S-120		

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

2−3　昇降路がRC造の場合の寸法例（R-13）



昇降路平面図



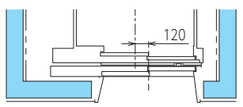
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

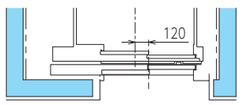
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

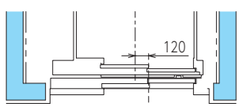
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊡	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



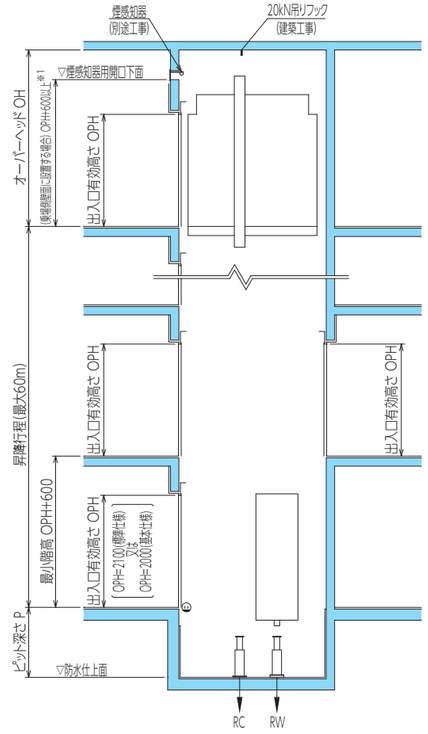
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1.幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

R 住宅用

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ　P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-13-2S-45	1050×2000	800	1700×2450	1700×2630	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	605	1095	795
R-13-2S-60												
R-13-2S-90					3350	3400	3500					
R-13-2S-105					3450	3500	3600					
R-13-2S-120												

［注］①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は（ ）内の寸法となります。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

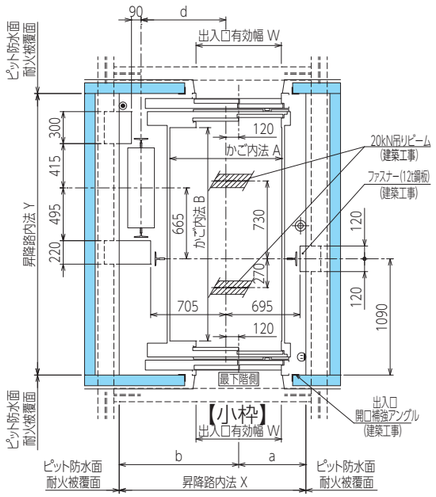
荷重表

（単位：kN）

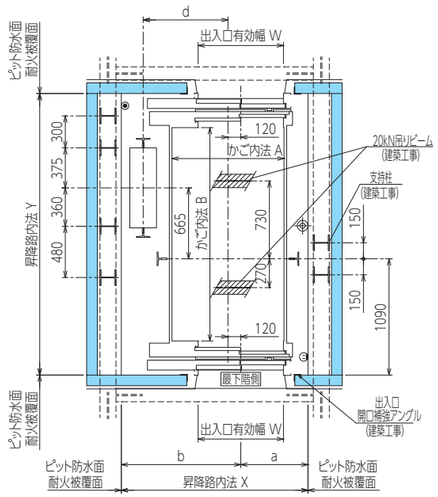
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	38	16	67	31	80	71	5.4	4.8	6.6	3.4
R-13-2S-60					99	90				
R-13-2S-90					102	93				
R-13-2S-105					104	95				
R-13-2S-120					104	95				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

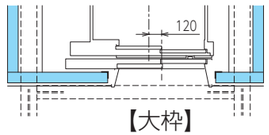
2−4　昇降路がS造の場合の寸法例（R-13）



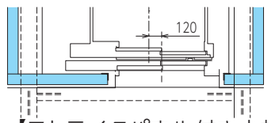
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



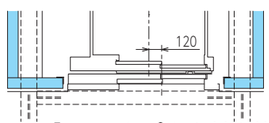
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



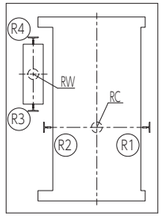
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



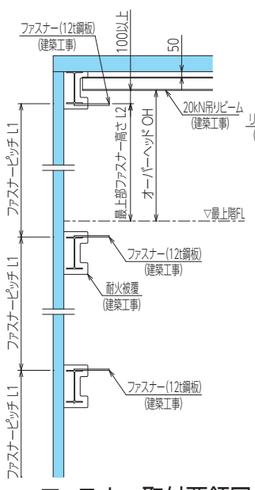
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

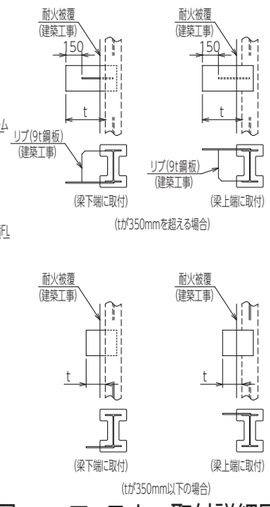
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-13-2S-45	1050×2000	800	1750×2460	1750×2640	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	630	1120	795
R-13-2S-60												
R-13-2S-90					3350	3400	3500					
R-13-2S-105					3450	3500	3600					
R-13-2S-120												

［注］①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は（ ）内の寸法となります。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	38	16	67	31	80	7	5.4	4.8	6.6	3.4
R-13-2S-60					99	90				
R-13-2S-90					102	93				
R-13-2S-105					104	95				
R-13-2S-120					104	95				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

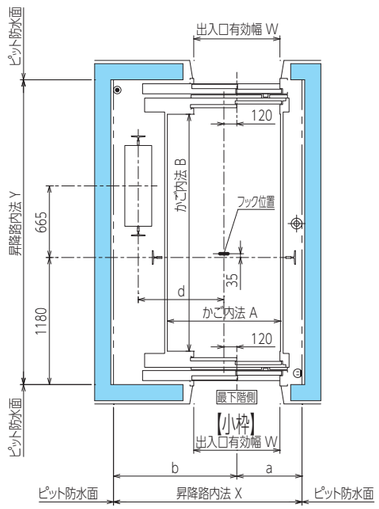
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

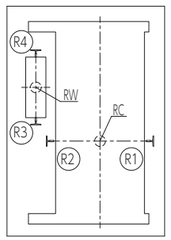
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-13-2S-45	3400以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
R-13-2S-60				
R-13-2S-90		2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
R-13-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500
R-13-2S-120				

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

2−5　昇降路が RC造の場合の寸法例（R-15）



昇降路平面図



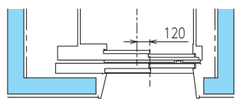
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

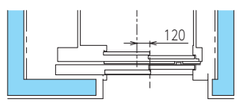
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

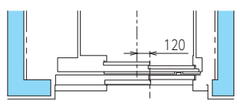
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



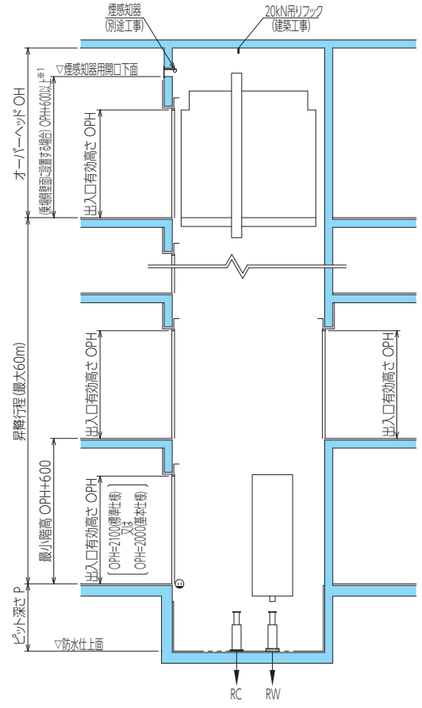
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1.幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-15-2S-45	1050×2200	800	1750×2650	1750×2830	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	655	1095	795
R-15-2S-60												
R-15-2S-90					3350	3400	3500					
R-15-2S-105					3450	3500	3600					
R-15-2S-120												

［注］①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は（ ）内の寸法となります。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

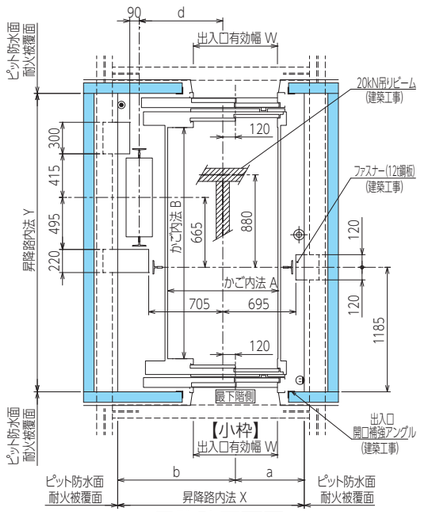
（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	39	16	69	32	86	75	5.6	4.8	6.9	3.6
R-15-2S-60					106	95				
R-15-2S-90					109	98				
R-15-2S-105					112	101				
R-15-2S-120					112	101				

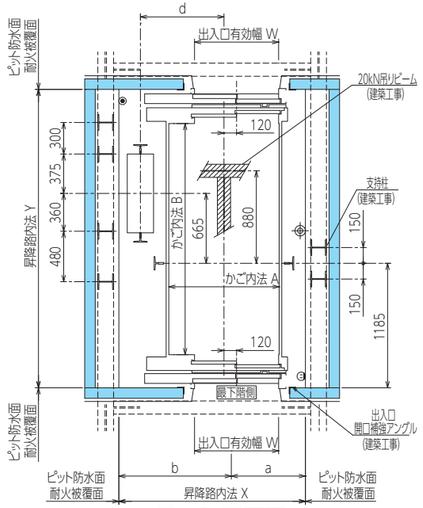
［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

R 住宅用

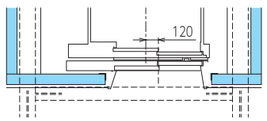
2−6　昇降路がS造の場合の寸法例（R-15）



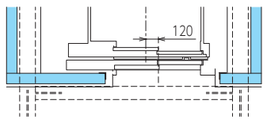
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



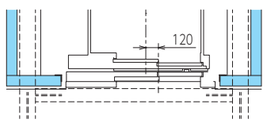
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



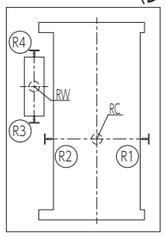
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



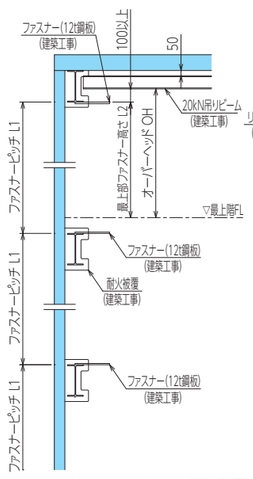
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

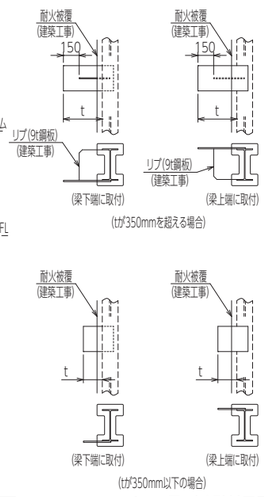
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-15-2S-45	1050×2200	800	1775×2660	1775×2840	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	655	1120	795
R-15-2S-60												
R-15-2S-90					3350	3400	3500					
R-15-2S-105					3450	3500	3600					
R-15-2S-120												

[注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は（ ）内の寸法となります。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重）				ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重）		レールに作用する荷重値（短期荷重）			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	39	16	69	32	86	75	5.6	4.8	6.9	3.6
R-15-2S-60					106	95				
R-15-2S-90					109	98				
R-15-2S-105					112	101				
R-15-2S-120					112	101				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2）昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-15-2S-45	3450以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
R-15-2S-60				
R-15-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
R-15-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500
R-15-2S-120				

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

Ⅳ B 寝台用エレベータ

Ⅳ－1　計画編（一方向出入口）

1－1　エレベータの仕様、台数の選定

■ 病院における人の交通では、面会時間開始直後の見舞い客の出入りによってピークが生じ、この交通需要は一般的に5分間に1ベッド当り0.2人です。また、ストレッチャーを含む諸運搬車の交通は、午前と午後に緩やかなピークを生じ、その交通量は一般的に5分間に1ベッド当り0.02台です。病院に設置されるエレベータの仕様は、これらの交通需要に加え、病院の種類、立地条件、病棟、外来、診察室の配置、運営方法等も考慮の上、選択する必要があります。

■ 病院用エレベータの選定はストレッチャーなどの大きさ、重さに応じて選定してください。

エレベータ設置計画上のご注意

■ 寝台用エレベータを設置できる建物は病院、診療所（患者の収容施設のあるもの）、老人保健施設、特別養護老人ホーム、身体障がい者養護施設、重症心身障がい児施設などです。また、寝台用エレベータはストレッチャーなどの運搬を主な目的としたもので、寝台用エレベータに適さない用途の建物に設置する場合や、ふさわしくない階に停止させる場合は、所轄行政庁と十分に協議願います。また医療に直接関係のない階に停止させることは好ましくありません。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

□BIMダウンロード
□CADダウンロード

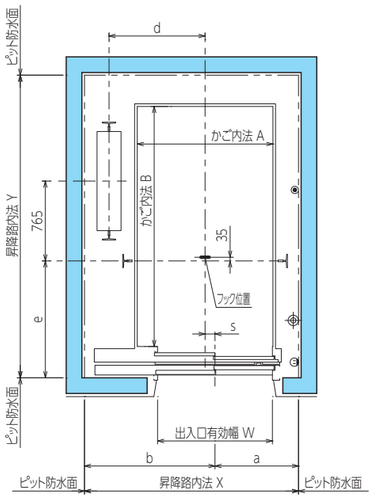
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は　https://www.fujitec.co.jp/sales/

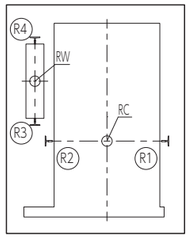
1－2　基本仕様

No.	型式	定格速度（m/min）	容量		電動機容量（kW）
			定員（名）	積載（kg）	
1	B-11-2S-45	45	11	750	3.5
2	B-11-2S-60	60			4.6
3	B-11-2S-90	90			6.9
4	B-11-2S-105	105			8.1
5	B-15-2S-45	45	15	1000	4.6
6	B-15-2S-60	60			6.2
7	B-15-2S-90	90			9.2
8	B-15-2S-105	105			11.0
9	B-17-2S-45	45	17	1150	5.3
10	B-17-2S-60	60			7.1
11	B-17-2S-90	90			11.0
12	B-20-2S-45	45	20	1300	6.0
13	B-20-2S-60	60			8.0
14	B-20-2S-90	90			12.0
15	B-23-2S-45	45	23	1500	6.9
16	B-23-2S-60	60			9.2
17	B-23-2S-90	90			14.0

1－3　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図

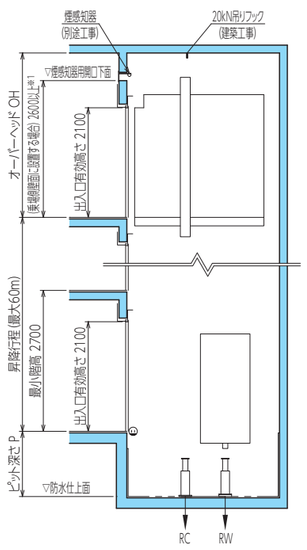


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	d	e	s
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2900	3000	3050	3150	1250	800	1250	920	1120	95
B-11-2S-60												
B-11-2S-90				3350	3400	3500						
B-11-2S-105				3450	3500	3600						
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3100	3000	3050	3150	1250	890	1410	1020	1220	145
B-15-2S-60												
B-15-2S-90				3350	3400	3500						
B-15-2S-105				3450	3500	3600						

［注］①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

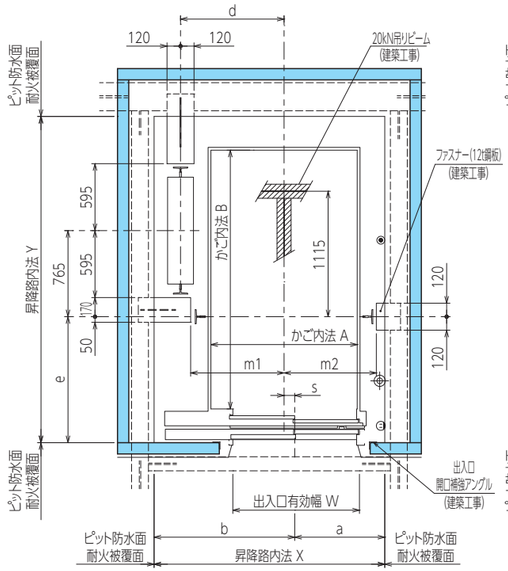
荷重表

（単位：kN）

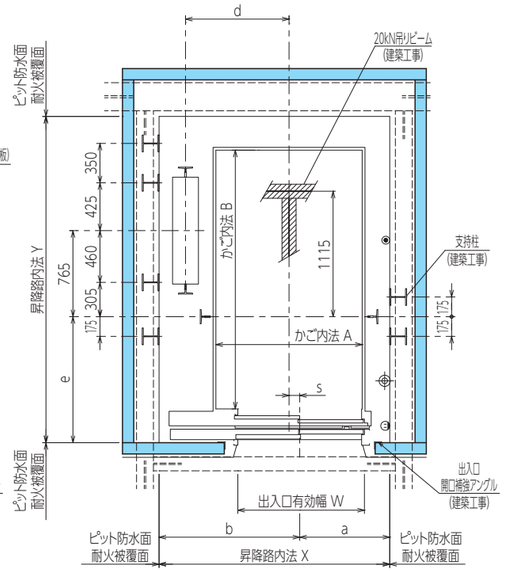
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	37	18	64	31	77	71	5.5	4.3	6.5	3.4
B-11-2S-60					95	90				
B-11-2S-90					98	93				
B-11-2S-105					100	95				
B-15-2S-45	41	17	70	34	90	80	6.4	4.9	7.3	3.8
B-15-2S-60					111	101				
B-15-2S-90					115	105				
B-15-2S-105					117	107				

［注］①設計用水平震度0.6の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

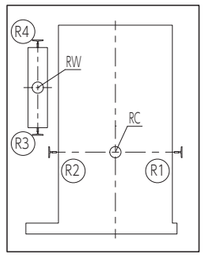
1－4　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



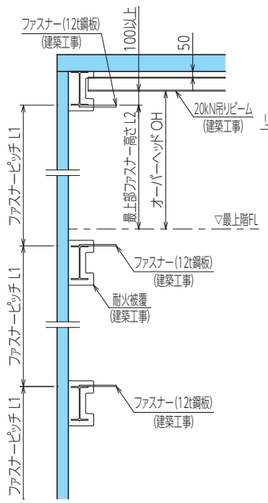
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

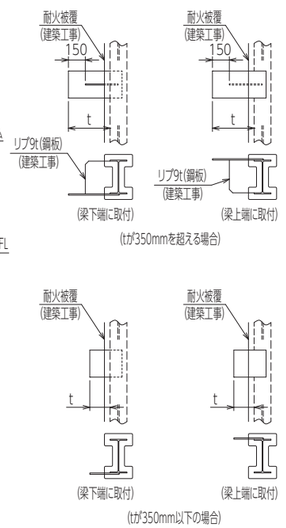
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	d	e	s	m1	m2
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2900	3000	3050	3150	1250	800	1250	920	1125	95	830	820
B-11-2S-60														
B-11-2S-90				3350	3400	3500								
B-11-2S-105				3450	3500	3600								
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3100	3000	3050	3150	1250	890	1410	1020	1225	145	930	920
B-15-2S-60														
B-15-2S-90				3350	3400	3500								
B-15-2S-105				3450	3500	3600								

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	37	18	64	31	77	71	5.5	4.3	6.5	3.4
B-11-2S-60					95	90				
B-11-2S-90					98	93				
B-11-2S-105					100	95				
B-15-2S-45	41	17	70	34	90	80	6.4	4.9	7.3	3.8
B-15-2S-60					111	101				
B-15-2S-90					115	105				
B-15-2S-105					117	107				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

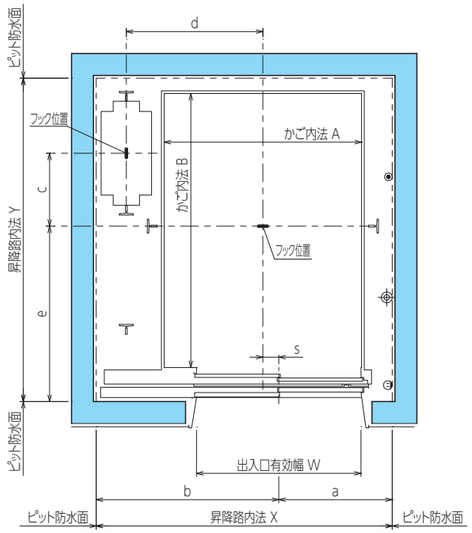
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

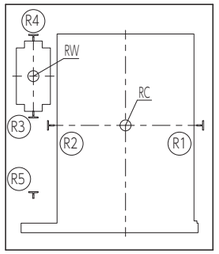
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
B-11-2S-45	3350以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
B-11-2S-60				
B-11-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
B-11-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500
B-15-2S-45	3300以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
B-15-2S-60				
B-15-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
B-15-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1－5　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）



昇降路平面図



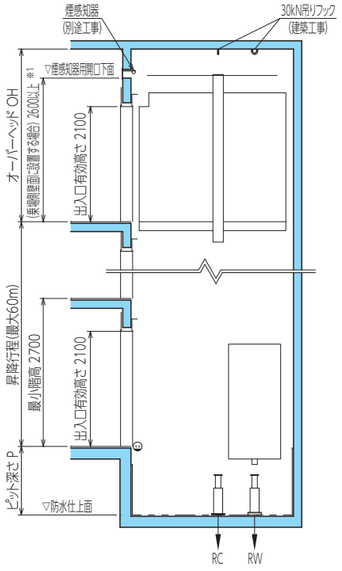
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	c	d	e	s
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2700×2940	3300	3350	3450	1250	1035	1665	665	1245	1590	145
B-17-2S-60													
B-17-2S-90				3400	3450	3550	1400						
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2700×3190	3300	3350	3450	1250	1035	1665	690	1245	1740	145
B-20-2S-60													
B-20-2S-90				3400	3450	3550	1400						
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3150×3390	3300	3350	3450	1250	1185	1965	690	1345	1840	95
B-23-2S-60													
B-23-2S-90				3400	3450	3550	1400						

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

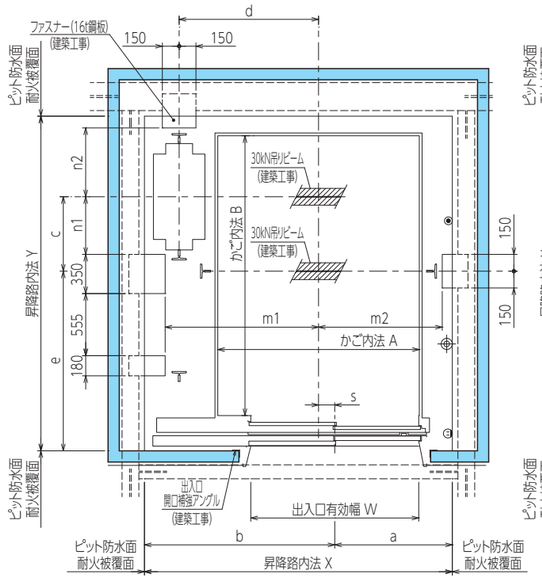
（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	62	63	63	49	32	142	136	11.2	10.3	12.3	6.6	1.7	1.7
B-17-2S-60						176	172						
B-17-2S-90						181	178						
B-20-2S-45	65	65	65	52	32	154	146	12.0	10.9	13.1	7.0	1.7	1.7
B-20-2S-60						190	184						
B-20-2S-90						196	190						
B-23-2S-45	69	69	69	54	33	169	158	12.9	11.9	14.3	7.6	1.7	1.7
B-23-2S-60						209	200						
B-23-2S-90						216	207						

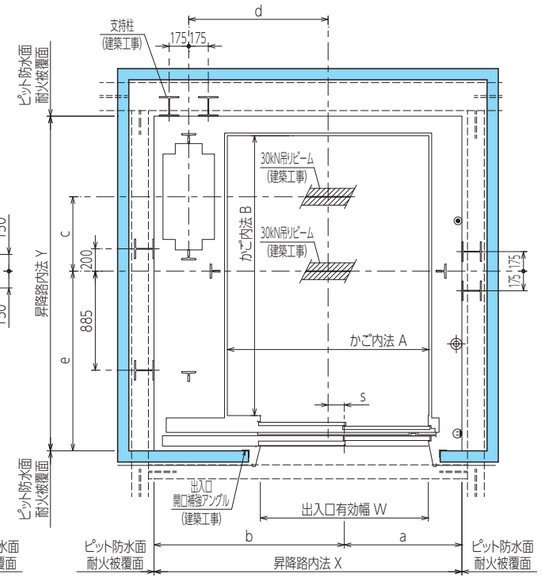
[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

B 寝台用

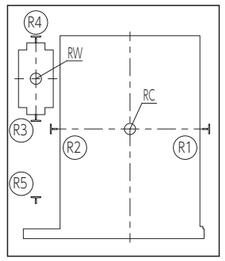
1−6　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



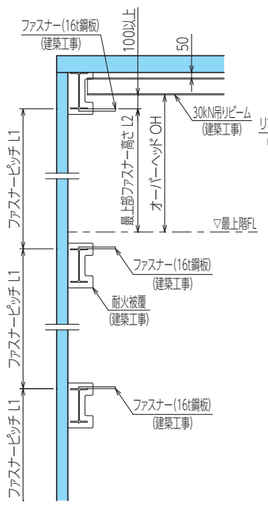
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

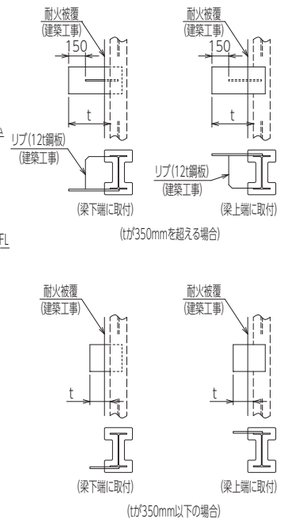
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	s
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2750×2990	3300	3350	3450	1250	1050	1700	665	1245	1595	1370	1105	515	615	145
B-17-2S-60																	
B-17-2S-90				3400	3450	3550	1400										
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2750×3240	3300	3350	3450	1250	1050	1700	690	1245	1745	1370	1105	540	640	145
B-20-2S-60																	
B-20-2S-90				3400	3450	3550	1400										
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3200×3440	3300	3350	3450	1250	1200	2000	690	1345	1845	1470	1205	540	640	95
B-23-2S-60																	
B-23-2S-90				3400	3450	3550	1400										

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
条件により、必要壁厚が厚くなる場合があります。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
要にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩レール支持用柱の場合、昇降路内法Xおよびおよびb寸法は+35mmとなります。（B-23以外）

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	62	63	63	49	32	142	136	11.2	10.3	12.3	6.6	1.7	1.7
B-17-2S-60						176	172						
B-17-2S-90						181	178						
B-20-2S-45	65	65	65	52	32	154	146	12.0	10.9	13.1	7.0	1.7	1.7
B-20-2S-60						190	184						
B-20-2S-90						196	190						
B-23-2S-45	69	69	69	54	33	169	158	12.9	11.9	14.3	7.6	1.7	1.7
B-23-2S-60						209	200						
B-23-2S-90						216	207						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

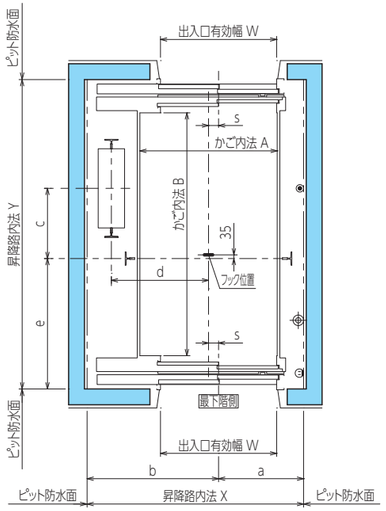
（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
B-17-2S-45	3750以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
B-17-2S-60				
B-17-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
B-20-2S-45	3600以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
B-20-2S-60				
B-20-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
B-23-2S-45	3300以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
B-23-2S-60				
B-23-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285

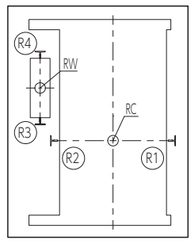
[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

Ⅳ－2　計画編（二方向出入口）

2－1　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図



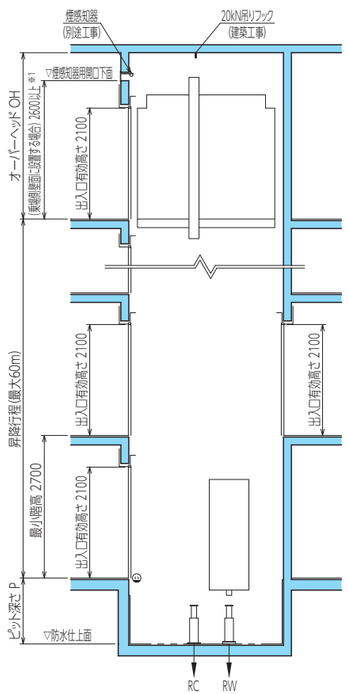
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
かご		PC1	PC2
おもり		PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 注② 標準	特殊	a	b	c	d	e	s
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2930	3000	3050	3150	1250	1600	805	1245	665	920	1235	95
B-11-2S-60														
B-11-2S-90				3350	3400	3500								
B-11-2S-105				3450	3500	3600								
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3130	3000	3050	3150	1250	1600	855	1445	765	1020	1310	145
B-15-2S-60														
B-15-2S-90				3350	3400	3500								
B-15-2S-105				3450	3500	3600								

[注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

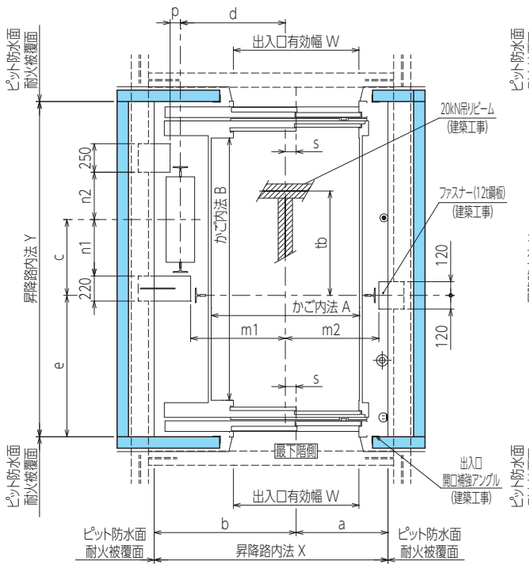
荷重表

（単位：kN）

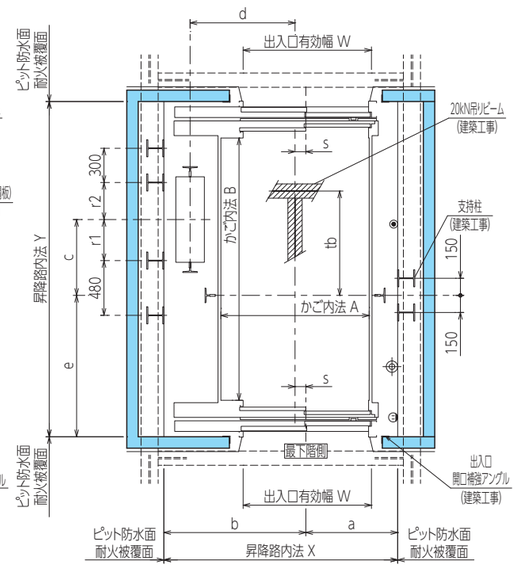
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	39	16	71	33	83	78	6.1	5.1	7.2	3.7
B-11-2S-60					103	98				
B-11-2S-90					106	101				
B-11-2S-105					108	104				
B-15-2S-45	42	16	74	36	97	87	6.7	5.6	8.0	4.1
B-15-2S-60					119	110				
B-15-2S-90					123	114				
B-15-2S-105					126	117				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

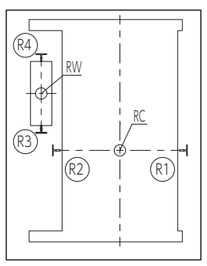
2－2　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図
（ファスナーの場合）



昇降路平面図
（レール支持用柱の場合）



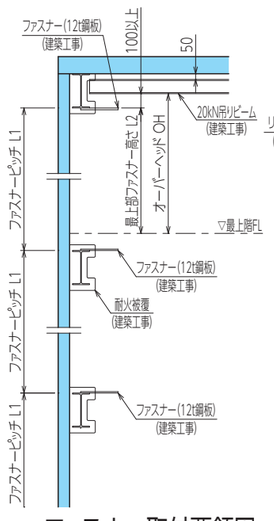
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

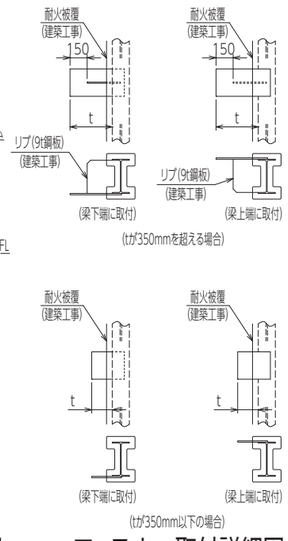
Py / Px		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
EU	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 注② 標準	特殊	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	p	r1	r2	s	tb
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2940	3000	3050	3150	1250	1600	805	1245	665	920	1240	830	820	495	415	90	360	325	95	915
B-11-2S-60																						
B-11-2S-90				3350	3400	3500																
B-11-2S-105				3450	3500	3600																
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3140	3000	3050	3150	1250	1600	855	1445	765	1020	1315	930	920	595	445	120	460	425	145	1055
B-15-2S-60																						
B-15-2S-90				3350	3400	3500																
B-15-2S-105				3450	3500	3600																

［注］①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	39	16	71	33	83	78	6.1	5.1	7.2	3.7
B-11-2S-60					103	98				
B-11-2S-90					106	101				
B-11-2S-105					108	104				
B-15-2S-45	42	16	74	36	97	87	6.7	5.6	8.0	4.1
B-15-2S-60					119	110				
B-15-2S-90					123	114				
B-15-2S-105					126	117				

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

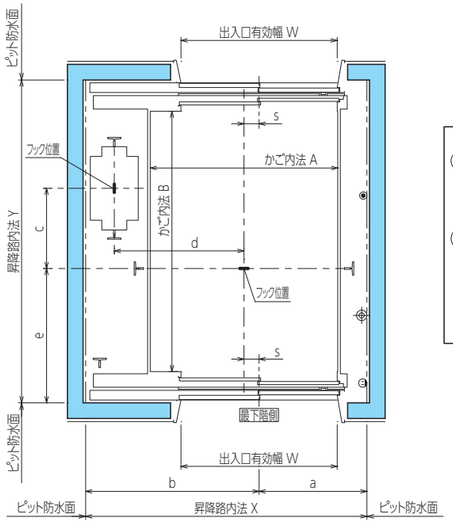
ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

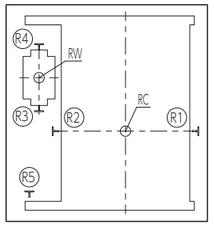
型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
B-11-2S-45	3400以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
B-11-2S-60				
B-11-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
B-11-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500
B-15-2S-45	3500以下	2750〜2900	2800〜2950	2900〜3050
B-15-2S-60				
B-15-2S-90		3100〜3250	3150〜3300	3250〜3400
B-15-2S-105		3200〜3350	3250〜3400	3350〜3500

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6の場合を示します。（耐震クラスA14）

2−3　昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）



昇降路平面図



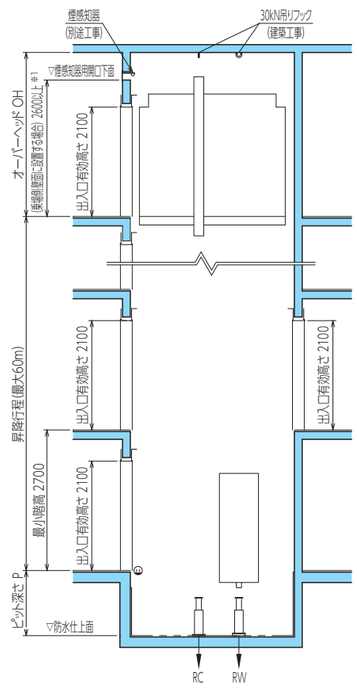
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y 注⑬	オーバーヘッド OH 注⑧ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 注② 標準	特殊	a	b	c	d	e 注⑬	s
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2700×3100 (3130)	3300	3350	3450	1250	1650	1035	1665	770	1245	1290 (1305)	145
B-17-2S-60														
B-17-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2700×3400 (3430)	3300	3350	3450	1250	1650	1035	1665	795	1245	1440 (1455)	145
B-20-2S-60														
B-20-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3150×3600 (3630)	3300	3350	3450	1250	1650	1185	1965	870	1345	1540 (1555)	95
B-23-2S-60														
B-23-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
　適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。
⑬昇降行程が30mを超える場合は、（　）内の寸法となります。

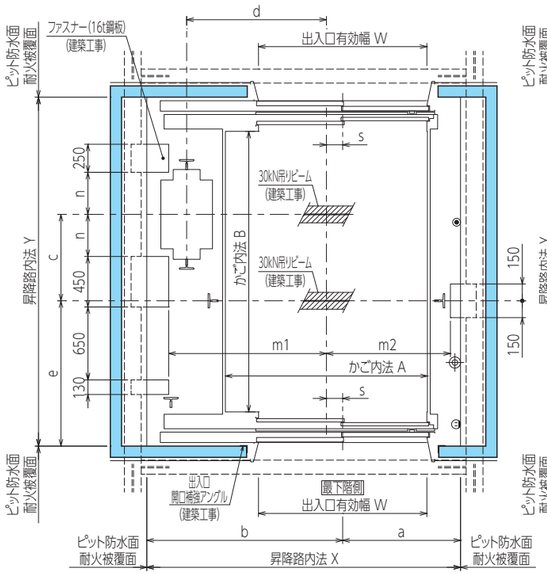
荷重表

（単位：kN）

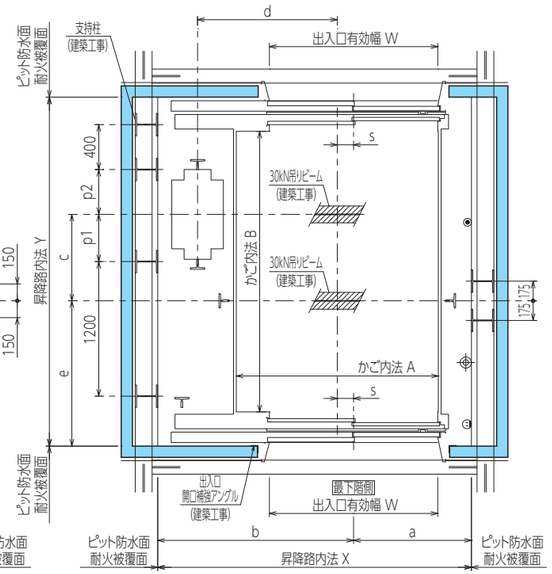
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	62	56	94	48	19	142	136	11.8	10.3	12.3	6.6	1.7	1.7
B-17-2S-60						176	172						
B-17-2S-90						181	178						
B-20-2S-45	65	59	99	49	20	154	146	12.6	10.9	13.1	7.0	1.7	1.7
B-20-2S-60						190	184						
B-20-2S-90						196	190						
B-23-2S-45	69	62	104	53	22	169	158	13.5	11.9	14.3	7.7	1.7	1.7
B-23-2S-60						209	200						
B-23-2S-90						216	207						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

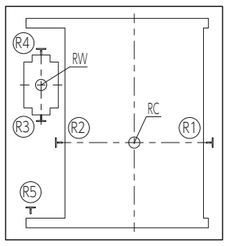
2−4　昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



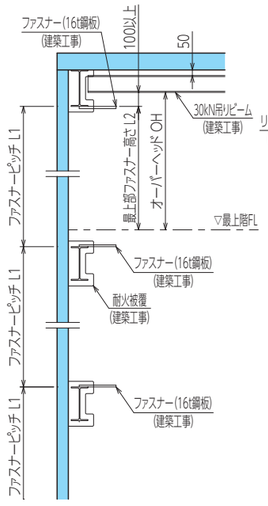
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

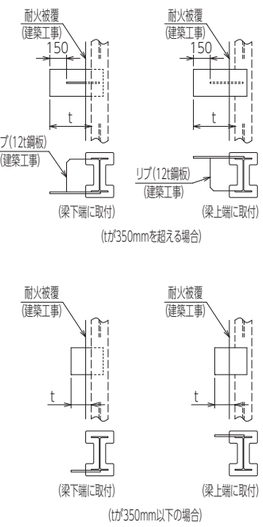
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y 注⑬	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 注② 標準	特殊	a	b	c	d	e 注⑬	m1	m2	n	p1	p2	s
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2795×3110 (3140)	3300	3350	3450	1250	1650	1050	1745	770	1245	1295 (1310)	1405	1105	375	420	400	145
B-17-2S-60																			
B-17-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2795×3410 (3440)	3300	3350	3450	1250	1650	1050	1745	795	1245	1445 (1460)	1405	1105	400	445	425	145
B-20-2S-60																			
B-20-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3200×3610 (3640)	3300	3350	3450	1250	1650	1200	2000	870	1345	1545 (1560)	1505	1205	475	520	500	95
B-23-2S-60																			
B-23-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											

［注］①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
　最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
　適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　要にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫レール支持用柱の場合、昇降路内法Xおよびb寸法は、+35mmとなります。（B-23以外）
⑬昇降行程が30mを超える場合は、（　）内の寸法となります。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	62	56	94	48	19	142	136	11.8	10.3	12.3	6.6	1.7	1.7
B-17-2S-60						176	172						
B-17-2S-90						181	178						
B-20-2S-45	65	59	99	49	20	154	146	12.6	10.9	13.1	7.0	1.7	1.7
B-20-2S-60						190	184						
B-20-2S-90						196	190						
B-23-2S-45	69	62	104	53	22	169	158	13.5	11.9	14.3	7.7	1.7	1.7
B-23-2S-60						209	200						
B-23-2S-90						216	207						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
B-17-2S-45	3600以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
B-17-2S-60				
B-17-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
B-20-2S-45	3550以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
B-20-2S-60				
B-20-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
B-23-2S-45	3400以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
B-23-2S-60				
B-23-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285

［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
　　②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
　　③設計用水平震度0.6の場合を示します。（耐震クラスA14）

V－1　計画編（一方向出入口）

1－1　エレベータ配置計画上のご注意

1　必要な建物

高さ31m以上の建築物は原則として、非常用エレベータの設置が義務付けられています。ただし、高さ31mを超える部分が次のような場合は設置する必要がありません。

- 階段室、機械室、装飾塔などに使用する
- 床面積の合計が500m²以下である
- 階数が4階以下で100m²以内ごとに防火区画がされている
- 主要構造部が不燃材料で造られている

2　仕様

火災時に消防隊の消火活動を支援することを目的としたエレベータのため、下記の仕様が必要です。

- 積載：1150kg以上
- 定員：17名以上
- かご内室寸法：間口：1800mm以上
  奥行：1500mm以上
  高さ：2300mm以上
- 出入口有効寸法：幅：1000mm以上
  高さ：2100mm以上
- 定格速度：消防隊の乗込階から最上階まで1分以内で到着可能な速度。
  ただし60m/min以上

3　所要台数

高さ31mを超える階のうち、最も広い階の床面積が1500m²以下の場合は1台。1500m²を超える場合は、超えた面積の3000m²ごとに1台ずつ増設する必要があります。

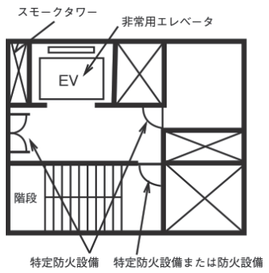
- 1500m²以下　1台以上
- 1500m²を超え4500m²以下..... 2台以上
- 4500m²を超え7500m²以下..... 3台以上
- 7500m²を超え10500m²以下 4台以上

4　設置場所

屋外への出入口までの歩行距離が30m以内の場所に設置します。2台以上設ける場合は、避難場所および消防上、有効な間隔を保って配置する必要があります。

5　乗場

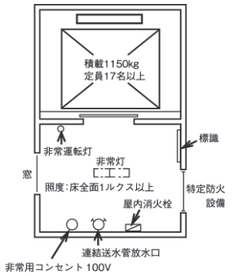
● 乗場には、バルコニー、外気に向かって開くことのできる窓もしくは排煙設備を設け、出入口（昇降路の出入口を除く）には特定防火設備を設けてください。



● 乗場は、各階（避難階を除く）において屋内と連絡していなければなりません。

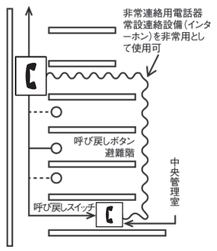
● 乗場の天井・壁の地下および仕上げは不燃材料としてください。

● 乗場には予備電源を備えた照明設備および屋内消火栓、連結送水管の放水口、非常用コンセントなどの消火設備を設けてください。



● 乗場の床面積は、1台当たり10m²以上必要であり短辺が2.5m以上として正方形に近い形が望まれます。

● 以下の位置にかごを呼び戻す装置を設けます。
- 中央管理室
- 避難階（または、その直上もしくは直下の階）



● 乗場は、他の部分から独立していることが望まれます。一般エレベータと共用の場合、非常時には特定防火設備で区画しなければなりません。

6　昇降路

非常用エレベータ2台以内ごとに耐火構造の床および壁で囲んでください（乗場に通じる出入口を除く）。

7　電源設備・電話装置

● 予備電源が必要です。これは平常電源の停電と同時に自動的に切り替わるものとしてください。

● かご内と中央管理室との通話装置が必要です（インターホンが望ましい）。

1－2　基本仕様

No.	型式	定格速度（m/min）	容量		電動機容量（kW）
			定員（名）	積載（kg）	
1	P-17S-2CO-60	60	17	1150	7.1
2	P-17S-2CO-90	90			11.0
3	P-17S-2CO-105	105			13.0
4	P-17S-2CO-120	120			15.0
5	P-20S-2CO-60	60	20	1350	8.3
6	P-20S-2CO-90	90			13.0
7	P-20S-2CO-105	105			15.0
8	P-20S-2CO-120	120			17.0
9	P-26S-2CO-60	60	26	1700	11.0
10	P-26S-2CO-90	90			16.0
11	P-26S-2CO-105	105			19.0
12	P-26S-2CO-120	120			21.0

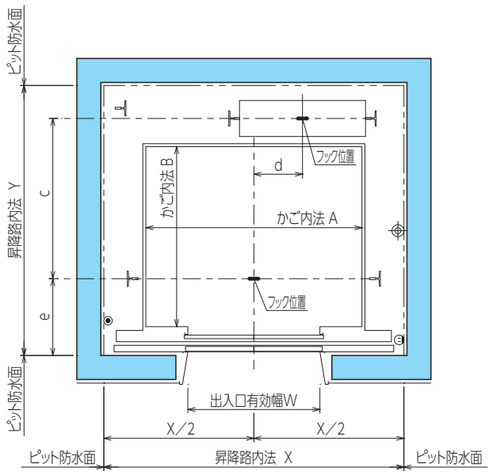
フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

□BIMダウンロード
□CADダウンロード

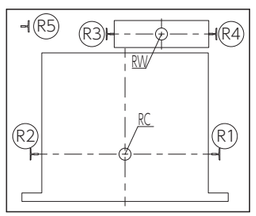
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は　https://www.fujitec.co.jp/sales/

1－3　昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図

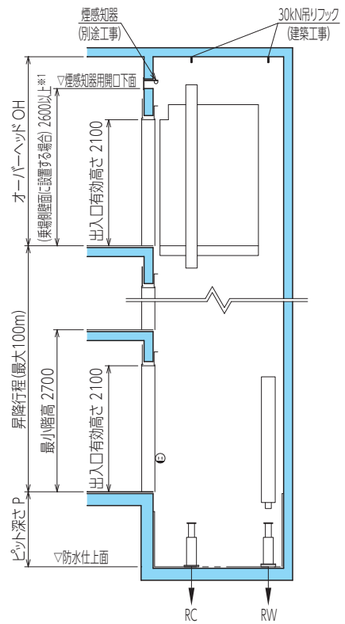


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
Ⓛ	点検用コンセント100V(防水式) 引込み高さ:最下階FL+200mm	点検用コンセント100V(防水式) 引込み高さ:最下階FL+200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
　1、幕板付きの場合
　2、乗場側以外の壁面に設置の場合

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	100m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	100m以下	c	d	e
P-17S-2CO-60	1800×1500	1000	2400×2190	3350	3400	3500	—	—	—	1250	—	—	—	1335	405	645
P-17S-2CO-90				3450	3500	3600	3625	3700	3750	1400	1650	1750	1850			
P-17S-2CO-105				3550	3600	3700	3700	3800	3850	1550	1800	1900	2000			
P-17S-2CO-120							3750			1800	2050	2150	2225			
P-20S-2CO-60	1800×1700	1000	2400×2390	3350	3400	3500	—	—	—	1250	—	—	—	1535	405	645
P-20S-2CO-90				3450	3500	3600	3625	3700	3750	1400	1650	1750	1850			
P-20S-2CO-105				3550	3600	3700	3700	3800	3850	1550	1800	1900	2000			
P-20S-2CO-120							3750			1800	2050	2150	2225			
P-26S-2CO-60	1800×2000	1000	2400×2690	3350	3400	3500	—	—	—	1250	—	—	—	1675	405	795
P-26S-2CO-90				3450	3500	3600	3625	3700	3750	1400	1650	1750	1850			
P-26S-2CO-105				3550	3600	3700	3700	3800	3850	1550	1800	1900	2000			
P-26S-2CO-120							3750			1800	2050	2150	2225			

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
　また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は当社にご相談ください。
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
　耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
　別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
　また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
　特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
　更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
　昇降路内法が大きくなることがあります。

E 非常用

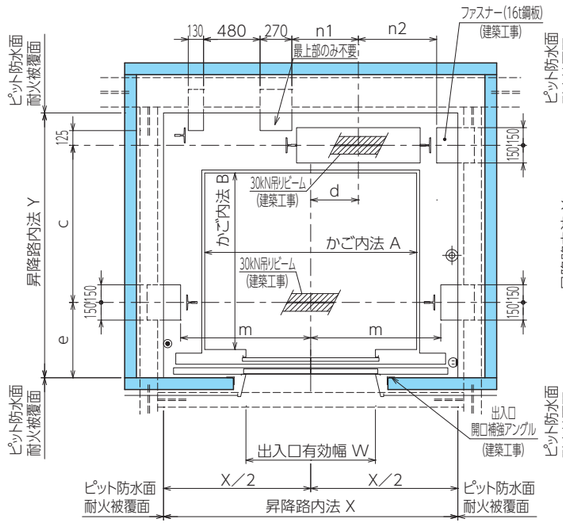
荷重表

（単位：kN）

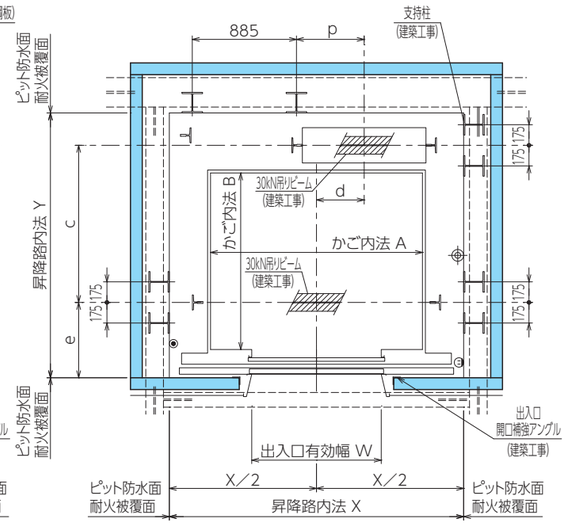
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2CO-60	49	54	62	53	29	149	142	8.8	6.1	12.9	6.5	1.7	1.7
P-17S-2CO-90						154	147						
P-17S-2CO-105						157	150						
P-17S-2CO-120						157	150						
P-20S-2CO-60	52	57	64	54	29	164	153	9.3	6.5	13.7	6.8	1.7	1.7
P-20S-2CO-90						169	158						
P-20S-2CO-105						172	162						
P-20S-2CO-120						172	162						
P-26S-2CO-60	58	63	69	57	29	184	166	10.7	7.1	15.3	7.7	1.7	1.7
P-26S-2CO-90						190	171						
P-26S-2CO-105						194	175						
P-26S-2CO-120						194	175						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
　②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

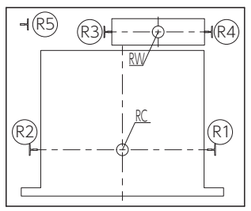
1－4　昇降路がS造の場合の寸法例



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



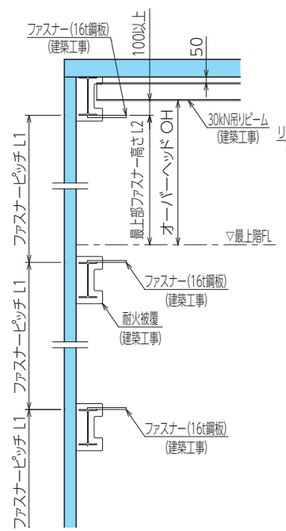
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

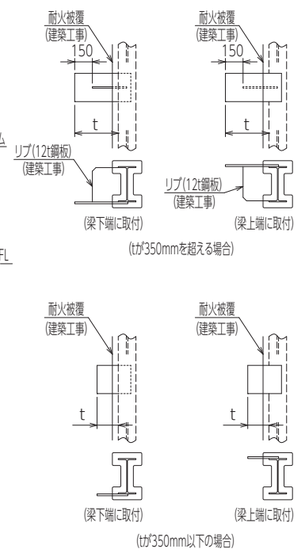
Py / Px	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2
柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V(防水式) 引込み高さ:最下階FL+200mm	点検用コンセント100V(防水式) 引込み高さ:最下階FL+200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	100m以下	ピット深さ P 昇降行程 60m以下	80m以下	90m以下	100m以下	c	d	e	m	n1	n2	p
P-17S-2C0-60	1800×1500	1100	2450×2240	3350	3400	3500	—	—	—	1250	—	—	—	1335	405	645	1105	565	665	575
P-17S-2C0-90				3450	3500	3600	3625	3700	3750	1400	1650	1750	1850							
P-17S-2C0-105				3550	3600	3700	3700	3800	3850	1550	1800	1900	2000							
P-17S-2C0-120							3750			1800	2050	2150	2225							
P-20S-2C0-60	1800×1700	1100	2450×2440	3350	3400	3500	—	—	—	1250	—	—	—	1535	405	645	1105	565	665	575
P-20S-2C0-90				3450	3500	3600	3625	3700	3750	1400	1650	1750	1850							
P-20S-2C0-105				3550	3600	3700	3700	3800	3850	1550	1800	1900	2000							
P-20S-2C0-120							3750			1800	2050	2150	2225							
P-26S-2C0-60	1800×2000	1100	2450×2740	3350	3400	3500	—	—	—	1250	—	—	—	1675	405	795	1105	565	665	575
P-26S-2C0-90				3450	3500	3600	3625	3700	3750	1400	1650	1750	1850							
P-26S-2C0-105				3550	3600	3700	3700	3800	3850	1550	1800	1900	2000							
P-26S-2C0-120							3750			1800	2050	2150	2225							

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は当社にご相談ください。
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2C0-60	49	54	62	53	29	149	142	8.8	6.1	12.9	6.5	1.7	1.7
P-17S-2C0-90						154	147						
P-17S-2C0-105						157	150						
P-17S-2C0-120						157	150						
P-20S-2C0-60	52	57	64	54	29	164	153	9.3	6.5	13.7	6.8	1.7	1.7
P-20S-2C0-90						169	158						
P-20S-2C0-105						172	162						
P-20S-2C0-120						172	162						
P-26S-2C0-60	58	63	69	57	29	184	166	10.7	7.1	15.3	7.7	1.7	1.7
P-26S-2C0-90						190	171						
P-26S-2C0-105						194	175						
P-26S-2C0-120						194	175						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	100m以下
P-17S-2C0-60	3950以下	2865〜3075	2915〜3125	3015〜3225	—	—	—
P-17S-2C0-90		2965〜3175	3065〜3275	3115〜3325	3140〜3350	3140〜3350	3190〜3400
P-17S-2C0-105		3065〜3275	3165〜3375	3215〜3425	3215〜3425	3215〜3425	3265〜3475
P-17S-2C0-120						3265〜3475	3315〜3525
P-20S-2C0-60	3950以下	2865〜3075	2915〜3125	3015〜3225	—	—	—
P-20S-2C0-90		2965〜3175	3065〜3275	3115〜3325	3140〜3350	3140〜3350	3190〜3400
P-20S-2C0-105		3065〜3275	3165〜3375	3215〜3425	3215〜3425	3215〜3425	3265〜3475
P-20S-2C0-120						3265〜3475	3315〜3525
P-26S-2C0-60	3850以下	2865〜3075	2915〜3125	3015〜3225	—	—	—
P-26S-2C0-90		2965〜3175	3065〜3275	3115〜3325	3140〜3350	3140〜3350	3190〜3400
P-26S-2C0-105		3065〜3275	3165〜3375	3215〜3425	3215〜3425	3215〜3425	3265〜3475
P-26S-2C0-120						3265〜3475	3315〜3525

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

Ⅵ S 人荷共用エレベータ

Ⅵ－1　計画編（一方向出入口）

1－1　エレベータの仕様、台数の選定

■ エレベータの仕様、設置台数は、ビルの規模、用途、立地条件に応じて十分な輸送能力と効率良いサービスができるように選択することが大切です。
■ ビルの設置条件に合った、最適なプランをご提案させていただきます。ご計画の際には、当社にご相談ください。

エレベータ配置計画上のご注意

■ 停止階が不揃いの場合は、サービスが低下する場合があります。
■ エレベータが対向配置となる場合は、ホールの広さを十分にとってください。
■ 輸送効率を高めるため、エレベータはできるだけ建物中央に集中配置してください。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

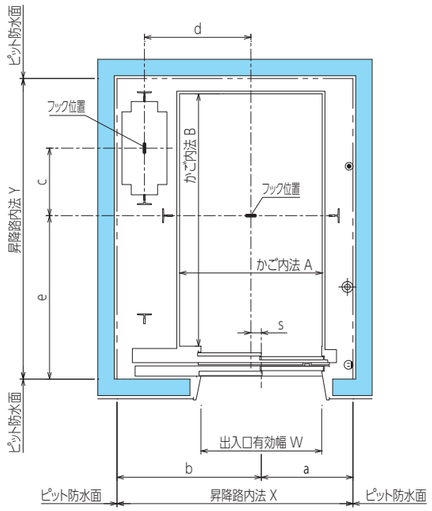
□BIMダウンロード
□CADダウンロード

上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。
設計をお考えの方は　https://www.fujitec.co.jp/sales/

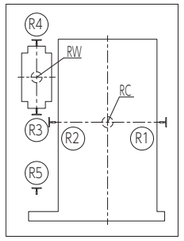
1-2基本仕様

No.	型式	定格速度（m/min）	容量		電動機容量（kW）
			定員（名）	積載（kg）	
1	S-20L-2S-45	45	20	1300	6.0
2	S-20L-2S-60	60			8.0
3	S-20L-2S-90	90			12.0
4	S-22L-2S-45	45	22	1450	6.7
5	S-22L-2S-60	60			8.9
6	S-22L-2S-90	90			14.0
7	S-26L-2S-45	45	26	1750	8.1
8	S-26L-2S-60	60			11.0
9	S-26L-2S-90	90			17.0

1－3　昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図



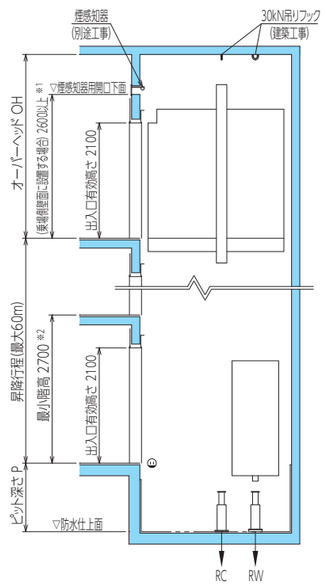
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1.乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
※2.かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	c	d	e	s
S-20L-2S-45	1300×2300	1100	2150×2740	3300	3350	3450	1250	835	1315	615	970	1490	95
S-20L-2S-60													
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400						
S-22L-2S-45	1400×2300	1100	2250×2740	3300	3350	3450	1250	835	1415	615	1020	1490	145
S-22L-2S-60													
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400						
S-26L-2S-45	1500×2500	1200	2350×2890	3300	3350	3450	1250	885	1465	640	1070	1590	145
S-26L-2S-60													
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400						

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

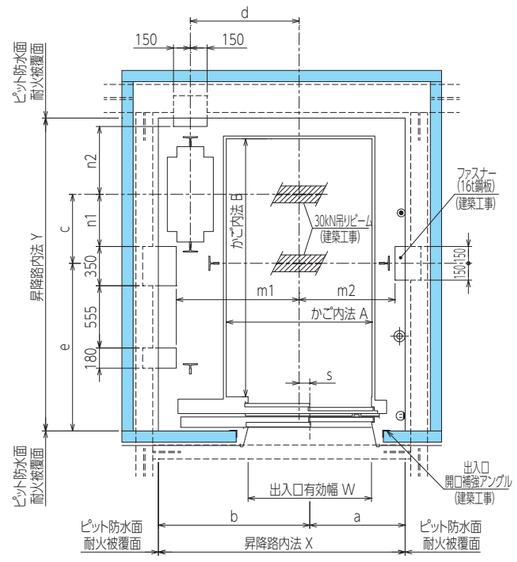
荷重表

（単位：kN）

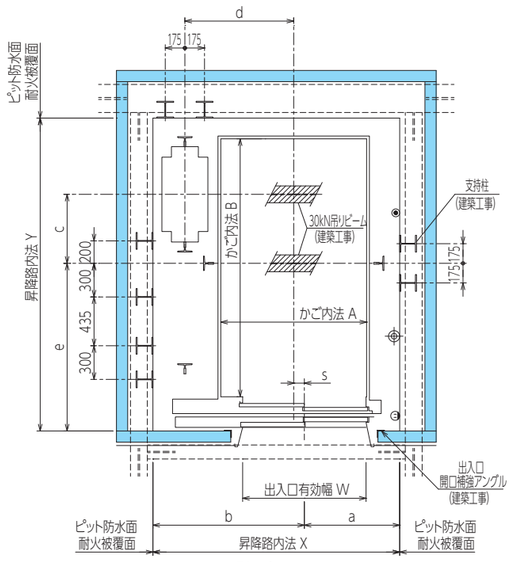
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45	58	59	59	45	32	128	118	9.6	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-60						159	149						
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45	61	61	61	47	32	138	125	10.1	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-60						171	158						
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45	65	65	65	50	33	158	140	11.0	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-60						195	177						
S-26L-2S-90						201	183						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

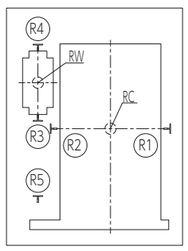
1－4　昇降路がS造の場合の寸法例



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



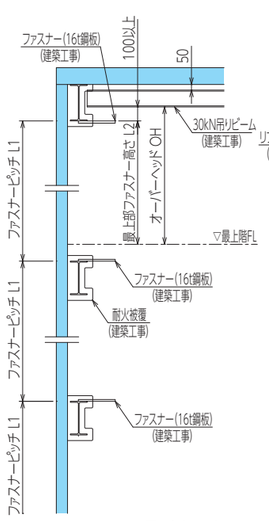
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

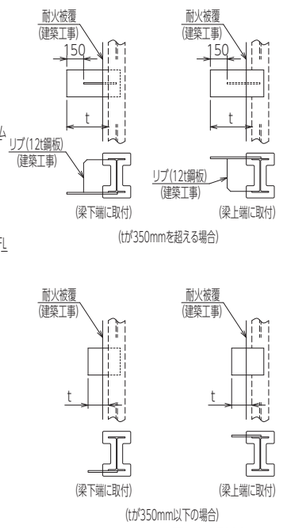
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
⊡	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	s
S-20L-2S-45	1300×2300	1100	2200×2790	3300	3350	3450	1250	850	1350	615	970	1495	1095	855	465	565	95
S-20L-2S-60																	
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400										
S-22L-2S-45	1400×2300	1100	2300×2790	3300	3350	3450	1250	850	1450	615	1020	1495	1145	905	465	565	145
S-22L-2S-60																	
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400										
S-26L-2S-45	1500×2500	1200	2400×2940	3300	3350	3450	1250	900	1500	640	1070	1595	1195	955	490	590	145
S-26L-2S-60																	
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400										

［注］①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
条件により、必要壁厚が厚くなる場合があります。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩レール支持用柱の場合、昇降路内法Xおよびおよびb寸法は+35mmとなります。（B-23以外）

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45	58	59	59	45	32	128	118	9.6	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-60						159	149						
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45	61	61	61	47	32	138	125	10.1	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-60						171	158						
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45	65	65	65	50	33	158	140	11.0	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-60						195	177						
S-26L-2S-90						201	183						

［注］①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

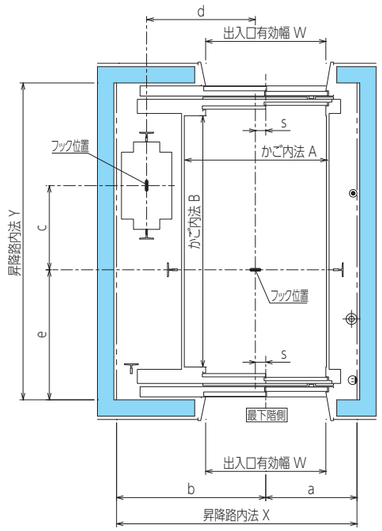
（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
S-20L-2S-45	4150以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
S-20L-2S-60				
S-20L-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
S-22L-2S-45	3950以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
S-22L-2S-60				
S-22L-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
S-26L-2S-45	3700以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
S-26L-2S-60				
S-26L-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285

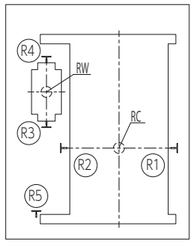
［注］①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

Ⅵ－2　計画編（二方向出入口）

2－1　昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図



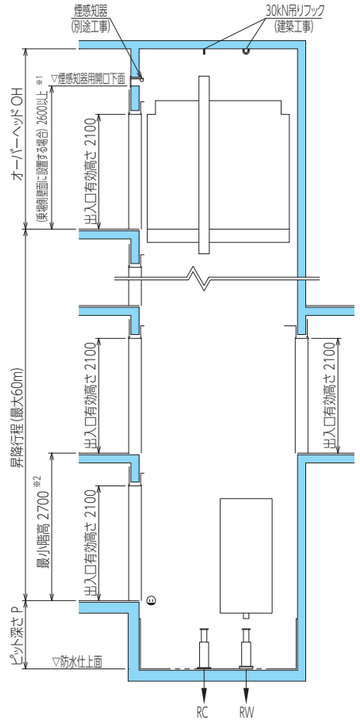
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
◎	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
※2. かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 注② 標準	特殊	a	b	c	d	e	s
S-20L-2S-45	1300×2300	1100	2200×2900	3300	3350	3450	1250	1650	835	1365	770	995	1190	95
S-20L-2S-60														
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						
S-22L-2S-45	1400×2300	1100	2300×2900	3300	3350	3450	1250	1650	835	1465	770	1045	1190	145
S-22L-2S-60														
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						
S-26L-2S-45	1500×2500	1200	2400×3100	3300	3350	3450	1250	1650	885	1515	770	1095	1290	145
S-26L-2S-60														
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・イン
ターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジ
ケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

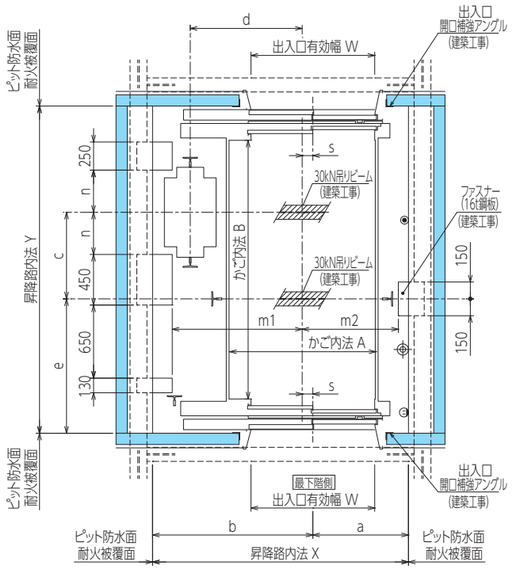
荷重表

（単位：kN）

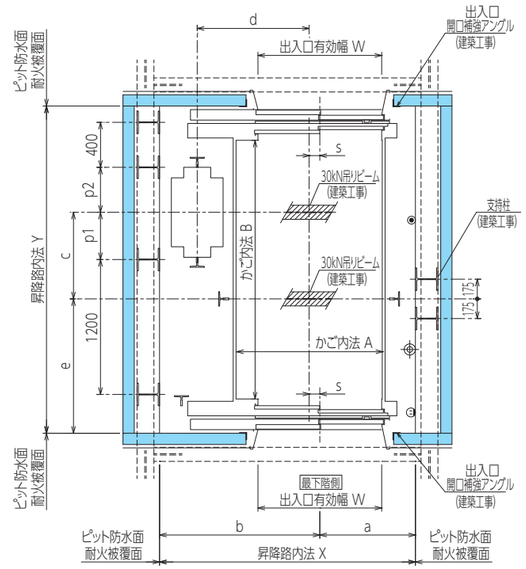
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45	58	54	86	44	18	128	118	10.0	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-60						159	149						
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45	61	56	90	46	19	138	125	10.6	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-60						171	158						
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45	66	60	98	48	21	158	140	11.7	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-60						195	177						
S-26L-2S-90						201	183						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

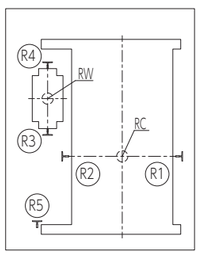
2−2　昇降路がS造の場合の寸法例



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



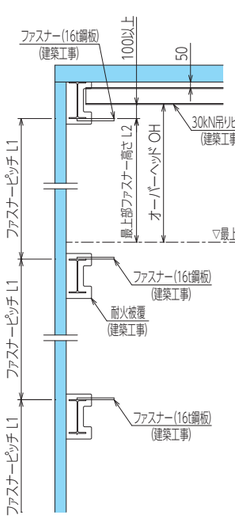
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

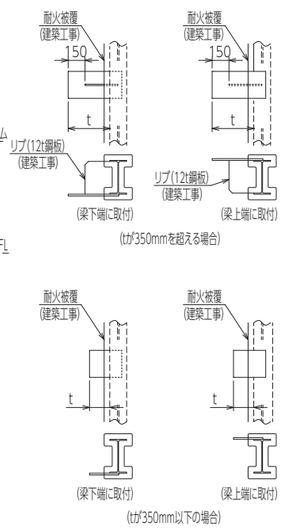
		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
⊡	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下	ピット深さ P 注② 標準	特殊	a	b	c	d	e	m1	m2	n	p1	p2	s
S-20L-2S-45	1300×2300	1100	2275×2910	3300	3350	3450	1250	1650	850	1425	770	995	1195	1155	855	375	420	400	95
S-20L-2S-60																			
S-20L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
S-22L-2S-45	1400×2300	1100	2375×2910	3300	3350	3450	1250	1650	850	1465	770	1045	1195	1205	905	375	420	400	145
S-22L-2S-60																			
S-22L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
S-26L-2S-45	1500×2500	1200	2475×3110	3300	3350	3450	1250	1650	900	1575	770	1095	1295	1255	955	375	420	400	145
S-26L-2S-60																			
S-26L-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											

[注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
・上記以外：Y±0
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫レール支持用柱の場合、昇降路内法Xおよびb寸法は、+35mmとなります。(B-23以外)

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
S-20L-2S-45	58	54	86	44	18	128	118	10.0	9.0	10.7	5.9	1.7	1.7
S-20L-2S-60						159	149						
S-20L-2S-90						164	154						
S-22L-2S-45	61	56	90	46	19	138	125	10.6	9.6	11.3	6.2	1.7	1.7
S-22L-2S-60						171	158						
S-22L-2S-90						176	164						
S-26L-2S-45	66	60	98	48	21	158	140	11.7	10.6	12.7	6.8	1.7	1.7
S-26L-2S-60						195	177						
S-26L-2S-90						201	183						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下	45m以下	60m以下
S-20L-2S-45	3950以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
S-20L-2S-60				
S-20L-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
S-22L-2S-45	3750以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
S-22L-2S-60				
S-22L-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285
S-26L-2S-45	3550以下	3000〜3035	3050〜3085	3150〜3185
S-26L-2S-60				
S-26L-2S-90		3100〜3135	3150〜3185	3250〜3285

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

Ⅶ F 荷物用エレベータ

Ⅶ－1　計画編（一方向出入口）

1－1　エレベータの仕様

■ 荷物用エレベータは荷物の運搬を目的としたエレベータであり、荷扱者以外は荷物用エレベータを利用することが出来ません。
■ 荷物用エレベータには、積載750kg～2500kgまでを取り揃えております。
荷物の大きさ、重さに応じて選定してください。
■ エレベータの故障防止のため、次の注意事項を厳守くださるよう、お願いいたします。
・この荷物用エレベータは、フォークリフトの乗り込みに対応していません。※１
荷物の積み込みは、４輪手押し台車などをご使用ください。
・一度に重い荷物を積み込むと、床が変形する恐れがあります。
荷物は、台車などの重量を含み積載の１／４以下に分けて積み込んでください。

■ 積載の１／４より重い荷物を運搬する場合は、床の構造を強化することにより、
台車などの重量を含み積載の80%（最大1000kg）まで対応可能です。※２
詳しくは当社にご相談ください。

※１：フォークリフトの乗り込みが必要な場合は、機械室ありエレベータ適用となりますので当社にご相談ください。
※２：かご床強度増（有償付加仕様）適用の場合を示します。

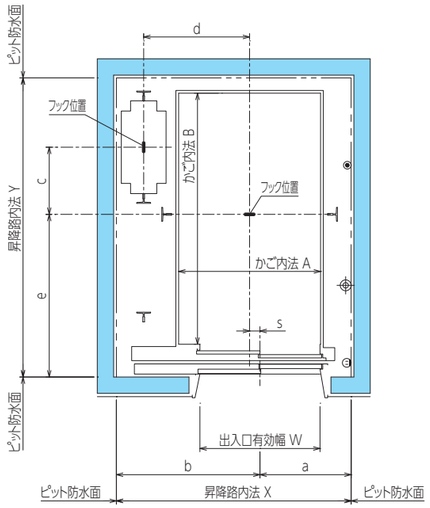
フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

□BIMダウンロード
□CADダウンロード
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。
設計をお考えの方は　https://www.fujitec.co.jp/sales/

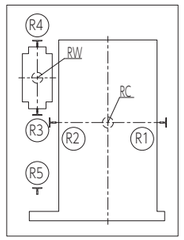
1-2基本仕様

No.	型式	定格速度 (m/min)	容量 積載（kg）	電動機容量 (kW)
1	F-750-2S-45	45	750	3.5
2	F-750-2S-60	60		4.6
3	F-1000-2S-45	45	1000	4.6
4	F-1000-2S-60	60		6.2
5	F-1500-2S-45	45	1500	6.9
6	F-1500-2S-60	60		9.2
7	F-2000-2S-45	45	2000	9.2
8	F-2000-2S-60	60		13.0
9	F-2500-2S-45	45	2500	12.0
10	F-2500-2S-60	60		16.0

1－3　昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図



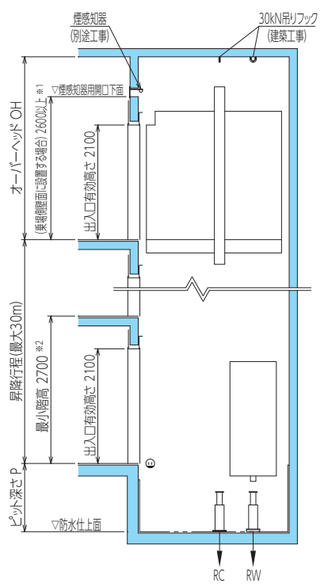
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1.乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
※2.かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 昇降行程 30m以下	ピット深さ P	a	b	c	d	e	s
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2150×2740	3300	1250	835	1315	615	970	1490	95
F-750-2S-60											
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2550×2740			985	1565	615	1170	1490	195
F-1000-2S-60											
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3100×2890			1135	1965	665	1445	1540	245
F-1500-2S-60											
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3100×3190			1135	1965	690	1445	1740	245
F-2000-2S-60											
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3300×3390			1185	2115	690	1545	1840	295
F-2500-2S-60											

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。
⑪かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

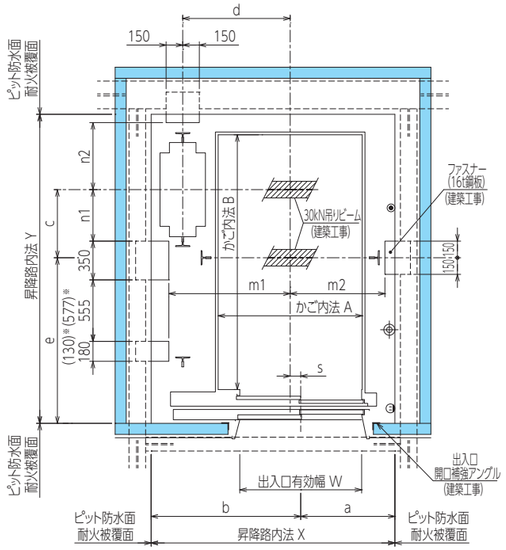
荷重表

（単位：kN）

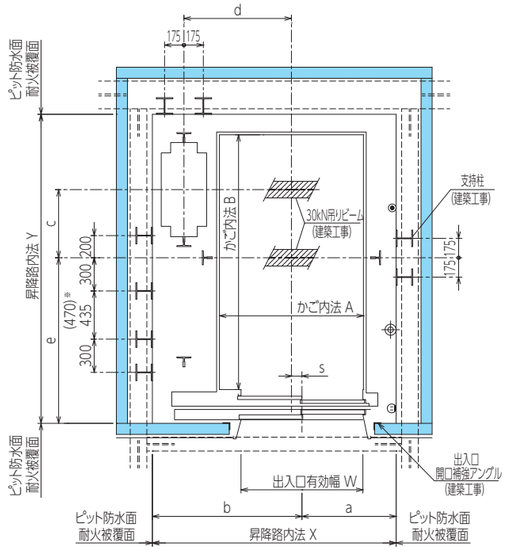
型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	40	36	36	36	16	107	101	10.1	7.4	8.9	4.7	1.7	1.7
F-750-2S-60						132	128						
F-1000-2S-45	45	39	40	40	27	127	118	11.5	8.7	10.3	5.4	1.7	1.7
F-1000-2S-60						157	149						
F-1500-2S-45	53	43	46	46	31	162	146	13.6	10.8	12.4	6.5	1.7	1.7
F-1500-2S-60						201	184						
F-2000-2S-45	60	48	50	50	33	189	164	15.1	12.4	13.9	7.2	1.7	1.7
F-2000-2S-60						234	207						
F-2500-2S-45	69	64	64	49	28	213	184	16.7	12.5	16.7	8.8	1.7	1.7
F-2500-2S-60						263	232						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

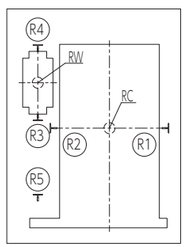
1－4　昇降路がS造の場合の寸法例



昇降路平面図
(ファスナーの場合)
※F-2500のみ(　)内寸法値となります



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)
※F-2500のみ(　)内寸法値となります



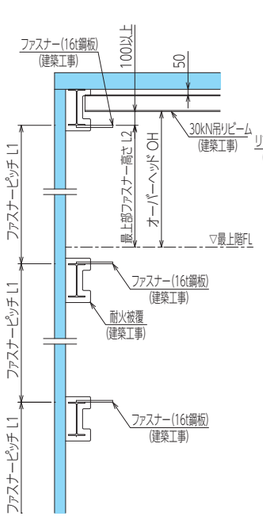
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

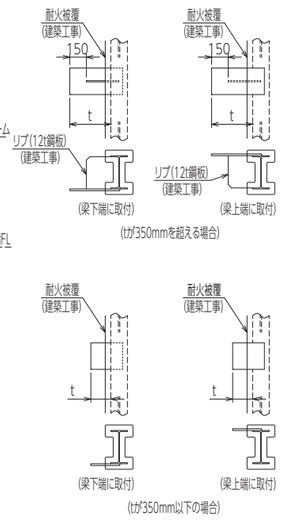
		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200～0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
⊟	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 昇降行程 30m以下	ピット深さ P	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	s
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2200×2790	3300	1250	850	1350	615	970	1495	1095	855	465	565	95
F-750-2S-60															
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2600×2790			1000	1600	615	1170	1495	1295	1055	465	565	195
F-1000-2S-60															
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3150×2940			1150	2000	665	1445	1545	1570	1305	515	615	245
F-1500-2S-60															
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3150×3240			1150	2000	690	1445	1745	1570	1305	540	640	245
F-2000-2S-60															
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3350×3440			1200	2150	690	1545	1845	1670	1405	540	640	295
F-2500-2S-60															

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	40	36	36	36	16	107	101	10.1	7.4	8.9	4.7	1.7	1.7
F-750-2S-60						132	128						
F-1000-2S-45	45	39	40	40	27	127	118	11.5	8.7	10.3	5.4	1.7	1.7
F-1000-2S-60						157	149						
F-1500-2S-45	53	43	46	46	31	162	146	13.6	10.8	12.4	6.5	1.7	1.7
F-1500-2S-60						201	184						
F-2000-2S-45	60	48	50	50	33	189	164	15.1	12.4	13.9	7.2	1.7	1.7
F-2000-2S-60						234	207						
F-2500-2S-45	69	64	64	49	28	213	184	16.7	12.5	16.7	8.8	1.7	1.7
F-2500-2S-60						263	232						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

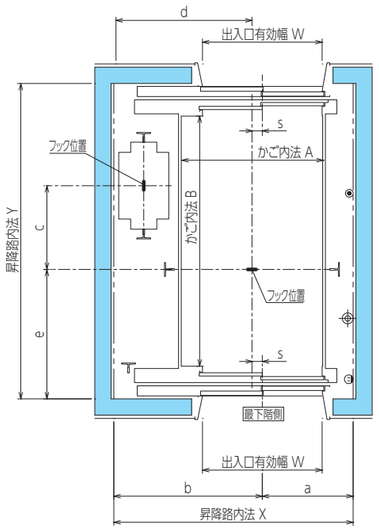
（単位：mm）

型式	ファスナーピッチ（L1）	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
F-750-2S-45	3200以下	2935～3020
F-750-2S-60		
F-1000-2S-45		
F-1000-2S-60		
F-1500-2S-45		
F-1500-2S-60		
F-2000-2S-45		
F-2000-2S-60		
F-2500-2S-45		
F-2500-2S-60		

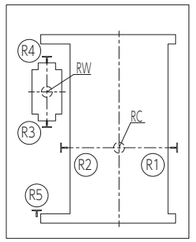
[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
④かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

Ⅶ－2　計画編（二方向出入口）

2－1　昇降路がRC造の場合の寸法例



昇降路平面図



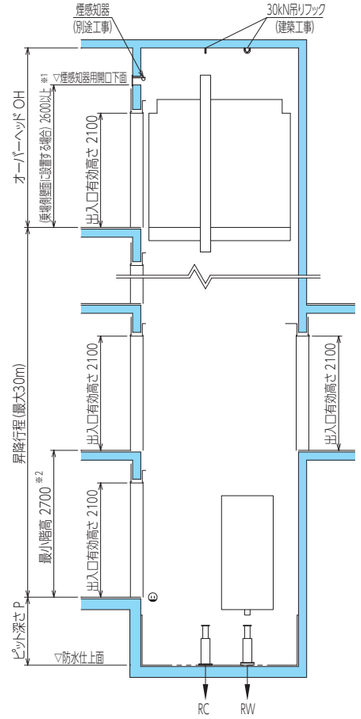
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

		Px	Py
Py / Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
⊔	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
※2. かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

（単位：mm）

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注③ 標準	ピット深さ P 注③ 特殊	a	b	c	d	e	s
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2200×2900	3300	1250	1650	835	1365	770	995	1190	95
F-750-2S-60												
F-1000-2S-45	1700×2300	1300	2600×2900				935	1665	770	1195	1190	195
F-1000-2S-60												
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3100×3000				1135	1965	770	1445	1240	245
F-1500-2S-60												
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3100×3400				1135	1965	795	1445	1440	245
F-2000-2S-60												
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3330×3600				1185	2145	870	1545	1660	295
F-2500-2S-60												

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
④昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
⑤最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑥ピット下部は原則として使用できません。
⑦昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

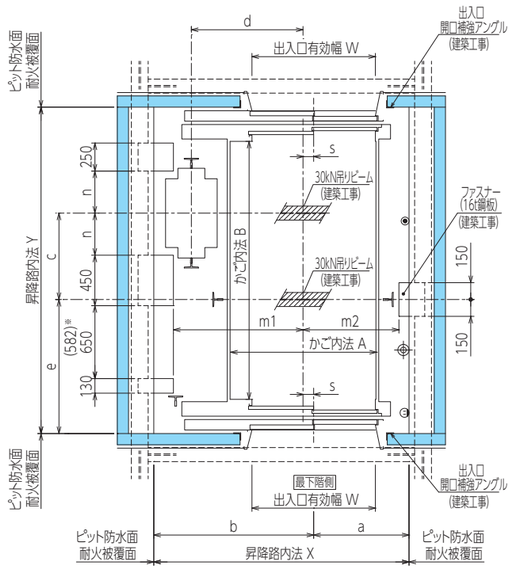
（単位：kN）

型式	ピット部レール下部にかかる荷重（長期荷重） R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重（短期荷重） RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値（短期荷重） PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	42	37	38	38	26	114	109	10.8	7.6	9.5	5.0	1.7	1.7
F-750-2S-60						141	138						
F-1000-2S-45	47	41	42	42	28	134	126	12.1	8.5	10.9	5.7	1.7	1.7
F-1000-2S-60						166	159						
F-1500-2S-45	55	45	48	48	32	169	154	14.3	10.2	13.1	6.8	1.7	1.7
F-1500-2S-60						210	194						
F-2000-2S-45	62	49	52	52	34	167	172	15.8	11.4	14.5	7.5	1.7	1.7
F-2000-2S-60						243	217						
F-2500-2S-45	70	60	106	49	20	215	186	18.0	12.6	17.0	9.1	1.7	1.7
F-2500-2S-60						266	235						

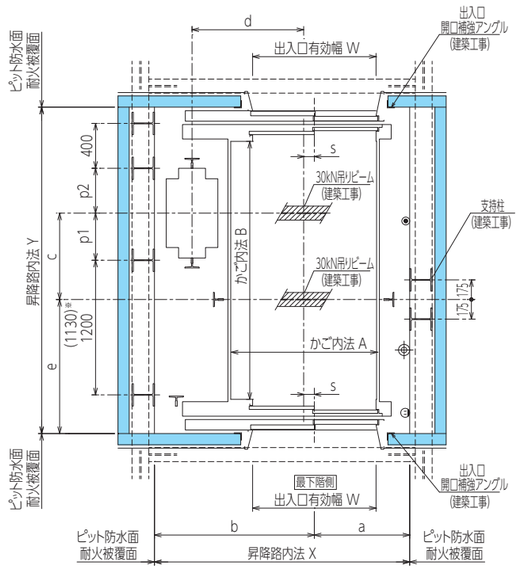
[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

F 荷物用

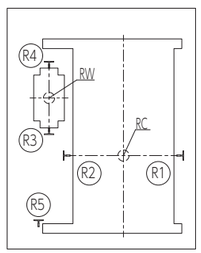
2−2　昇降路がS造の場合の寸法例



昇降路平面図
(ファスナーの場合)
※F-2500のみ(　)内寸法値となります



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)
※F-2500のみ(　)内寸法値となります



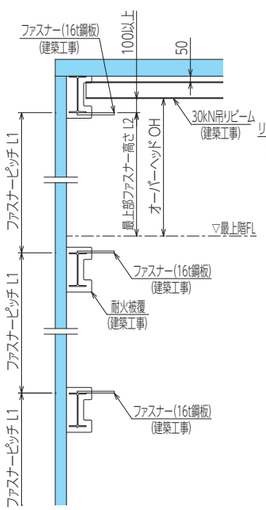
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

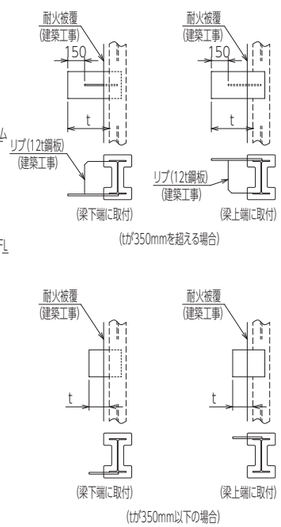
Py		Px	Py
Px	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◉	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL−200〜0mm 引出し電線長さ:4000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4000mm	(電気工事)
100	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注③ 標準	ピット深さ P 注③ 特殊	a	b	c	d	e	m1	m2	n	p1	p2	s
F-750-2S-45	1300×2300	1100	2275×2910	3300	1250	1650	850	1425	770	995	1195	1155	855	375	420	400	95
F-750-2S-60																	
F-1000-2S-45	1700×2300	1400	2675×2910				950	1725	770	1195	1195	1355	1055	375	420	400	195
F-1000-2S-60																	
F-1500-2S-45	2200×2400	1700	3175×3010				1150	2025	770	1445	1245	1605	1305	375	420	400	245
F-1500-2S-60																	
F-2000-2S-45	2200×2800	1700	3175×3410				1150	2025	795	1445	1445	1605	1305	400	445	425	245
F-2000-2S-60																	
F-2500-2S-45	2400×3000	1800	3380×3610				1200	2180	870	1545	1665	1725	1405	475	520	500	295
F-2500-2S-60																	

[注] ①昇降行程が30mを超える場合は、当社にご相談ください。
②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
④昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
⑤最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
⑥ピット下部は原則として使用できません。
⑦昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。
適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重(長期荷重) R1	R2	R3	R4	R5	ピット部緩衝器にかかる荷重(短期荷重) RC（かご側）	RW（おもり側）	レールに作用する荷重値(短期荷重) PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
F-750-2S-45	42	37	38	38	26	114	109	10.8	7.6	9.5	5.0	1.7	1.7
F-750-2S-60						141	138						
F-1000-2S-45	47	41	42	42	28	134	126	12.1	8.5	10.9	5.7	1.7	1.7
F-1000-2S-60						166	159						
F-1500-2S-45	55	45	48	48	32	169	154	14.3	10.2	13.1	6.8	1.7	1.7
F-1500-2S-60						210	194						
F-2000-2S-45	62	49	52	52	34	197	172	15.8	11.4	14.5	7.5	1.7	1.7
F-2000-2S-60						243	217						
F-2500-2S-45	70	60	106	49	20	215	186	18.0	12.6	17.0	9.1	1.7	1.7
F-2500-2S-60						266	235						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ（L2） 昇降行程 30m以下
F-750-2S-45	3200以下	2935〜3020
F-750-2S-60		
F-1000-2S-45		
F-1000-2S-60		
F-1500-2S-45		
F-1500-2S-60		
F-2000-2S-45		
F-2000-2S-60		
F-2500-2S-45		
F-2500-2S-60		

[注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
④かご床強度増の場合は、当社にご相談ください。

Ⅷ 出入口

Ⅷ－1　2枚片引き編

1－1　小枠幕板なし

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。

防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	300 (250)

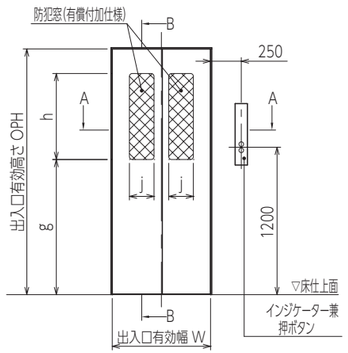
注：( )内寸法はW=800の場合を示します。

■対象機種

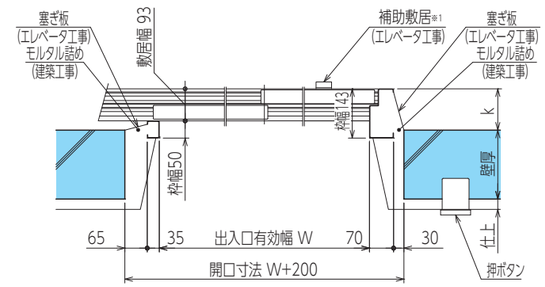
P(乗用)	-
P-S(乗用)	-
P-W(乗用)	-
R(住宅用)	●
B(寝台用)	●
S(人荷共用)	●
F(荷物用)	-

OPH
2100

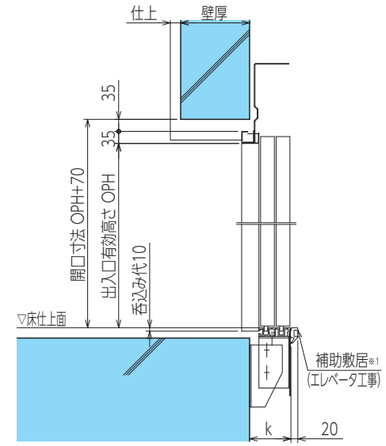
注：住宅用のみ標準装備仕様：2100
基本仕様　　：2000となります。



出入口正面図



断面A-A



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135(120)
	あり	145(130)

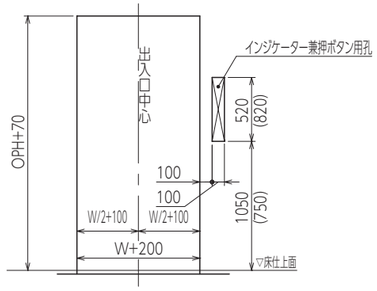
注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

RC造の場合

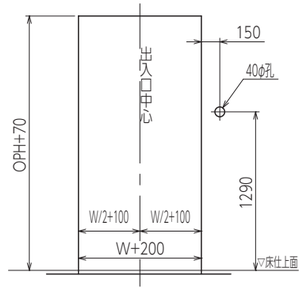
※1　速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

RC造の場合

RC造の場合



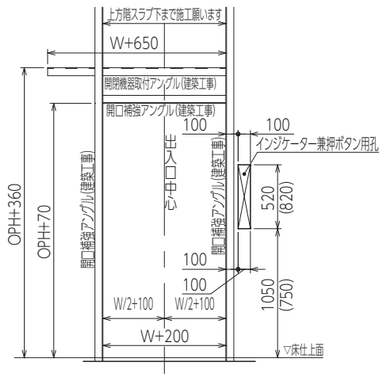
出入口孔明図
(最下階)



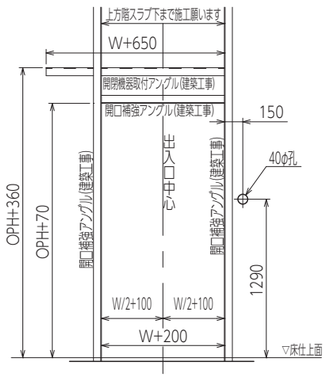
出入口孔明図
(最下階以外)

注：( )内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

S造の場合

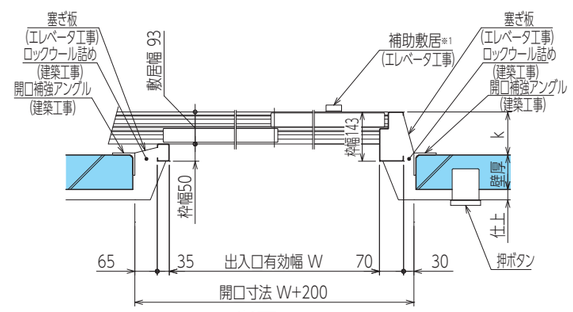


出入口孔明図
(最下階)

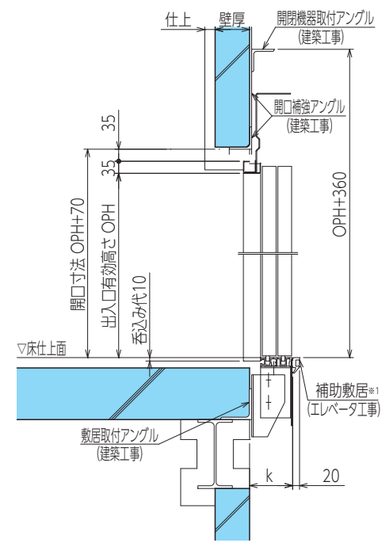


出入口孔明図
(最下階以外)

注：( )内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



断面A-A



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140(125)
	あり	150(135)

注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

S造の場合

※1　速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

1－2　大枠幕板なし

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。

防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	300 (250)

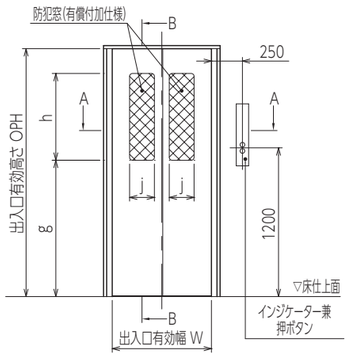
注：( )内寸法はW=8000の場合を示します。

■対象機種

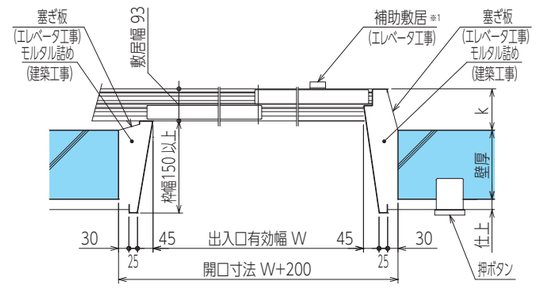
P(乗用)	－
P-S(乗用)	－
P-W(乗用)	－
R(住宅用)	●
B(寝台用)	●
S(人荷共用)	●
F(荷物用)	－

OPH
2100

注：住宅用のみ標準装備仕様：2100
基本仕様　：2000となります。



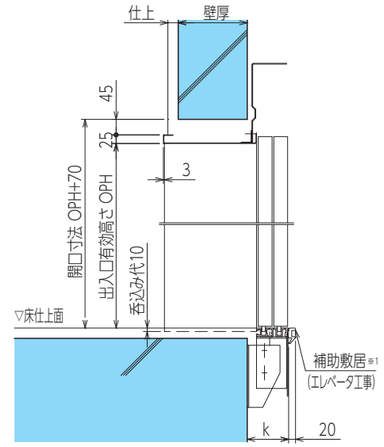
出入口正面図



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135(120)
	あり	145(130)

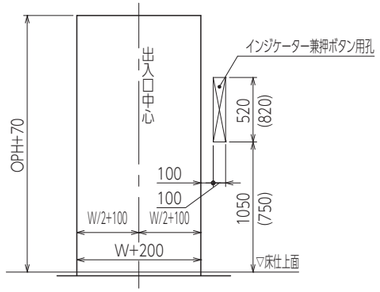
注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。



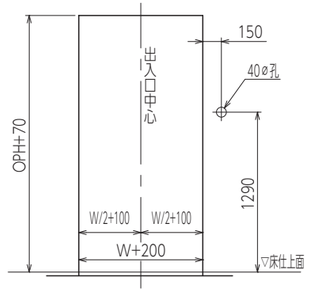
断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

RC造の場合



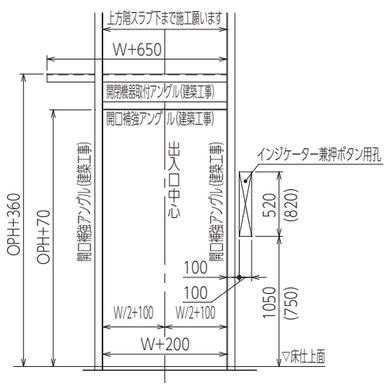
出入口孔明図
(最下階)



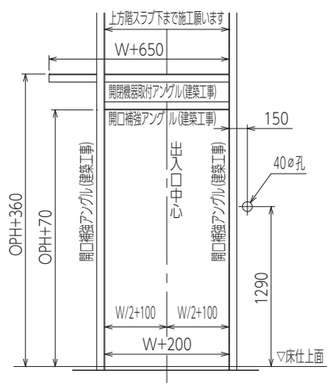
出入口孔明図
(最下階以外)

注：( )内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

S造の場合



出入口孔明図
(最下階)

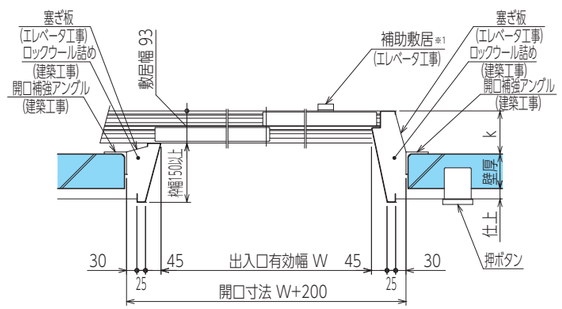


出入口孔明図
(最下階以外)

注：( )内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

RC造の場合

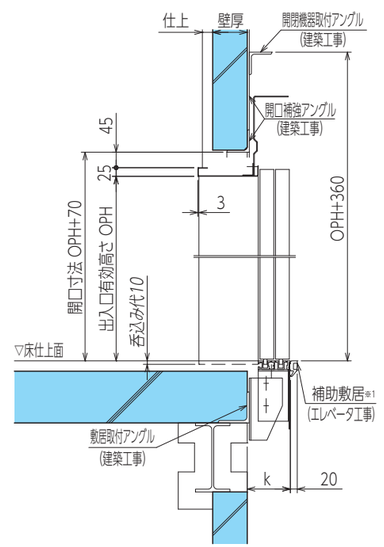
※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140(125)
	あり	150(135)

注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。



断面B-B

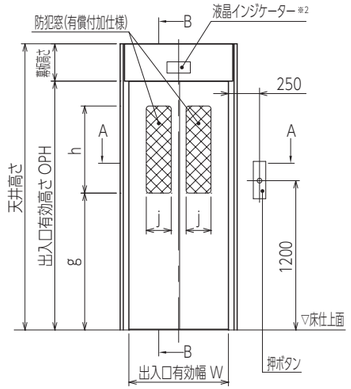
かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

S造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

1−3　大枠幕板付き

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。



出入口正面図

※2.幕板組込インジケーターは有償付加仕様です。

■対象機種

P(乗用)	−
P-S(乗用)	−
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	●
B(寝台用)	●
S(入荷共用)	●
F(荷物用)	−

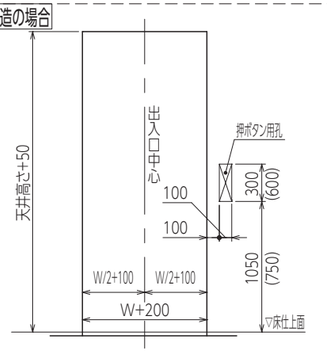
防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	300 (250)

注：( )内寸法はW=800の場合を示します。

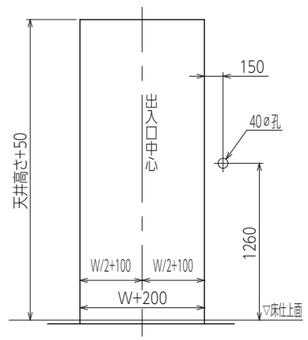
OPH
2100

注：住宅用のみ標準装備仕様：2100
基本仕様：2000となります。

RC造の場合



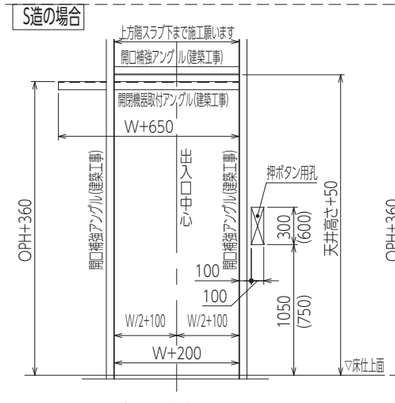
出入口孔明図
(最下階)



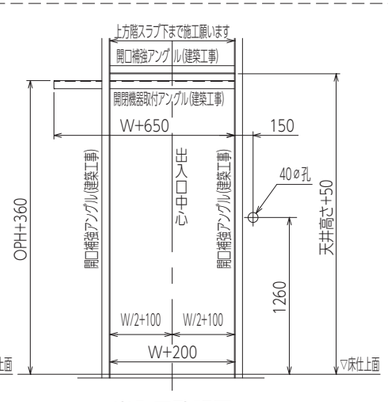
出入口孔明図
(最下階以外)

注：( )内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

S造の場合

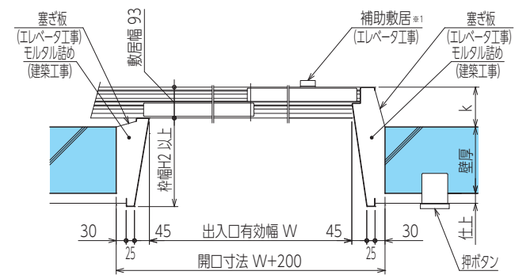


出入口孔明図
(最下階)

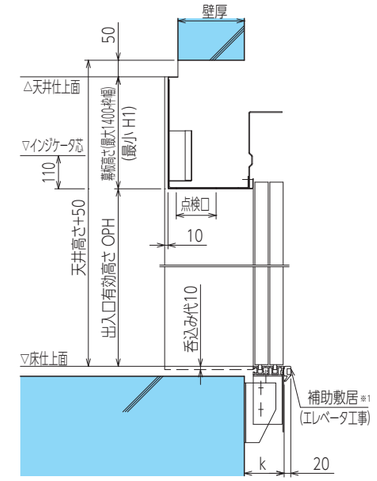


出入口孔明図
(最下階以外)

注：( )内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



断面A-A



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

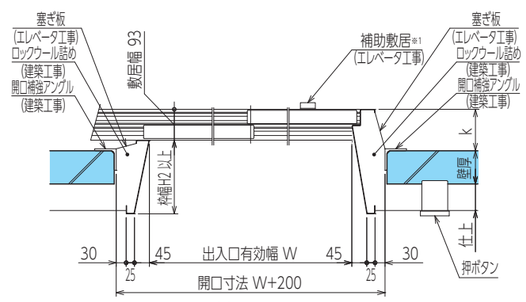
インジケーター	遮煙エレベータ乗場ドア	H1	H2
液晶	なし	280	170
	あり	310	200

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135(120)
	あり	145(130)

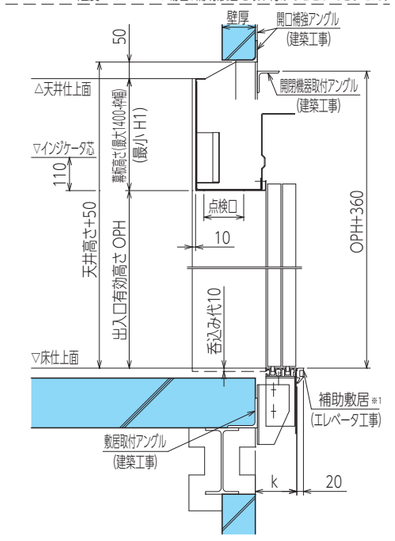
注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

RC造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

インジケーター	遮煙エレベータ乗場ドア	H1	H2
液晶	なし	280	170
	あり	310	200

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140(125)
	あり	150(135)

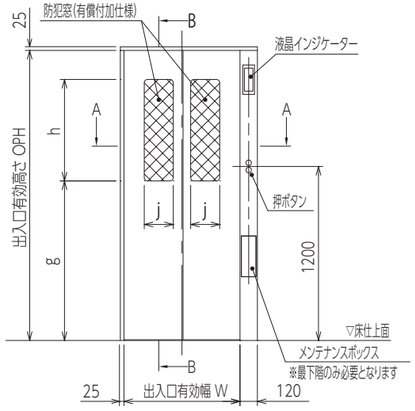
注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

S造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

1−4　ホールボタン・インジケーター　一体型枠

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。



出入口正面図

防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	300 (250)

注：( )内寸法はW=800の場合を示します。

■対象機種

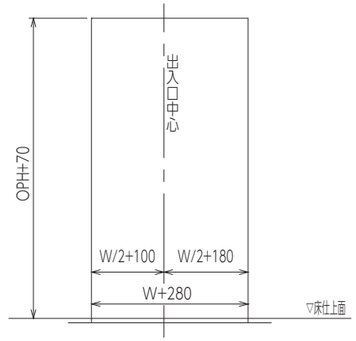
P(乗用)	−
P-S(乗用)	−
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	●
B(寝台用)	●
S(人荷共用)	●
F(荷物用)	−

OPH
2100

注：住宅用のみ標準装備仕様：2100
基本仕様：2000となります。

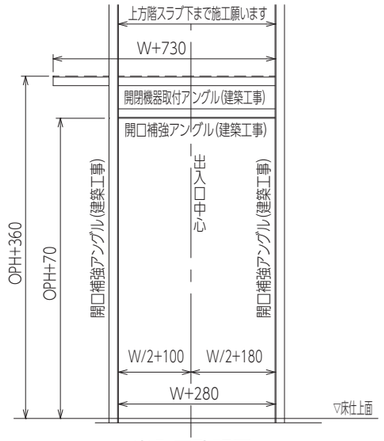
※メンテナンスボックスを最下階以外に設置する場合は当社にご相談ください。

RC造の場合

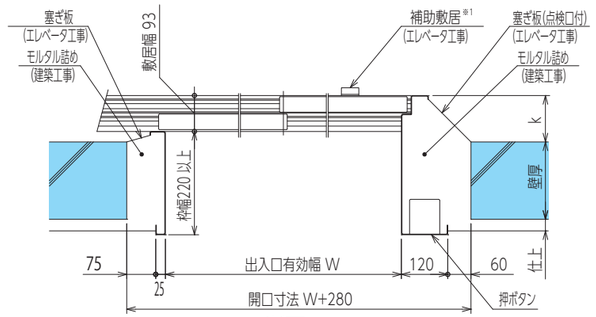


出入口孔明図

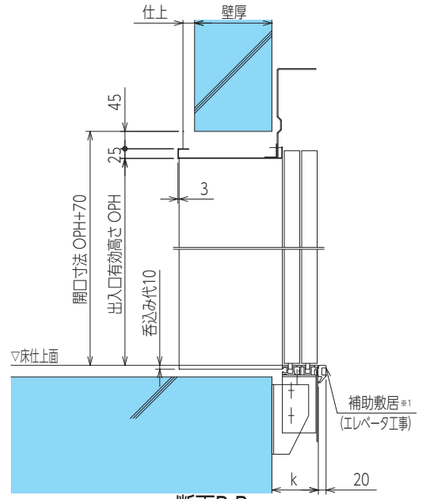
S造の場合



出入口孔明図



断面A-A



断面B-B

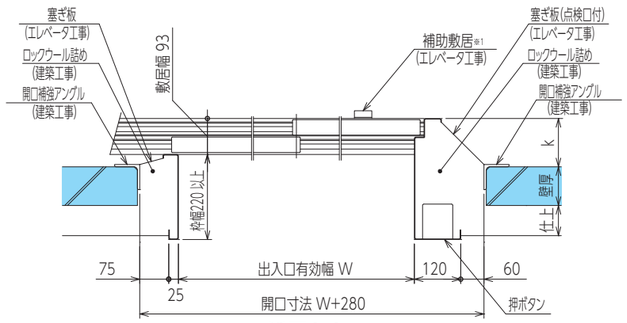
かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135(120)
	あり	145(130)

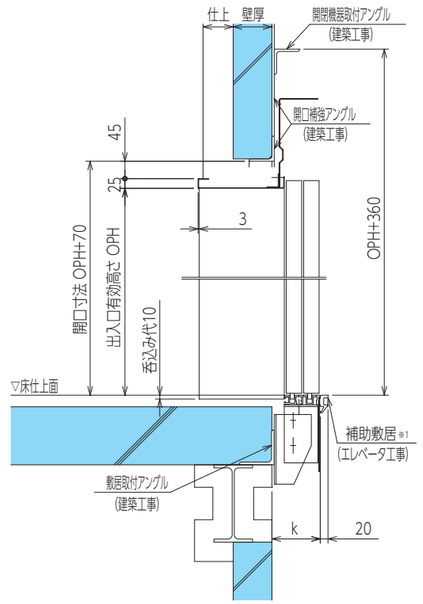
注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

RC造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140(125)
	あり	150(135)

注：( )内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

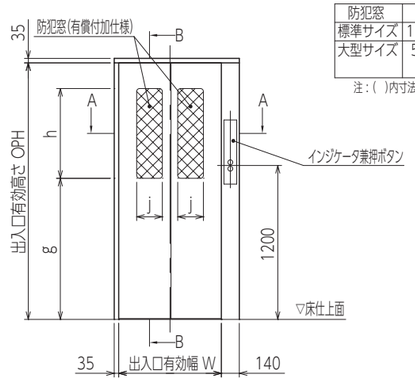
S造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

出入口

1−5　ストライクパネル付き小枠

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。



出入口正面図

防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	300 (250)

注：(　)内寸法はW=800の場合を示します。

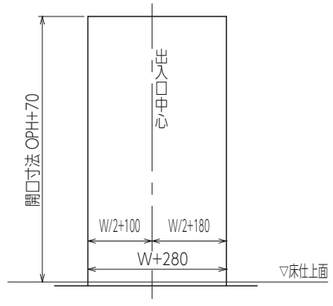
■対象機種

P(乗用)	−
P-S(乗用)	−
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	●
B(寝台用)	●
S(人荷共用)	−
F(荷物用)	−

OPH
2100

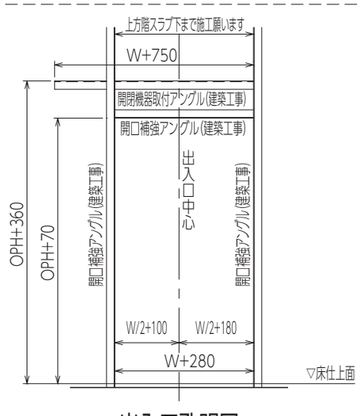
注：住宅用のみ標準装備仕様：2100
基本仕様　　：2000となります。

RC造の場合

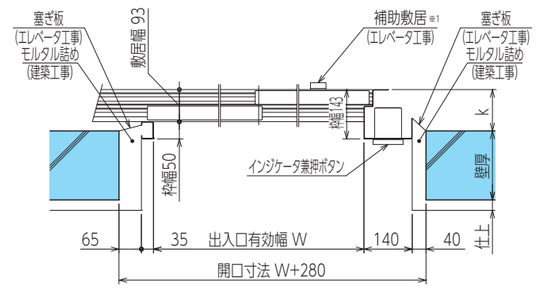


出入口孔明図

S造の場合



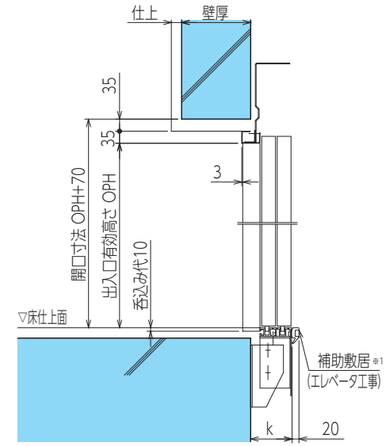
出入口孔明図



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135(120)
	あり	145(130)

注：(　)内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。

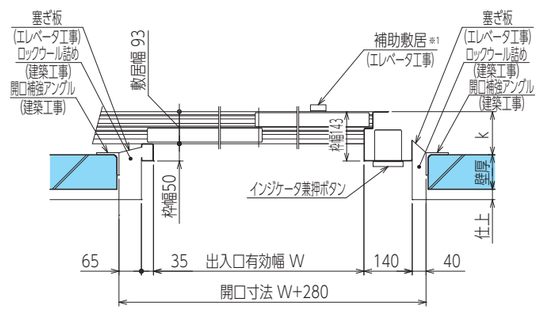


断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

RC造の場合

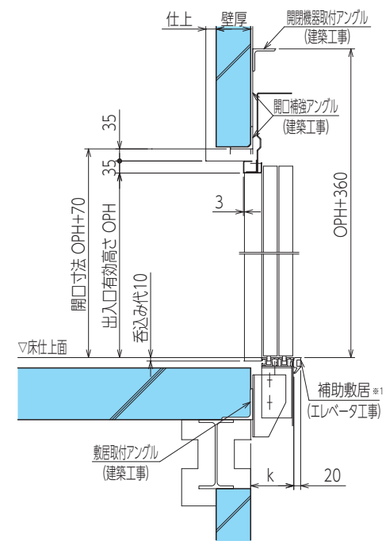
※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140(125)
	あり	150(135)

注：(　)内寸法は、昇降行程30m以下の場合を示します。



断面B-B

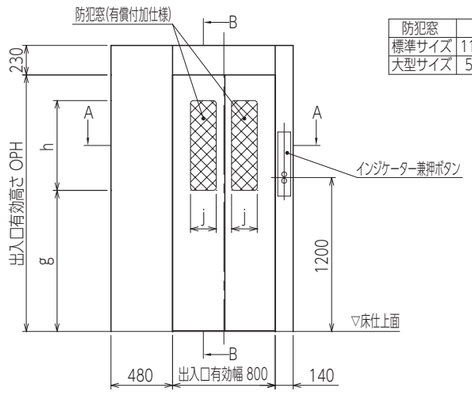
かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

S造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

1−6　フロントパネル付き枠

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。



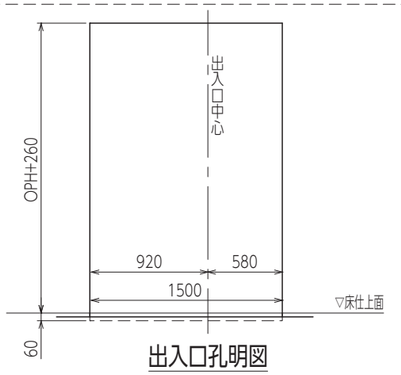
出入口正面図

防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	300

対象機種	
P(乗用)	−
P-S(乗用)	−
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	●
B(寝台用)	−
S(人荷共用)	−
F(荷物用)	−

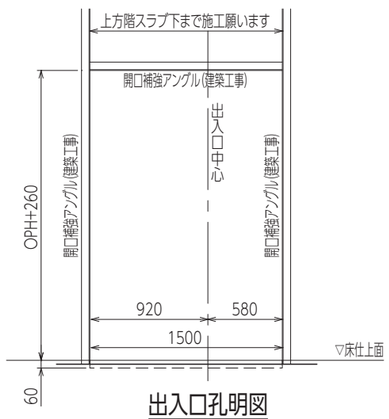
	OPH
基本仕様	2000
標準装備仕様	2100

RC造の場合

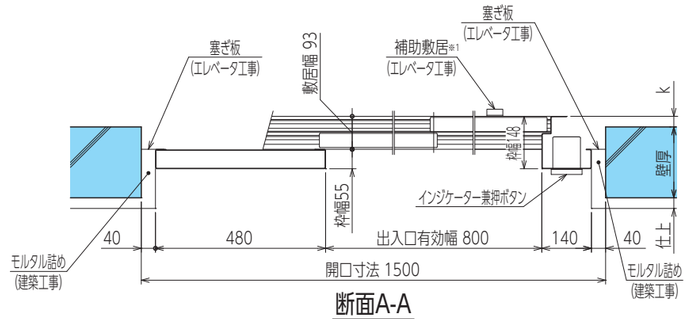


出入口孔明図

S造の場合

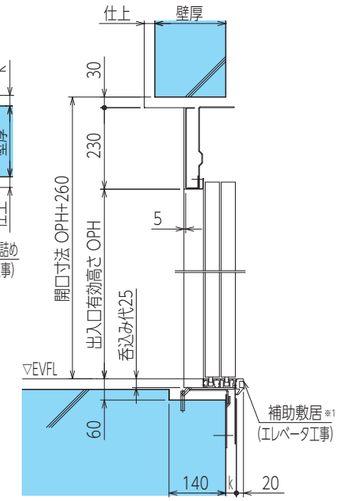


出入口孔明図



断面A-A

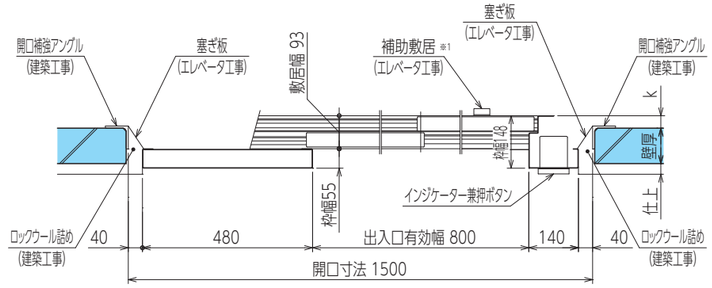
出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	あり	30
	あり	
二方向	なし	45
	あり	



断面B-B

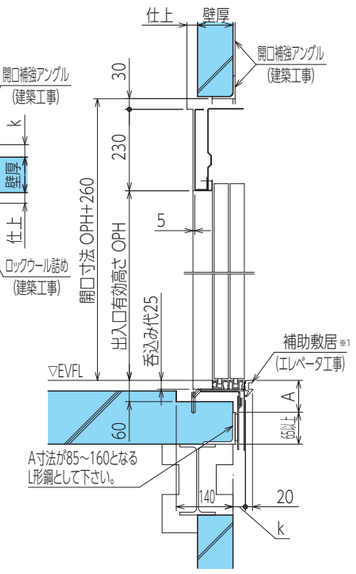
RC造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	35
	あり	
二方向	なし	50
	あり	



断面B-B

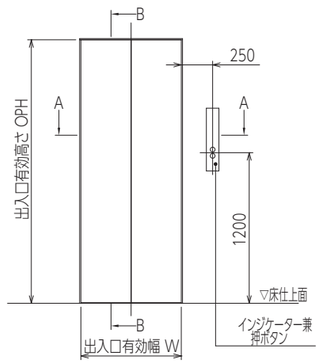
S造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

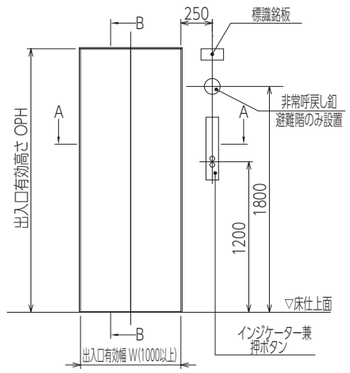
出入口

Ⅷ－2　2枚両引き編

2－1　小枠幕板なし



出入口正面図



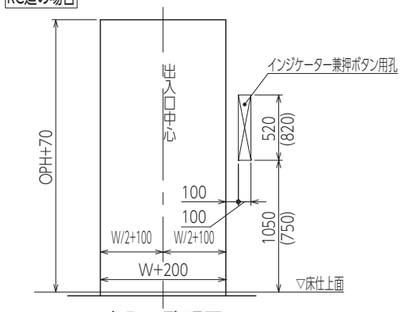
出入口正面図
(非常用の場合)

■対象機種

P(乗用)	●
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	-
R(住宅用)	-
B(寝台用)	-
S(人荷共用)	-
F(荷物用)	-

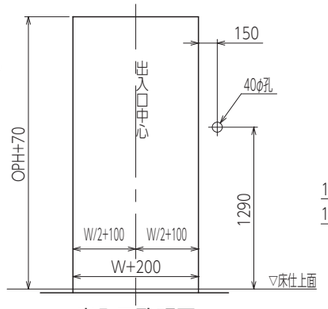
OPH
2100

RC造の場合

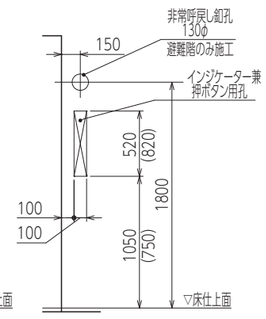


出入口孔明図
(最下階)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



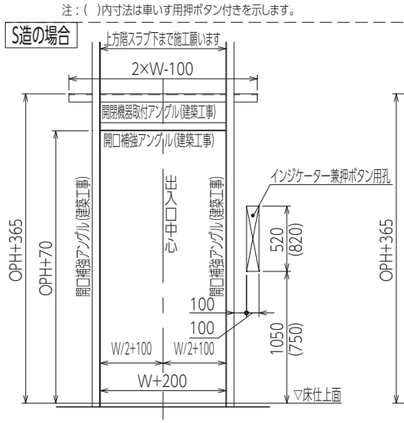
出入口孔明図
(最下階以外)



出入口孔明図
(非常用の場合)

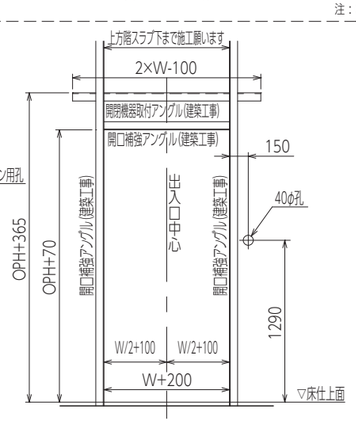
注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

S造の場合

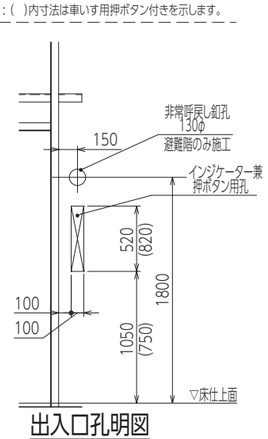


出入口孔明図
(最下階)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

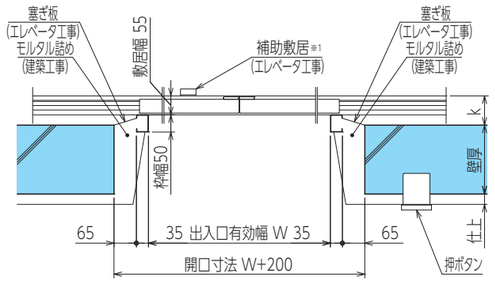


出入口孔明図
(最下階以外)

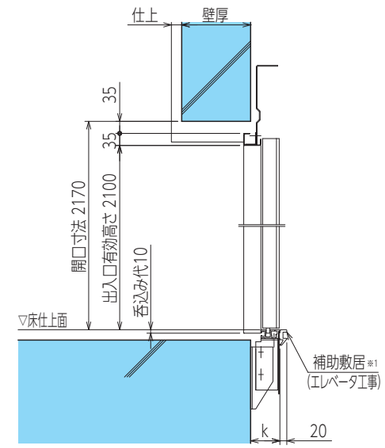


出入口孔明図
(非常用の場合)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



断面A-A



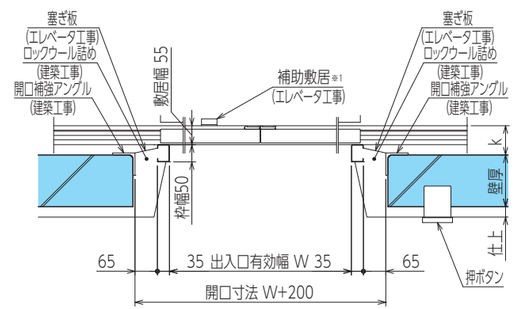
断面B-B

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

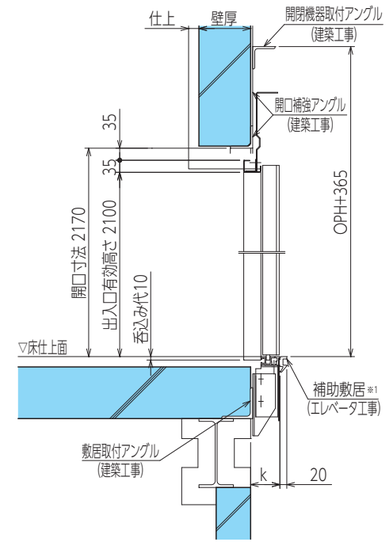
(注)乗場壁にインターホンボックス設置の場合、90mm

RC造の場合

※1　速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

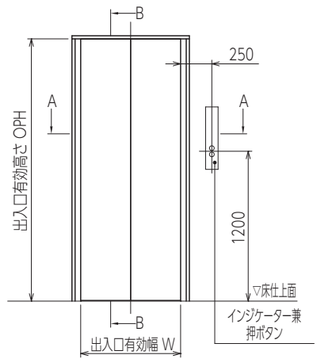
出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

(注)乗場壁にインターホンボックス設置
または　乗場壁をボード貼施工の場合、90mm

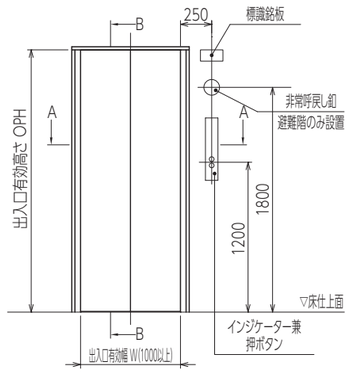
S造の場合

※1　速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

2−2　大枠幕板なし



出入口正面図



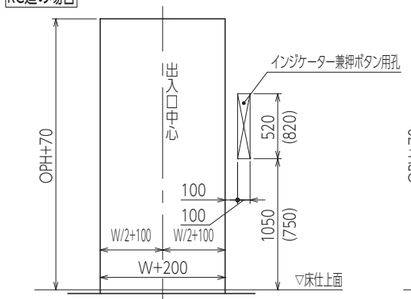
出入口正面図
(非常用の場合)

■対象機種

P(乗用)	●
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	−
B(寝台用)	−
S(人荷共用)	−
F(荷物用)	−

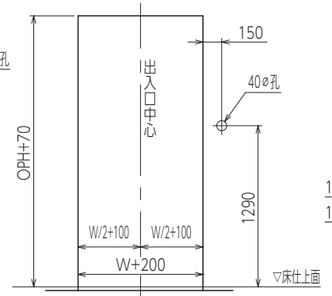
OPH
2100

RC造の場合

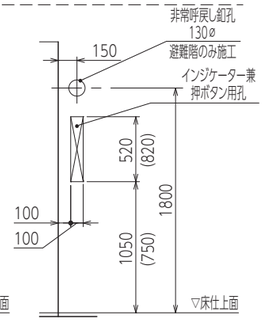


出入口孔明図
(最下階)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



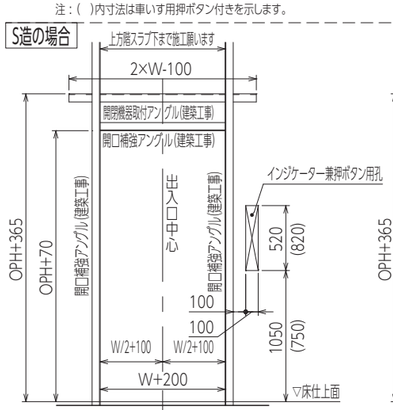
出入口孔明図
(最下階以外)



出入口孔明図
(非常用の場合)

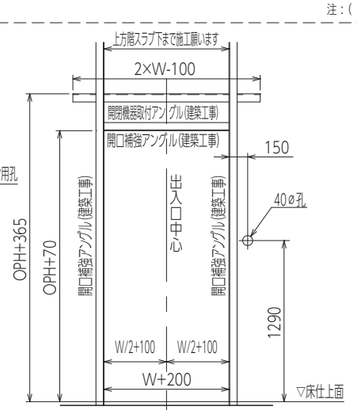
注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

S造の場合

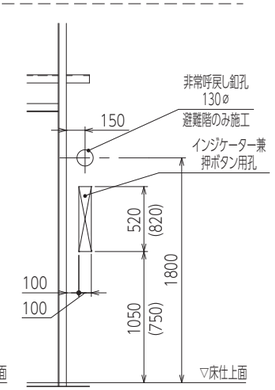


出入口孔明図
(最下階)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

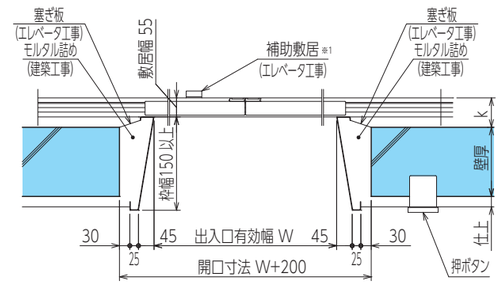


出入口孔明図
(最下階以外)

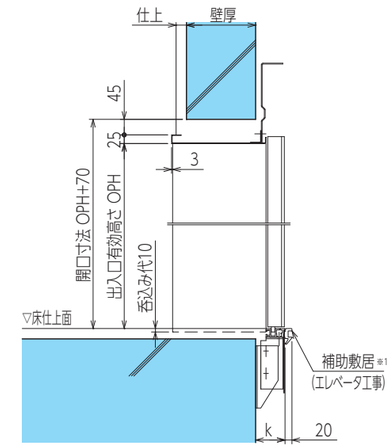


出入口孔明図
(非常用の場合)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



断面A-A



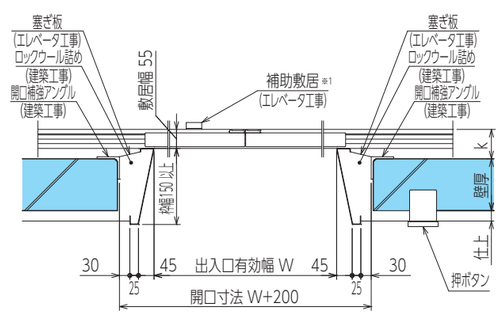
断面B-B

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

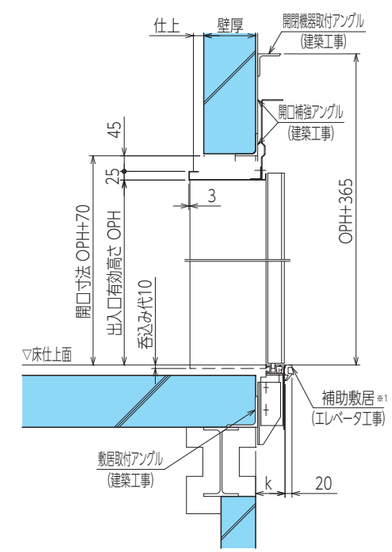
(注)乗場壁にインターホンボックス設置の場合、90mm

RC造の場合

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

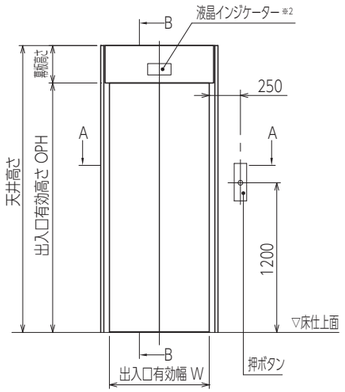
出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

(注)乗場壁にインターホンボックス設置
または　乗場壁をボード貼施工の場合、90mm

S造の場合

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

2−3　大枠幕板付き



出入口正面図

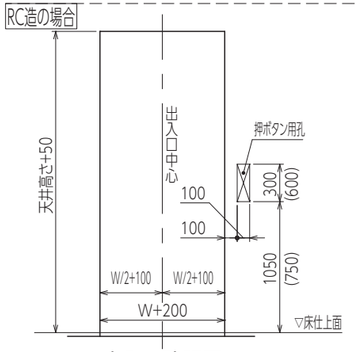
※2.幕板組込インジケータは有償付加仕様です。

■対象機種

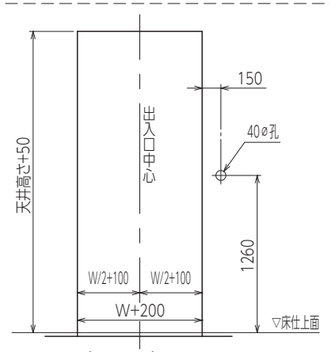
P(乗用)	●
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	−
B(寝台用)	−
S(人荷共用)	−
F(荷物用)	−

OPH
2100

RC造の場合



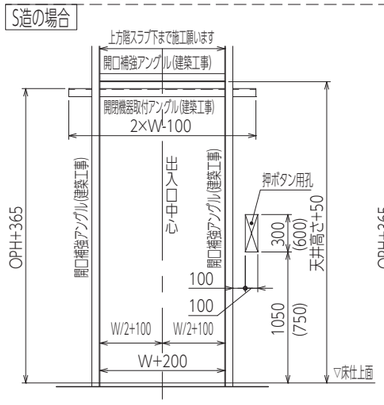
出入口孔明図
(最下階)



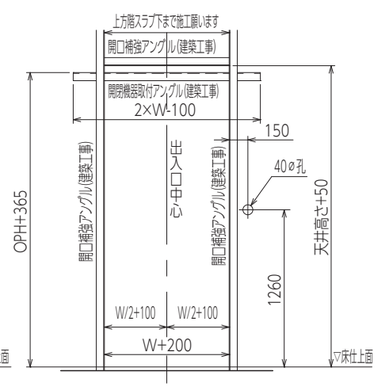
出入口孔明図
(最下階以外)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。

S造の場合

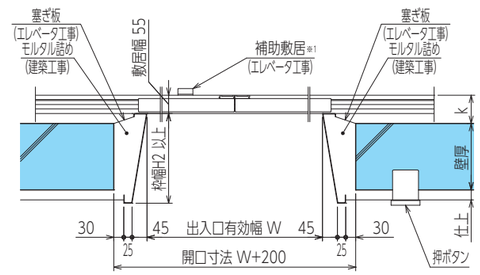


出入口孔明図
(最下階)

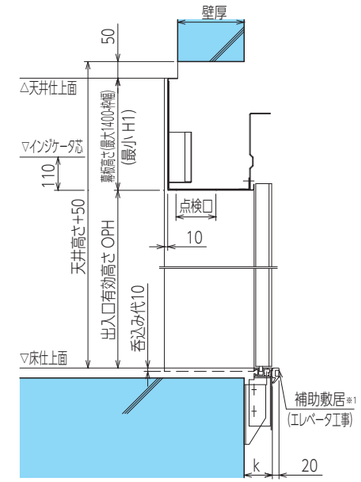


出入口孔明図
(最下階以外)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



断面A-A



断面B-B

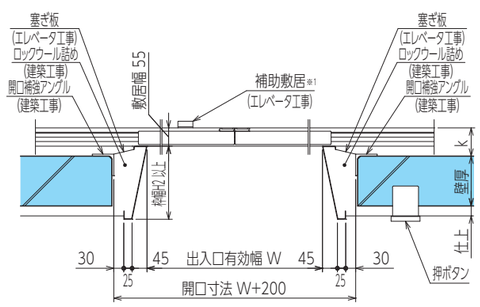
インジケーター	遮煙エレベータ乗場ドア	H1	H2
液晶	なし	280	170
	あり	310	200

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

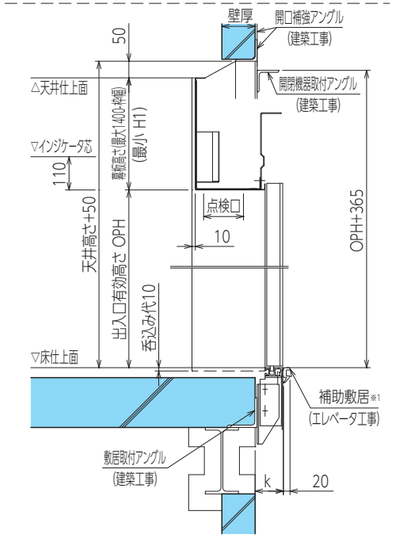
(注)乗場壁にインターホンボックス設置の場合、90mm

RC造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

インジケーター	遮煙エレベータ乗場ドア	H1	H2
液晶	なし	280	170
	あり	310	200

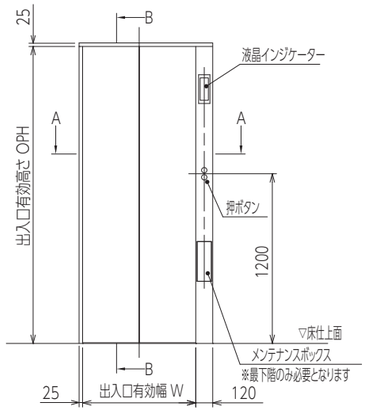
出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

(注)乗場壁にインターホンボックス設置
　または　乗場壁をボード貼施工の場合、90mm

S造の場合

※1 速度120m/minの場合、補助敷居を取り付けることができません。

2−4　ホールボタン・インジケーター　一体型枠



出入口正面図

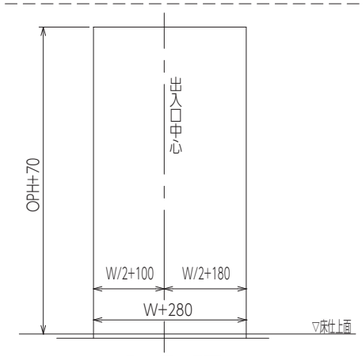
■対象機種

P(乗用)	●
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	−
R(住宅用)	−
B(寝台用)	−
S(人荷共用)	−
F(荷物用)	−

OPH
2100

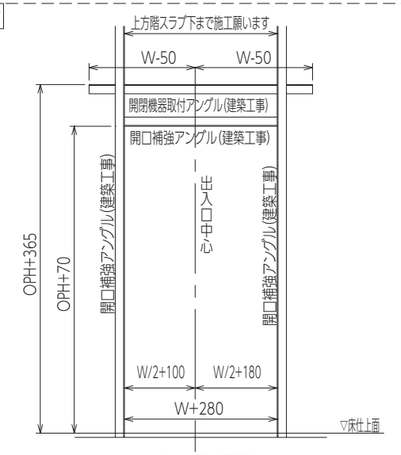
※メンテナンスボックスを最下階以外に設置する場合は当社にご相談ください。

RC造の場合

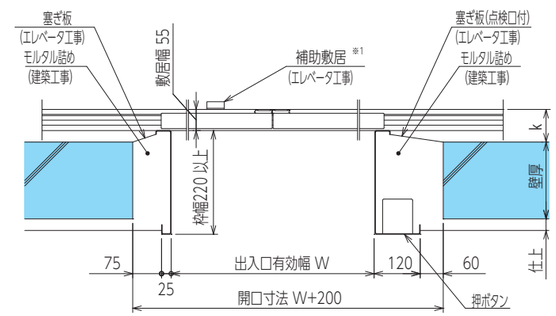


出入口孔明図

S造の場合



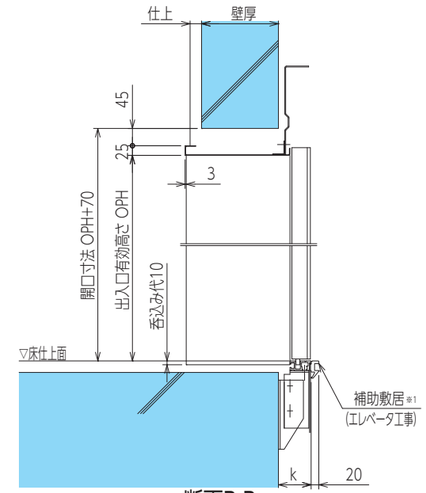
出入口孔明図



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

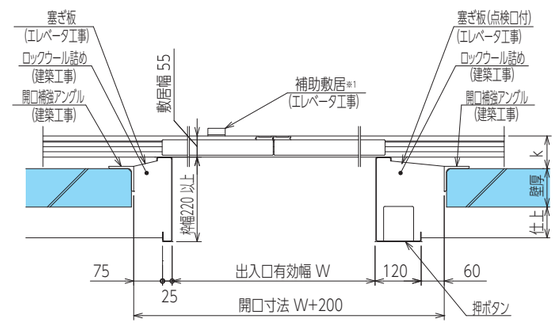
(注)乗場壁にインターホンボックス設置の場合、90mm



断面B-B

RC造の場合

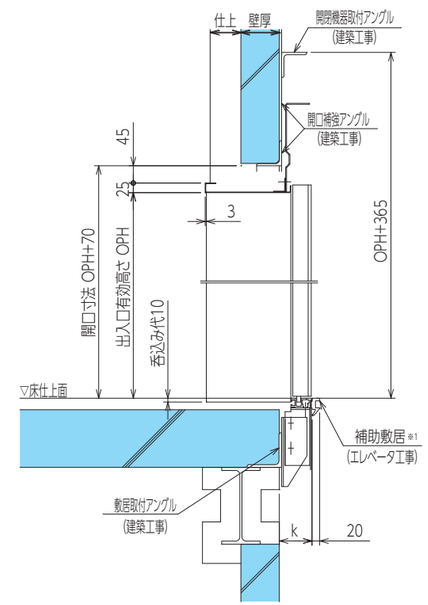
※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	85
	あり	85(注)
二方向	なし	105
	あり	

(注)乗場壁にインターホンボックス設置
または　乗場壁をボード貼施工の場合、90mm



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

S造の場合

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

出入口

Ⅷ－3　4枚両引き編

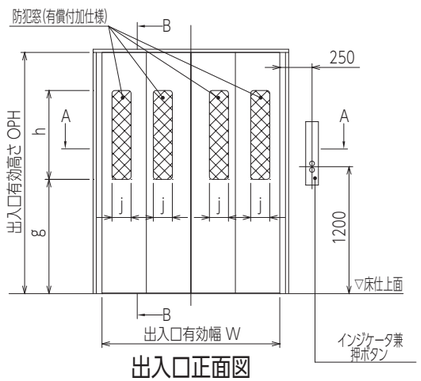
3－1　大枠幕板なし（RC造）

W	防犯窓	g	h	j
1400	標準サイズ	1100	700	150
	大型サイズ	500	1300	
1800	標準サイズ	1100	700	200
	大型サイズ	500	1300	250

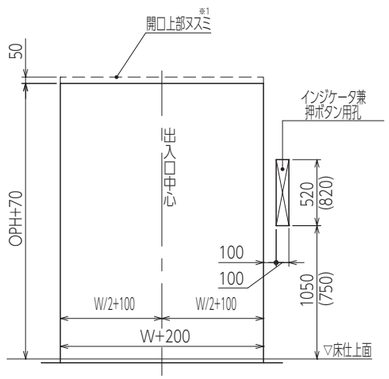
■対象機種

P(乗用)	-
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	●
R(住宅用)	-
B(寝台用)	-
S(人荷共用)	-
F(荷物用)	-

OPH
2100

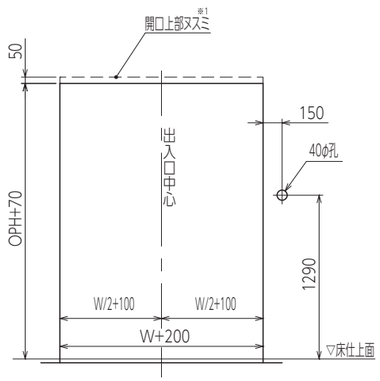


出入口正面図



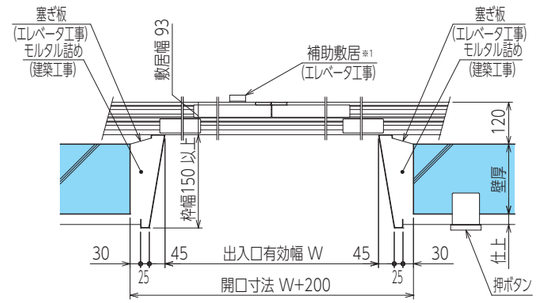
出入口孔明図
(最下階)

※1.遮煙エレベータ乗場ドアありの場合、出入口開口上部に40×50のヌスミが必要となります。

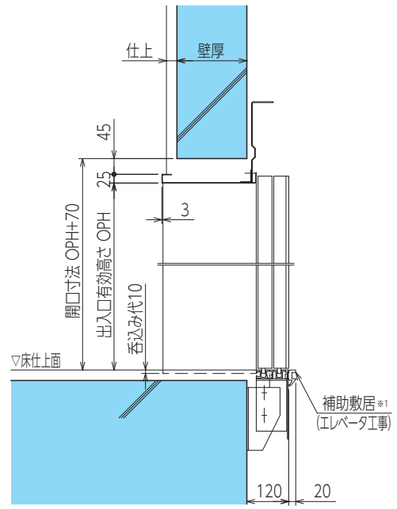


出入口孔明図
(最下階以外)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



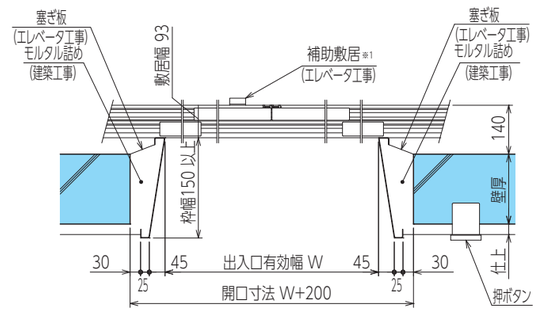
断面A-A



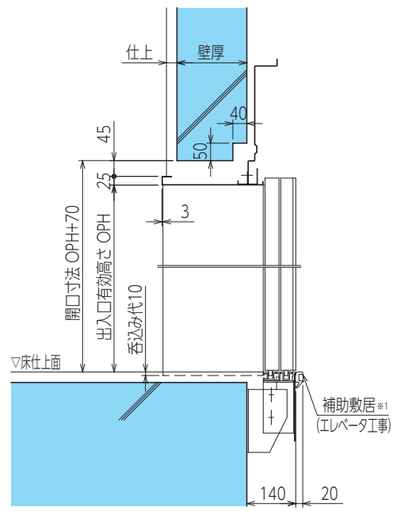
断面B-B

遮煙エレベータ乗場ドアなしの場合

※1　速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

遮煙エレベータ乗場ドアありの場合

※1　速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

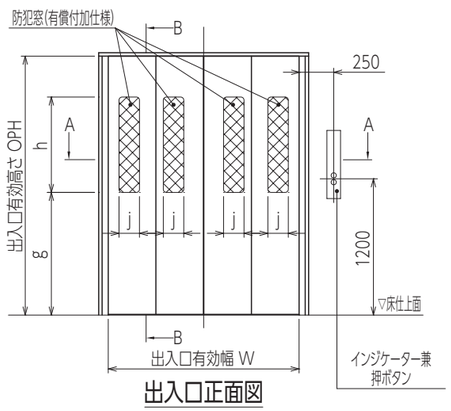
3－2　大枠幕板なし（S造）

W	防犯窓	g	h	j
1400	標準サイズ	1100	700	150
	大型サイズ	500	1300	
1800	標準サイズ	1100	700	200
	大型サイズ	500	1300	250

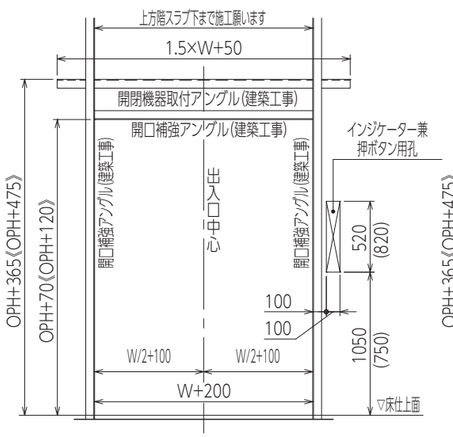
■対象機種

P(乗用)	－
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	●
R(住宅用)	－
B(寝台用)	－
S(人荷共用)	－
F(荷物用)	－

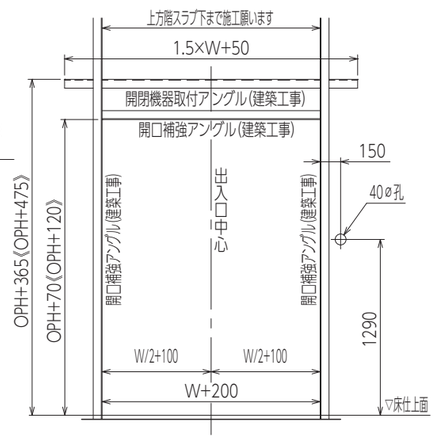
OPH
2100



出入口正面図



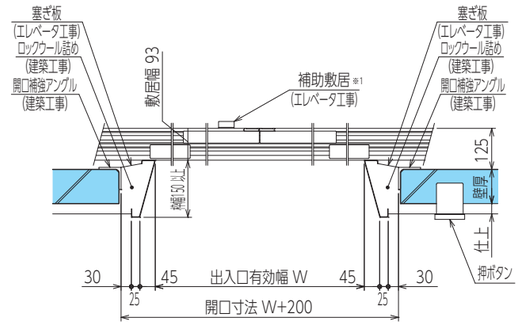
出入口孔明図
(最下階)



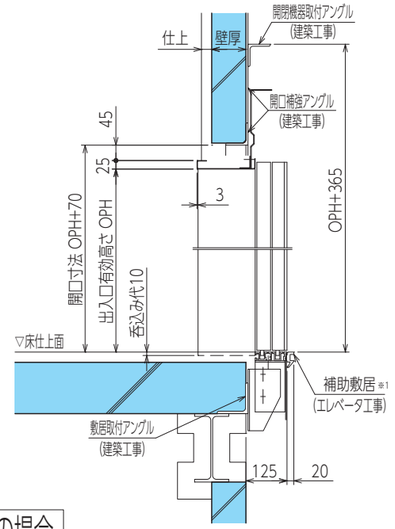
出入口孔明図
(最下階以外)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。
注：《　》内寸法は遮煙エレベータ乗場ドアありの場合を示します。

注：《　》内寸法は遮煙エレベータ乗場ドアありの場合を示します。



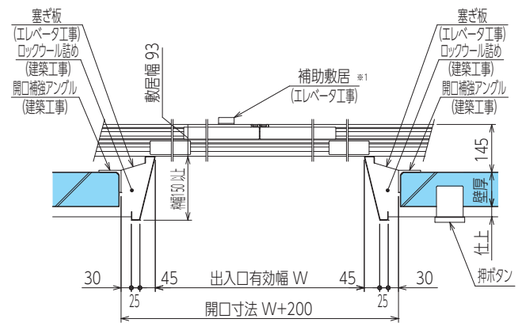
断面A-A



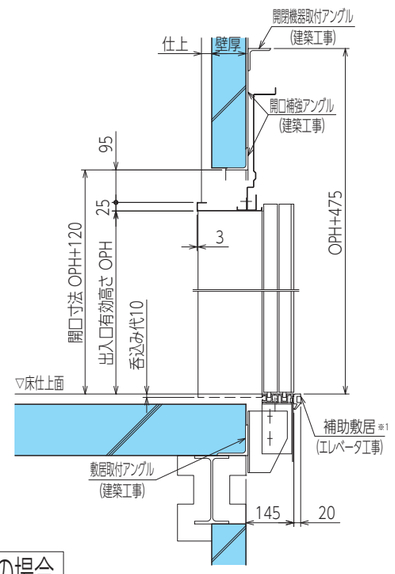
遮煙エレベータ乗場ドアなしの場合

断面B-B

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



遮煙エレベータ乗場ドアありの場合

断面B-B

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

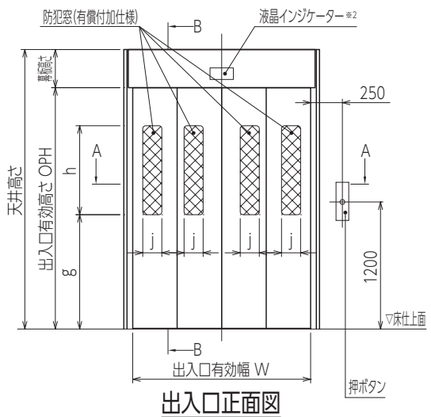
3−3　大枠幕板付き（RC造）

W	防犯窓	g	h	j
1400	標準サイズ	1100	700	150
	大型サイズ	500	1300	
1800	標準サイズ	1100	700	200
	大型サイズ	500	1300	250

■対象機種

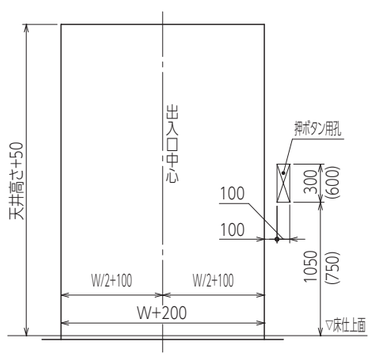
P(乗用)	−
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	●
R(住宅用)	−
B(寝台用)	−
S(人荷共用)	−
F(荷物用)	−

OPH
2100

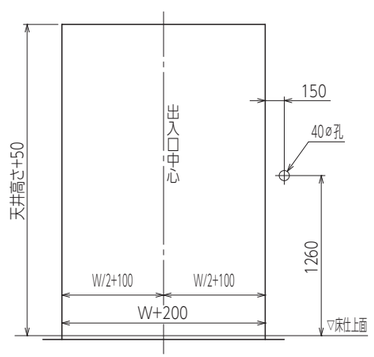


出入口正面図
(最下階)

※2.幕板組込インジケータは有償付加仕様です。

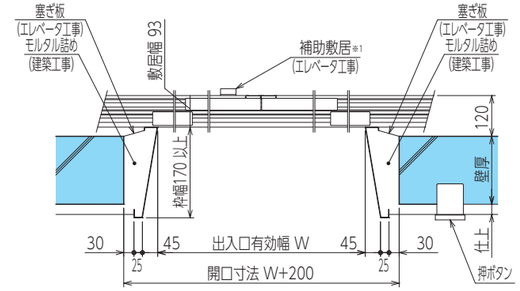


出入口孔明図
(最下階)

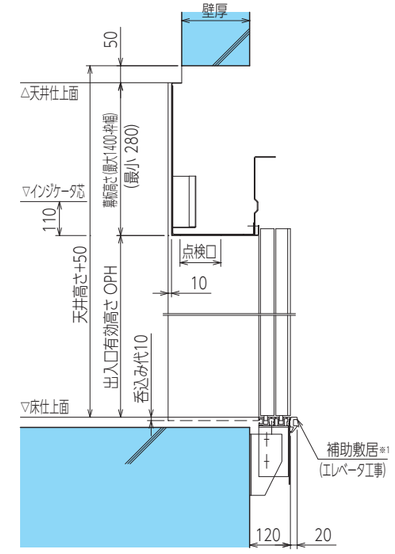


出入口孔明図
(最下階以外)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。



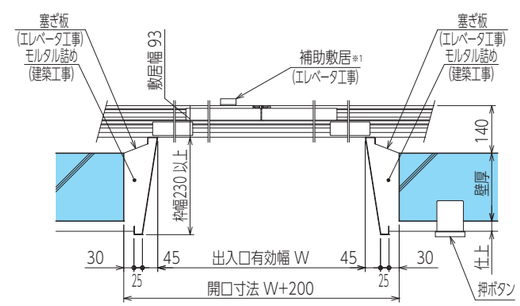
断面A-A



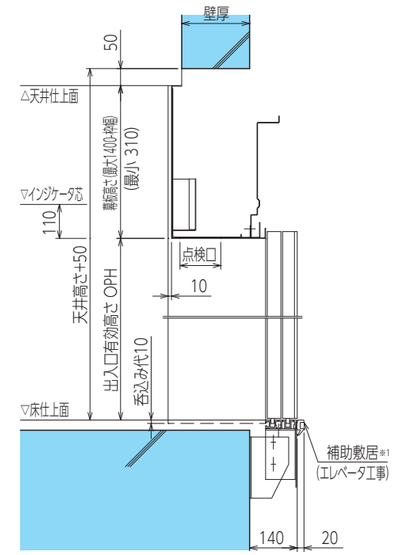
断面B-B

遮煙エレベータ乗場ドアなしの場合

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



断面B-B

遮煙エレベータ乗場ドアありの場合

※1 速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

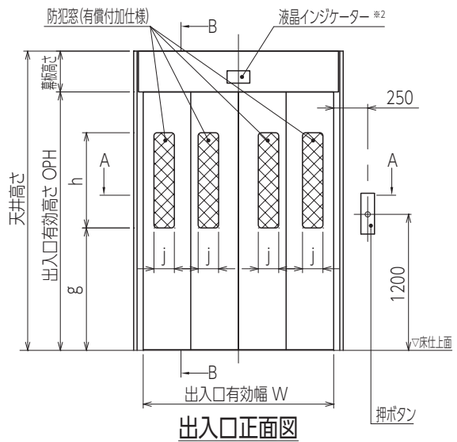
3−4　大枠幕板付き（S造）

W	防犯窓	g	h	j
1400	標準サイズ	1100	700	150
	大型サイズ	500	1300	
1800	標準サイズ	1100	700	200
	大型サイズ	500	1300	250

■対象機種

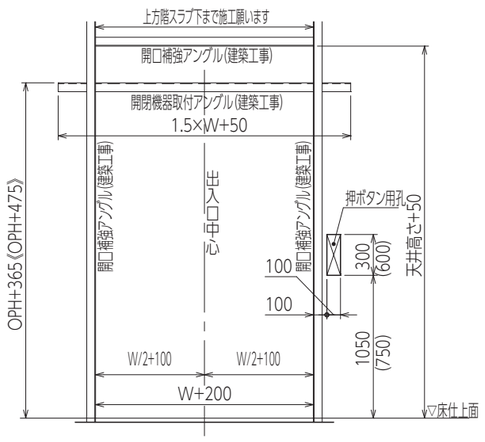
P(乗用)	-
P-S(乗用)	●
P-W(乗用)	●
R(住宅用)	-
B(寝台用)	-
S(人荷共用)	-
F(荷物用)	-

OPH
2100



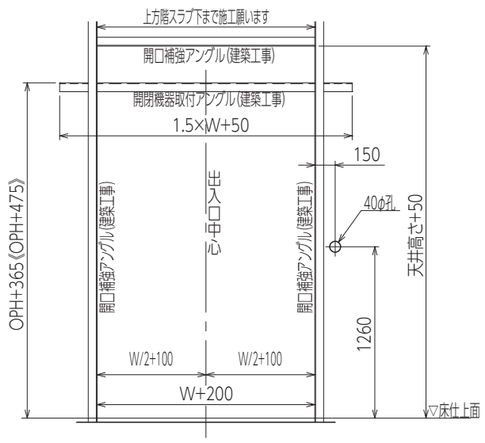
出入口正面図
(最下階)

※2. 幕板組込インジケータは有償付加仕様です。



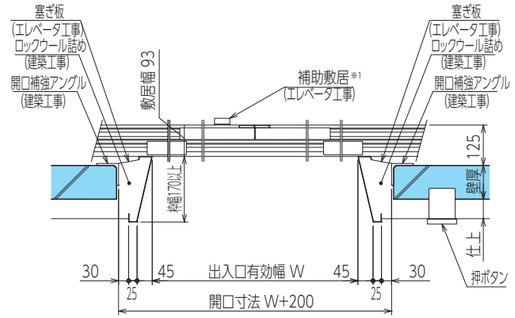
出入口孔明図
(最下階)

注：(　)内寸法は車いす用押ボタン付きを示します。
注：《　》の寸法は遮煙エレベータ乗場ドアありの場合を示しています。

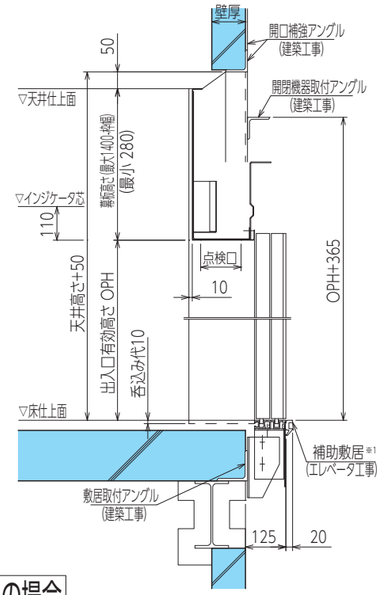


出入口孔明図
(最下階以外)

注：《　》の寸法は遮煙エレベータ乗場ドアありの場合を示しています。



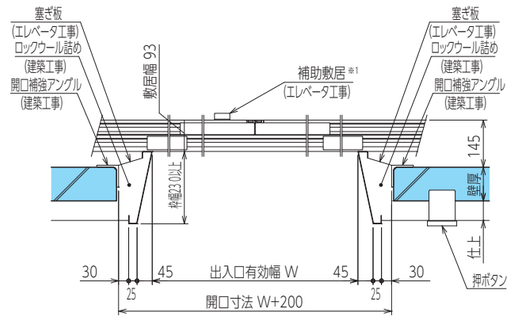
断面A-A



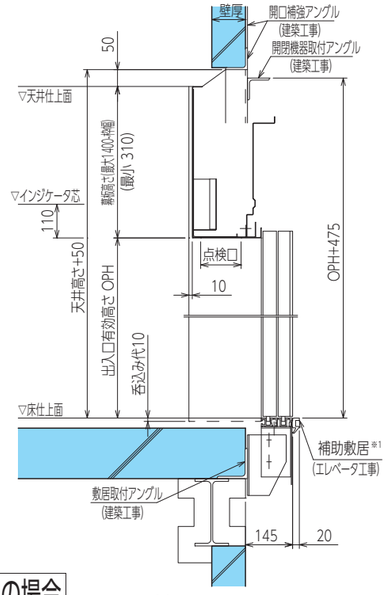
遮煙エレベータ乗場ドアなしの場合

断面B-B

※1　速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。



断面A-A



遮煙エレベータ乗場ドアありの場合

断面B-B

※1　速度120m/minの場合及び非常用の場合、補助敷居を取り付けることができません。

Ⅷ－4　2枚片引き編（荷物用）

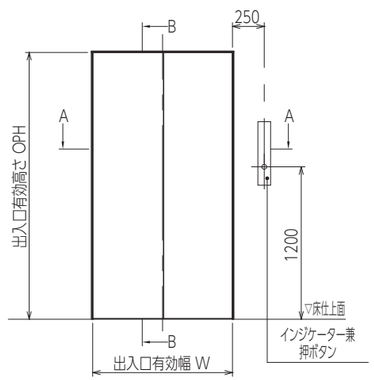
4－1　小枠幕板なし

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。

■対象機種

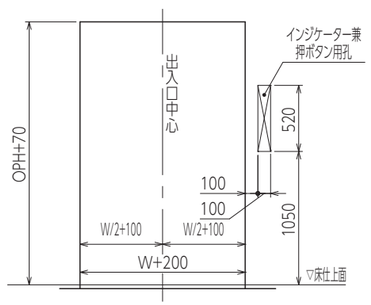
P(乗用)	－
P-S(乗用)	－
P-W(乗用)	－
R(住宅用)	－
B(寝台用)	－
S(人荷共用)	－
F(荷物用)	●

OPH
2100



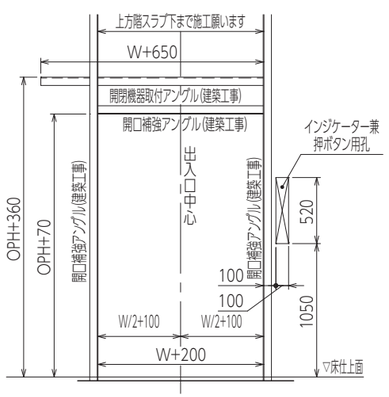
出入口正面図

RC造の場合

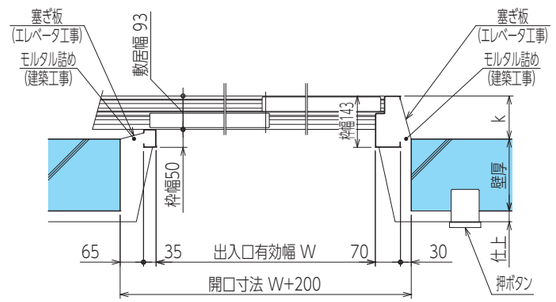


出入口孔明図

S造の場合

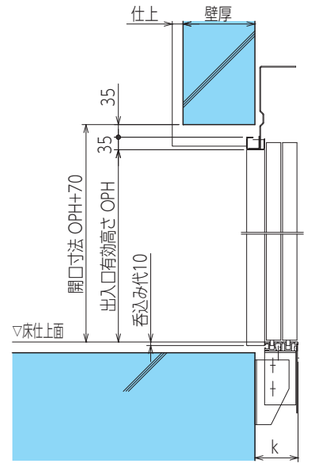


出入口孔明図



断面A-A

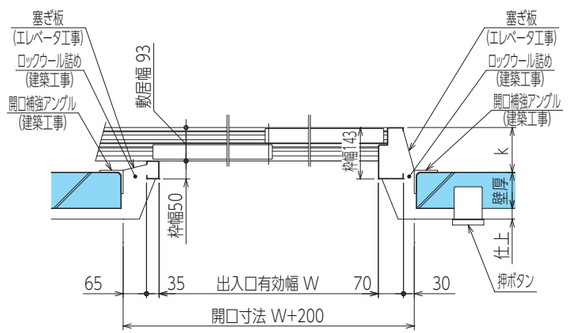
出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135
	あり	145



断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

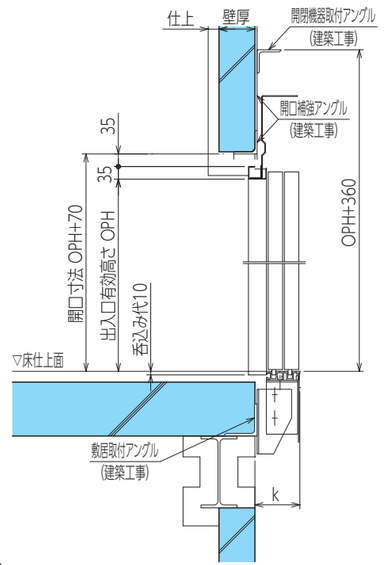
RC造の場合



断面A-A

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140
	あり	150

S造の場合

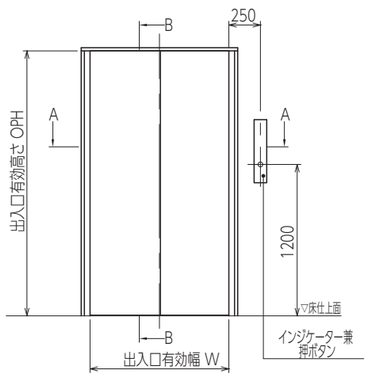


断面B-B

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

4－2　大枠幕板なし

※ドア形式左勝手の場合を示します。右勝手の場合は左右反対になります。
※二方向出入口の正面側に対して背面側は勝手反対となります。

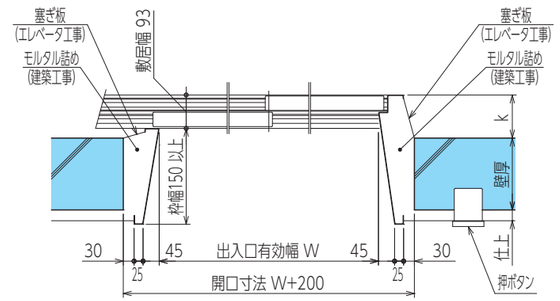


出入口正面図

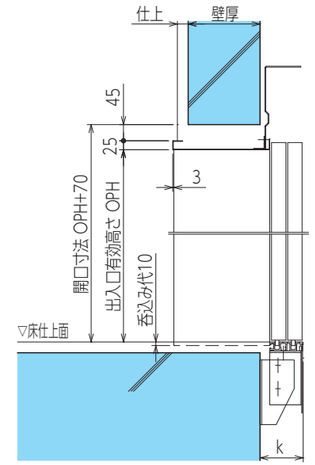
■対象機種

P(乗用)	-
P-S(乗用)	-
P-W(乗用)	-
R(住宅用)	-
B(寝台用)	-
S(人荷共用)	-
F(荷物用)	●

OPH
2100



断面A-A



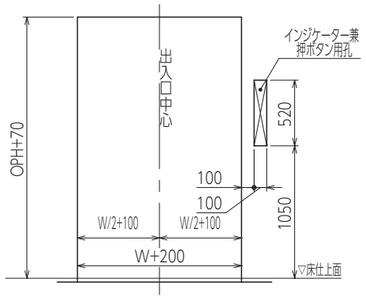
断面B-B

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	120
	あり	130
二方向	なし	135
	あり	145

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

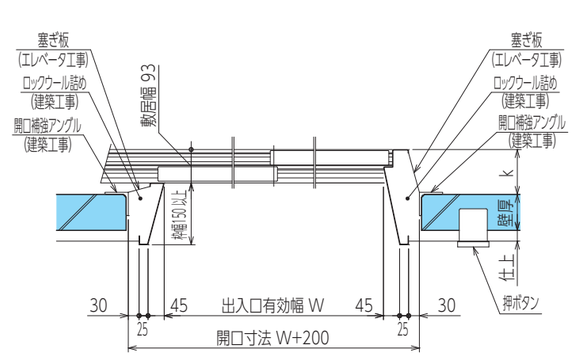
RC造の場合

RC造の場合

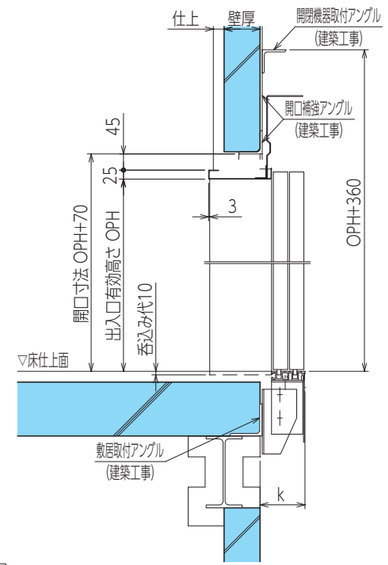


出入口孔明図

S造の場合



断面A-A



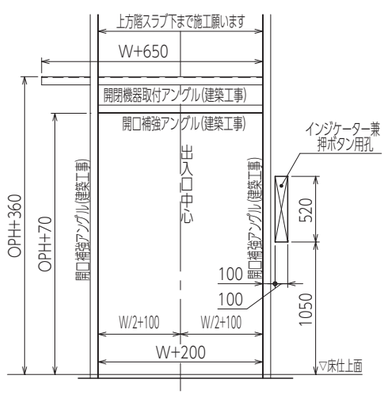
断面B-B

出入口	遮煙エレベータ乗場ドア	k
一方向	なし	125
	あり	135
二方向	なし	140
	あり	150

S造の場合

かご床強度増の場合は上図構造と異なりますので
当社にご相談ください。

S造の場合



出入口孔明図

Ⅸ－1　電源設備容量

1-1　1台/1回線

電源電圧　200～220V　50／60Hz

形式		速度 (m/min)	電動機容量 (kW)	電源設備容量 (kVA)	電源側MCCB定格電流 (A)	電力線サイズ別最大引き込み距離（m）【CVの場合】									接地線最小サイズ (mm²)
						3.5mm²	5.5mm²	8mm²	14mm²	22mm²	38mm²	60mm²	100mm²	150mm²	
P型	P-6-2CO	45	2.1	3	20	60	93	133	232	358	583	883	--	--	2
		60	2.8	4	20	40	63	90	157	243	394	598	911	--	2
		90	4.2	5	30	26	40	58	101	156	255	386	588	806	2
		105	4.9	6	40	22	34	49	85	132	214	325	495	679	3.5
		120	5.6	6	40	18	27	39	69	107	174	265	403	553	3.5
	P-9-2CO	45	2.8	4	20	43	67	96	168	259	422	639	974	--	2
		60	3.7	5	30	29	45	65	113	175	284	431	657	900	2
		90	5.6	6	40	18	29	41	73	112	182	276	421	577	3.5
		105	6.5	7	40	15	24	35	61	95	154	234	357	490	3.5
		120	7.4	8	50	--	20	28	50	77	126	191	291	399	3.5
	P-11-2CO	45	3.5	4	30	42	65	93	163	251	408	618	941	--	2
		60	4.6	5	40	28	43	62	108	167	272	412	627	860	3.5
		90	6.9	7	50	17	27	38	67	104	170	257	392	537	3.5
		105	8.1	8	50	--	23	32	57	88	144	218	332	455	3.5
		120	9.2	8	50	--	18	26	47	72	117	178	271	372	3.5
	P-13-2CO	45	4.2	4	40	36	55	79	139	215	349	530	807	--	3.5
		60	5.6	5	40	24	37	53	94	144	235	356	543	744	3.5
		90	8.3	8	50	15	23	33	58	90	147	223	340	466	3.5
		105	9.7	9	60	--	19	28	49	76	123	187	285	391	3.5
		120	12.0	10	60	--	15	22	39	61	99	150	229	314	3.5
	P-15-2CO	45	4.6	5	40	31	48	69	122	188	306	463	706	967	3.5
		60	6.2	6	40	21	33	48	84	129	211	319	487	667	3.5
		90	9.2	9	60	--	21	30	52	81	131	199	303	416	3.5
		105	11.0	10	60	--	17	25	44	67	110	167	254	348	3.5
		120	13.0	11	75	--	--	20	35	54	88	134	204	280	5.5
	P-17S-2CO	45	5.3	5	40	16	26	37	65	101	164	249	380	521	3.5
		60	7.1	6	50	--	17	24	42	65	106	161	246	337	3.5
		90	11	8	60	--	--	--	25	39	64	98	149	204	3.5
		105	13.0	10	75	--	--	--	21	33	54	82	125	172	5.5
		120	15.0	11	100	--	--	--	20	31	51	77	118	162	5.5
	P-20S-2CO	45	6.3	6	50	--	22	32	56	87	142	216	329	450	3.5
		60	8.3	7	50	--	--	20	36	56	91	139	211	290	3.5
		90	13.0	10	75	--	--	--	22	34	56	85	129	177	5.5
		105	15.0	12	100	--	--	--	18	29	47	71	109	149	5.5
		120	17.0	13	100	--	--	--	17	27	44	68	103	142	5.5
	P-24S-2CO P-24S-4CO P-24W-4CO	45	7.4	7	50	--	19	27	47	73	119	181	276	379	3.5
		60	9.9	9	60	--	--	17	31	47	77	117	179	245	3.5
		90	15.0	12	100	--	--	--	25	38	62	95	145	198	5.5
		105	18.0	14	100	--	--	--	21	32	52	79	121	166	5.5
		120	20.0	15	125	--	--	--	15	23	38	57	88	120	8
	P-26S-2CO	45	7.9	7	50	--	22	31	55	85	138	210	320	439	3.5
		60	11.0	9	60	--	--	21	37	57	93	141	215	295	3.5
		90	16.0	14	100	--	--	--	23	35	57	87	133	183	5.5
		105	19.0	15	125	--	--	--	19	29	48	73	112	153	8
		120	21.0	17	125	--	--	--	16	25	41	62	94	129	8
	P-30S-4CO P-30W-4CO	45	9.2	9	60	--	19	27	48	74	121	183	280	383	3.5
		60	13.0	11	75	--	--	18	32	50	81	123	188	258	5.5
		90	19.0	15	125	--	--	--	20	31	50	77	117	161	8
		105	22.0	18	125	--	--	--	17	26	42	64	98	135	8
		120	25.0	20	150	--	--	--	16	25	41	62	95	130	8
	P-38S-4CO	45	12.0	10	75	--	17	25	44	68	111	168	256	351	5.5
		60	16.0	13	100	--	--	18	31	49	79	121	184	252	5.5
		90	23.0	19	125	--	--	--	20	31	51	78	118	162	8
		105	27.0	21	150	--	--	--	17	26	43	65	100	137	8
		120	31.0	24	175	--	--	--	--	23	37	56	86	118	14

〔注〕動力用電源の電源側MCCBに漏電遮断器や漏電継電器を設置する場合（非常用エレベータを除く）は、インバーター用、または高周波に対して不要動作しない製品をご使用ください。動力線はCV線の場合を示しています。

形式		速度 (m/min)	電動機容量 (kW)	電源設備容量 (kVA)	電源側MCCB定格電流 (A)	電力線サイズ別最大引き込み距離（m）【CVの場合】									接地線最小サイズ (mm²)
						3.5mm²	5.5mm²	8mm²	14mm²	22mm²	38mm²	14mm²	22mm²	38mm²	
R型	R-6-2S	45	2.1	3	20	60	93	133	232	358	583	883	--	--	2
		60	2.8	4	20	40	63	90	157	243	394	598	911	--	2
		90	4.2	5	30	26	40	58	101	156	255	386	588	806	2
		105	4.9	6	40	22	34	49	85	132	214	325	495	679	3.5
		120	5.6	6	40	18	27	39	69	107	174	265	403	553	3.5
	R-9-2S RT-9-2S	45	2.8	4	20	43	67	96	168	259	422	639	974	--	2
		60	3.7	5	30	29	45	65	113	175	284	431	657	900	2
		90	5.6	6	40	18	29	41	73	112	182	276	421	577	3.5
		105	6.5	7	40	15	24	35	61	95	154	234	357	490	3.5
		120	7.4	8	50	--	20	28	50	77	126	191	291	399	3.5
	R-13-2S	45	4.2	4	40	36	55	79	139	215	349	530	807	--	3.5
		60	5.6	5	40	24	37	53	94	144	235	356	543	744	3.5
		90	8.3	8	50	15	23	33	58	90	147	223	340	466	3.5
		105	9.7	9	60	--	19	28	49	76	123	187	285	391	3.5
		120	9.7	10	60	--	15	22	39	61	99	150	229	314	3.5
	R-15-2S	45	4.6	5	40	31	48	69	122	188	306	463	706	967	3.5
		60	6.2	6	40	21	33	48	84	129	211	319	487	667	3.5
		90	9.2	9	60	--	21	30	52	81	131	199	303	416	3.5
		105	11.0	10	60	--	17	25	44	67	110	167	254	348	3.5
		120	11.0	11	75	--	--	20	35	54	88	134	204	280	5.5
B型	B-11-2S	45	3.5	4	30	42	65	93	163	251	408	618	941	--	2
		60	4.6	5	40	28	43	62	108	167	272	412	627	860	3.5
		90	6.9	7	50	17	27	38	67	104	170	257	392	537	3.5
		105	8.1	8	50	--	23	32	57	88	144	218	332	455	3.5
	B-15-2S	45	4.6	5	40	31	48	69	122	188	306	463	706	967	3.5
		60	6.2	6	40	21	33	48	84	129	211	319	487	667	3.5
		90	9.2	9	60	--	21	30	52	81	131	199	303	416	3.5
		105	11.0	10	60	--	17	25	44	67	110	167	254	348	3.5
	B-17-2S	45	5.3	5	40	16	26	37	65	101	164	249	380	521	3.5
		60	7.1	6	50	--	17	24	42	65	106	161	246	337	3.5
		90	11.0	8	60	--	--	--	25	39	64	98	149	204	3.5
	B-20-2S	45	6.0	6	50	--	22	32	56	87	142	216	329	450	3.5
		60	8.0	7	50	--	--	20	36	56	91	139	211	290	3.5
		90	12.0	10	75	--	--	--	22	34	56	85	129	177	5.5
	B-23-2S	45	6.9	6	50	--	20	29	51	79	128	195	297	406	3.5
		60	9.2	8	60	--	--	19	33	51	83	125	191	262	3.5
		90	14.0	11	75	--	--	15	26	40	66	100	153	209	5.5
S型	S-20L-2S	45	6.0	5	40	15	23	33	58	90	146	222	338	463	3.5
		60	8.0	7	50	--	15	21	37	58	95	144	219	300	3.5
		90	12.0	10	75	--	--	--	23	35	58	88	134	184	5.5
	S-22L-2S	45	6.7	6	50	--	21	30	53	82	133	202	308	422	3.5
		60	8.9	8	60	--	--	19	34	52	85	130	198	271	3.5
		90	14.0	11	100	--	--	--	20	32	52	79	121	166	5.5
	S-26L-2S	45	8.1	7	50	--	22	31	55	85	138	210	320	439	3.5
		60	11.0	9	60	--	--	21	37	57	93	141	215	295	3.5
		90	17.0	14	100	--	--	--	23	35	57	87	133	183	5.5
F型	F-750-2S	45	3.5	4	30	42	65	93	163	251	408	618	941	--	2
		60	4.6	5	40	28	43	62	108	167	272	412	627	860	3.5
	F-1000-2S	45	4.6	5	40	31	48	69	122	188	306	463	706	967	3.5
		60	6.2	6	40	21	33	48	84	129	211	319	487	667	3.5
	F-1500-2S	45	6.9	6	50	--	20	29	51	79	128	195	297	406	3.5
		60	9.2	8	60	--	--	19	33	51	83	125	191	262	3.5
	F-2000-2S	45	9.2	9	60	--	19	27	48	74	121	183	280	383	3.5
		60	13.0	11	75	--	--	18	32	50	81	123	188	258	5.5
	F-2500-2S	45	12.0	10	75	--	17	25	44	68	111	168	256	351	5.5
		60	16.0	13	100	--	--	18	31	49	79	121	184	252	5.5

〔注〕動力用電源の電源側MCCBに漏電遮断器や漏電継電器を設置する場合（非常用エレベータを除く）は、インバーター用、または高周波に対して不要動作しない製品をご使用ください。動力線はCV線の場合を示しています。

1-2　2台/1回線

電源電圧　200～220V　50／60Hz

形式		速度(m/min)	電動機容量(kW)	電源設備容量(kVA)	電源側MCCB定格電流(A)	電力線サイズ別最大引き込み距離（m）【CVの場合】									接地線最小サイズ(mm²)
						3.5mm²	5.5mm²	8mm²	14mm²	22mm²	38mm²	60mm²	100mm²	150mm²	
P型	P-6-2CO	45	2.1	6	30	33	51	73	127	197	320	485	739	--	2
		60	2.8	8	30	22	34	49	86	133	217	328	500	686	2
		90	4.2	10	40	--	22	32	55	86	140	212	323	443	3.5
		105	4.9	12	50	--	18	26	47	72	118	178	272	373	3.5
		120	5.6	12	50	--	15	21	38	59	96	145	221	303	3.5
	P-9-2CO	45	2.8	8	30	23	37	53	92	142	231	351	535	733	2
		60	3.7	10	40	16	25	35	62	96	156	237	361	494	3.5
		90	5.6	12	50	--	16	22	40	61	100	152	231	317	3.5
		105	6.5	14	60	--	--	19	34	52	85	129	196	269	3.5
		120	7.4	16	75	--	--	15	27	42	69	105	160	219	5.5
	P-11-2CO	45	3.5	8	40	23	35	51	89	137	224	339	517	709	3.5
		60	4.6	10	50	15	23	34	59	91	149	226	345	472	3.5
		90	6.9	14	75	--	--	21	37	57	93	141	215	295	5.5
		105	8.1	16	75	--	--	18	31	48	79	119	182	250	5.5
		120	9.2	16	100	--	--	--	25	39	64	98	149	204	5.5
	P-13-2CO	45	4.2	8	50	19	30	43	76	118	192	291	443	607	3.5
		60	5.6	10	60	--	20	29	51	79	129	196	298	409	3.5
		90	8.3	16	75	--	--	18	32	49	81	122	187	256	5.5
		105	9.7	18	100	--	--	15	27	41	67	102	156	214	5.5
		120	12.0	20	100	--	--	--	21	33	54	82	126	172	5.5
	P-15-2CO	45	4.6	10	50	17	26	38	67	103	168	254	388	531	3.5
		60	6.2	12	60	--	18	26	46	71	115	175	267	366	3.5
		90	9.2	18	100	--	--	16	28	44	72	109	166	228	5.5
		105	11.0	20	100	--	--	--	24	37	60	91	139	191	5.5
		120	13.0	22	125	--	--	--	19	29	48	73	112	154	8
	P-17S-2CO	45	5.3	10	60	--	--	20	36	55	90	137	209	286	3.5
		60	7.1	12	75	--	--	--	23	36	58	88	135	185	5.5
		90	11	16	100	--	--	--	--	21	35	53	82	112	5.5
		105	13.0	20	125	--	--	--	--	18	29	45	68	94	8
		120	15.0	22	125	--	--	--	--	17	28	42	64	89	8
	P-20S-2CO	45	6.3	12	75	--	--	17	31	48	78	118	180	247	5.5
		60	8.3	14	100	--	--	--	20	31	50	76	116	159	5.5
		90	13.0	20	125	--	--	--	--	18	30	46	71	97	8
		105	15.0	24	150	--	--	--	--	16	26	39	60	82	8
		120	17.0	26	150	--	--	--	--	15	24	37	56	78	8
	P-24S-2CO P-24S-4CO P-24W-4CO	45	7.4	14	100	--	--	15	26	40	65	99	152	208	5.5
		60	9.9	18	100	--	--	--	17	26	42	64	98	134	5.5
		90	15.0	24	150	--	--	--	--	21	34	52	79	109	8
		105	18.0	28	150	--	--	--	--	17	28	43	66	91	8
		120	20.0	30	200	--	--	--	--	--	21	31	48	66	14
	P-26S-2CO	45	7.9	14	100	--	--	17	30	46	76	115	176	241	5.5
		60	11.0	18	100	--	--	--	20	31	51	77	118	162	5.5
		90	16.0	28	150	--	--	--	--	19	31	48	73	100	8
		105	19.0	30	175	--	--	--	--	16	26	40	61	84	14
		120	21.0	34	200	--	--	--	--	--	22	34	52	71	14
	P-30S-4CO P-30W-4CO	45	9.2	18	100	--	--	15	26	41	66	101	153	210	5.5
		60	13.0	22	125	--	--	--	17	27	44	68	103	142	8
		90	19.0	30	175	--	--	--	--	17	28	42	64	88	14
		105	22.0	36	200	--	--	--	--	--	23	35	54	74	14
		120	25.0	40	225	--	--	--	--	--	22	34	52	71	22
	P-38S-4CO	45	12.0	20	125	--	--	--	24	37	61	92	140	193	8
		60	16.0	26	150	--	--	--	17	27	43	66	101	138	8
		90	23.0	38	200	--	--	--	--	17	28	42	65	89	14
		105	27.0	42	250	--	--	--	--	--	23	36	55	75	22
		120	31.0	48	300	--	--	--	--	--	20	31	47	65	22

〔注〕動力用電源の電源側MCCBに漏電遮断器や漏電継電器を設置する場合（非常用エレベータを除く）は、インバーター用、または高周波に対して不要動作しない製品をご使用ください。動力線はCV線の場合を示しています。

1-2　2台/1回線

電源電圧　200～220V　50／60Hz

形式		速度(m/min)	電動機容量(kW)	電源設備容量(kVA)	電源側MCCB定格電流(A)	電力線サイズ別最大引き込み距離（m）【CVの場合】									接地線最小サイズ(mm²)
						3.5mm²	5.5mm²	8mm²	14mm²	22mm²	38mm²	60mm²	100mm²	150mm²	
R型	R-6-2S	45	2.1	6	30	33	51	73	127	197	320	485	739	--	2
		60	2.8	8	30	22	34	49	86	133	217	328	500	686	2
		90	4.2	10	40	--	22	32	55	86	140	212	323	443	3.5
		105	4.9	12	50	--	18	26	47	72	118	178	272	373	3.5
		120	5.6	12	50	--	15	21	38	59	96	145	221	303	3.5
	R-9-2S RT-9-2S	45	2.8	8	30	23	37	53	92	142	231	351	535	733	2
		60	3.7	10	40	16	25	35	62	96	156	237	361	494	3.5
		90	5.6	12	50	--	16	22	40	61	100	152	231	317	3.5
		105	6.5	14	60	--	--	19	34	52	85	129	196	269	3.5
		120	7.4	16	75	--	--	15	27	42	69	105	160	219	5.5
	R-13-2S	45	4.2	8	50	19	30	43	76	118	192	291	443	607	3.5
		60	5.6	10	60	--	20	29	51	79	129	196	298	409	3.5
		90	8.3	16	75	--	--	18	32	49	81	122	187	256	5.5
		105	9.7	18	100	--	--	15	27	41	67	102	156	214	5.5
		120	9.7	20	100	--	--	--	21	33	54	82	126	172	5.5
	R-15-2S	45	4.6	10	50	17	26	38	67	103	168	254	388	531	3.5
		60	6.2	12	60	--	18	26	46	71	115	175	267	366	3.5
		90	9.2	18	100	--	--	16	28	44	72	109	166	228	5.5
		105	11.0	20	100	--	--	--	24	37	60	91	139	191	5.5
		120	11.0	22	125	--	--	--	19	29	48	73	112	154	8
B型	B-11-2S	45	3.5	8	40	23	35	51	89	137	224	339	517	709	3.5
		60	4.6	10	50	15	23	34	59	91	149	226	345	472	3.5
		90	6.9	14	75	--	--	21	37	57	93	141	215	295	5.5
		105	8.1	16	75	--	--	18	31	48	79	119	182	250	5.5
	B-15-2S	45	4.6	10	50	17	26	38	67	103	168	254	388	531	3.5
		60	6.2	12	60	--	18	26	46	71	115	175	267	366	3.5
		90	9.2	18	100	--	--	16	28	44	72	109	166	228	5.5
		105	11.0	20	100	--	--	--	24	37	60	91	139	191	5.5
	B-17-2S	45	5.3	10	60	--	--	20	36	55	90	137	209	286	3.5
		60	7.1	12	75	--	--	--	23	36	58	88	135	185	5.5
		90	11.0	16	100	--	--	--	--	21	35	53	82	112	5.5
	B-20-2S	45	6.0	12	75	--	--	17	31	48	78	118	180	247	5.5
		60	8.0	14	100	--	--	--	20	31	50	76	116	159	5.5
		90	12.0	20	125	--	--	--	--	18	30	46	71	97	8
	B-23-2S	45	6.9	12	75	--	--	16	28	43	70	107	163	223	5.5
		60	9.2	16	100	--	--	--	18	28	45	69	105	144	5.5
		90	14.0	22	125	--	--	--	--	22	36	55	84	115	8
S型	S-20L-2S	45	6.0	10	60	--	--	18	32	49	80	122	185	254	3.5
		60	8.0	14	100	--	--	--	20	32	52	79	120	165	5.5
		90	12.0	20	125	--	--	--	--	19	32	48	73	101	8
	S-22L-2S	45	6.7	12	75	--	--	16	29	45	73	111	169	232	5.5
		60	8.9	16	100	--	--	--	18	29	47	71	108	149	5.5
		90	14.0	22	150	--	--	--	--	17	28	43	66	91	8
	S-26L-2S	45	8.1	14	100	--	--	17	30	46	76	115	176	241	5.5
		60	11.0	18	100	--	--	--	20	31	51	77	118	162	5.5
		90	17.0	28	150	--	--	--	--	19	31	48	73	100	8
F型	F-750-2S	45	3.5	8	40	23	35	51	89	137	224	339	517	709	3.5
		60	4.6	10	50	15	23	34	59	91	149	226	345	472	3.5
	F-1000-2S	45	4.6	10	50	17	26	38	67	103	168	254	388	531	3.5
		60	6.2	12	60	--	18	26	46	71	115	175	267	366	3.5
	F-1500-2S	45	6.9	12	75	--	--	16	28	43	70	107	163	223	5.5
		60	9.2	16	100	--	--	--	18	28	45	69	105	144	5.5
	F-2000-2S	45	9.2	18	100	--	--	15	26	41	66	101	153	210	5.5
		60	13.0	22	125	--	--	--	17	27	44	68	103	142	8
	F-2500-2S	45	12.0	20	125	--	--	--	24	37	61	92	140	193	8
		60	16.0	26	150	--	--	--	17	27	43	66	101	138	8

〔注〕動力用電源の電源側MCCBに漏電遮断器や漏電継電器を設置する場合（非常用エレベータを除く）は、インバーター用、または高周波に対して不要動作しない製品をご使用ください。動力線はCV線の場合を示しています。

Ⅸ－2　高調波流出電流

受電電圧：6.6kV　　低次高調波対策：無し（回路分類：31　6パルス換算係数：3.4）

型式		速度 (m/min)	電動機容量 (kW)	ステップ1　高調波発生機器明細					ステップ2　高調波電流発生量算定									
				相数	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 (kVA)	6パルス等価容量 (kVA)	受電電圧換算定格電流値 (mA)	機器最大稼働率 (%)	次数別高調波流出電流（mA）							
											5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
P型	P-6-2CO	45	2.1	3	3	1	3	10.2	263	25	43	27	6	5	3	2	2	1
		60	2.8	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		90	4.2	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		105	4.9	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		120	5.6	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
	P-9-2CO	45	2.8	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	3.7	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		90	5.6	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		105	6.5	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		120	7.4	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
	P-11-2CO	45	3.5	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		90	6.9	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		105	8.1	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
		120	9.2	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
	P-13-2CO	45	4.2	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	5.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		90	8.3	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
		105	9.7	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		120	12.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
	P-15-2CO	45	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	6.2	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		90	9.2	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		105	11.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
		120	13.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
	P-17S-2CO	45	5.3	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	7.1	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		90	11	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
		105	13.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
		120	15.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
	P-20S-2CO	45	6.3	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		60	8.3	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		90	13.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
		105	15.0	3	12	1	12	40.8	1050	25	171	108	22	20	11	8	7	5
		120	17.0	3	13	1	13	44.2	1138	25	185	117	24	22	12	9	7	5
	P-24S-2CO P-24S-4CO P-24W-4CO	45	7.4	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		60	9.9	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		90	15.0	3	12	1	12	40.8	1050	25	171	108	22	20	11	8	7	5
		105	18.0	3	14	1	14	47.6	1225	25	199	126	26	24	13	9	8	6
		120	20.0	3	15	1	15	51	1313	25	213	135	28	25	14	10	9	6
	P-26S-2CO	45	7.9	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		60	11.0	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		90	16.0	3	14	1	14	47.6	1225	25	199	126	26	24	13	9	8	6
		105	19.0	3	15	1	15	51	1313	25	213	135	28	25	14	10	9	6
		120	21.0	3	17	1	17	57.8	1488	25	242	153	32	29	16	12	10	7
	P-30S-4CO P-30W-4CO	45	9.2	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		60	13.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
		90	19.0	3	15	1	15	51	1313	25	213	135	28	25	14	10	9	6
		105	22.0	3	18	1	18	61.2	1575	25	256	161	33	30	17	12	10	7
		120	25.0	3	20	1	20	68	1750	25	284	179	37	34	19	14	11	8
	P-38S-4CO	45	12.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
		60	16.0	3	13	1	13	44.2	1138	25	185	117	24	22	12	9	7	5
		90	23.0	3	19	1	19	64.6	1663	25	270	170	35	32	18	13	11	7
		105	27.0	3	21	1	21	71.4	1838	25	299	188	39	35	20	14	12	8
		120	31.0	3	24	1	24	81.6	2100	25	341	215	45	40	23	16	14	9

受電電圧：6.6kV　　低次高調波対策：無し（回路分類：31　6パルス換算係数：3.4）

型式		速度 (m/min)	電動機容量 (kW)	ステップ1　高調波発生機器明細					ステップ2　高調波電流発生量算定									
				相数	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 (kVA)	6パルス等価容量 (kVA)	受電電圧換算定格電流値 (mA)	機器最大稼働率 (%)	次数別高調波流出電流（mA）							
											5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
R型	R-6-2S	45	2.1	3	3	1	3	10.2	263	25	43	27	6	5	3	2	2	1
		60	2.8	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		90	4.2	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		105	4.9	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		120	5.6	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
	R-9-2S RT-9-2S	45	2.8	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	3.7	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		90	5.6	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		105	6.5	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		120	7.4	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
	R-13-2S	45	4.2	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	5.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		90	8.3	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
		105	9.7	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		120	9.7	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
	R-15-2S	45	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	6.2	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		90	9.2	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		105	11.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
		120	11.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
B型	B-11-2S	45	3.5	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		90	6.9	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		105	8.1	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
	B-15-2S	45	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	6.2	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		90	9.2	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		105	11.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
	B-17-2S	45	5.3	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	7.1	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		90	11.0	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
	B-20-2S	45	6.0	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		60	8.0	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		90	12.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
	B-23-2S	45	6.9	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		60	9.2	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
		90	14.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
S型	S-20L-2S	45	6.0	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	8.0	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		90	12.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
	S-22L-2S	45	6.7	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		60	8.9	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
		90	14.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
	S-26L-2S	45	8.1	3	7	1	7	23.8	613	25	100	63	13	12	7	5	4	3
		60	11.0	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		90	17.0	3	14	1	14	47.6	1225	25	199	126	26	24	13	9	8	6
F型	F-750-2S	45	3.5	3	4	1	4	13.6	350	25	57	36	7	7	4	3	2	2
		60	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
	F-1000-2S	45	4.6	3	5	1	5	17	438	25	71	45	9	8	5	3	3	2
		60	6.2	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
	F-1500-2S	45	6.9	3	6	1	6	20.4	525	25	85	54	11	10	6	4	3	2
		60	9.2	3	8	1	8	27.2	700	25	114	72	15	13	8	5	5	3
	F-2000-2S	45	9.2	3	9	1	9	30.6	788	25	128	81	17	15	8	6	5	4
		60	13.0	3	11	1	11	37.4	963	25	156	99	20	19	10	7	6	4
	F-2500-2S	45	12.0	3	10	1	10	34	875	25	142	90	19	17	9	7	6	4
		60	16.0	3	13	1	13	44.2	1138	25	185	117	24	22	12	9	7	5

Ⅸ－3 非常用連絡装置　⚠注意

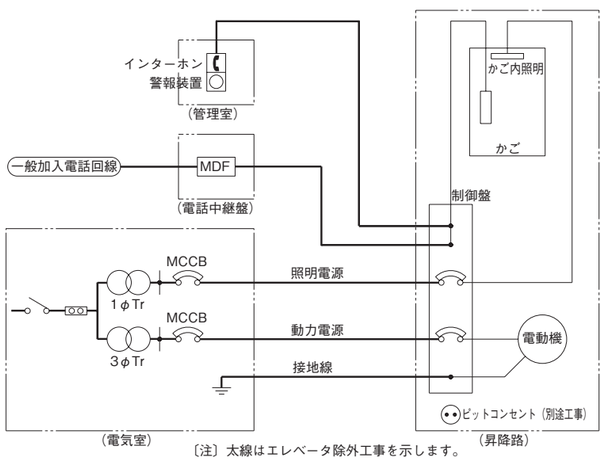
事故、故障等の場合、かご内から外部へ連絡するため、通話または通信装置が必要です。
管理の形態によって、下記のように非常用連絡装置（インターホン）の設置が必要です。（指導指針）

	管　理　形　態	非常用連絡装置（インターホン）設置基準
1	管理人が常駐する場合	管理人室等に1カ所
2	管理人室はあるが、管理人が常駐しない場合	管理人室等に1カ所、居住階の最下階または避難階の乗降ロビーに1カ所、計2カ所
3	管理人がいない場合	居住階の最下階または避難階の乗降ロビーに1カ所
4	管理人がいない場合で、電話回線等を利用した自動通報装置を設ける場合	必ずしも設置しなくてもよい。ただし、防犯用警報装置は、かご、もしくは居住階の最下階などに設ける。（行政庁によっては設置を義務付けられる場合があります）

Ⅸ－4　電気設備　⚠警告

動　力　電　源	●エレベータを円滑に運行するため、適正な電源計画をしてください。エレベータ受電端における電源電圧の変動は±2%以内としてください。また、電圧不平衡率は5%以内に保ってください。
照　明　電　源	●かご内照明の点灯、かご上の保守作業に使用します。動力電源とは別系統とし、電圧変動は ±5%以内に保ってください。（1φAC100V10A ／台）
インターホン警報装置	●非常時にかご内と外部との通話に必要な設備ですので、インターホンの親機は常時管理責任者のいる管理人室、中央管理室あるいは乗降ロビーに設置してください。なお、親機取付場所からエレベータ昇降路までの配管、配線工事はエレベータ除外工事として別途施工願います。 ●配管、配線工事をスムーズに行うために、親機の取付場所は建築設計の早期にご決定ください。 1台の場合：管理室 インターホン（親機）警報装置 ― CPEVO.9-7P以上（別途工事） ― 制御盤 ― エレベータ 2台(同一昇降路)の場合：管理室 インターホン（親機）警報装置 ― CPEVO.9-10P以上（別途工事） ― 制御盤 ― エレベータ／制御盤 ― エレベータ
点検用コンセント	●ピットで保守作業を行う際に必要となりますので、出入口側床下に設置してください。（1φAC100V10A）
電　　話　　線	●遠隔保守監視サービスを行う際、必要になります。

Ⅸ－5　電気系統図



〔注〕太線はエレベータ除外工事を示します。

Ⅹ　その他

Ⅹ－1　工事範囲について

次の項目については除外工事としてエレベータの見積りに含まれておりませんので、建築・設備工事として施工くださるようお願いいたします。

区分	No.	除外工事の内容	備　　考
建築工事関係	1	十分な強度の昇降路築造・耐火処理工事および各階乗場穴あけ工事。（インジケーター・押ボタン用穴を含みます）	●コンクリート打ちの誤差が25㎜以上ある所は、必要に応じ、はつりまたは肉付け工事を願います。 ●鉄骨構造の昇降路では、鉄骨部分の耐火処理工事を願います。
	2	鉄骨構造階の乗場出入口枠、敷居、インジケーター、押ボタンなどの取付用下地鋼材の設置工事。	PC構造の場合は、インサート埋込み工事または下地鋼材を設置ください。
	3	各階乗場の出入口枠と壁間のモルタル詰めもしくはロックウール詰めおよび耐火処理工事。	
	4	乗場関係機器取付後の各階出入口周囲の壁、および床の仕上げ工事。	
	5	確認図と躯体が異なる場合のはつり工事。	
	6	中間ビーム設置工事。	
	7	鉄骨構造階､PC構造のレールブラケット取付用ファスナー設置工事。	レール支持用柱となる場合もあります。
	8	ピット内転落防止柵工事。	併設エレベータでピットに段差がある場合に必要です。
	9	通過階のある場合の非常救出口設置工事およびフェッシャープレート取付工事。	10mを超えない範囲で、昇降路に非常救出口（幅750㎜×高さ1200㎜）を設置してください。
	10	ピット内防水工事。（必要に応じて排水設備工事を含みます。）	
	11	ピットが深い場合の埋め戻し工事。	
	12	昇降路と居室が隣接する場合の防音工事。	
	13	昇降路頂部のフック又は、吊ビーム取付工事。	誤差±50㎜以内で設置ください。
	14	昇降路を竪穴区画するための防火設備の設置。	当社の遮煙エレベータ乗場ドア採用の場合は不要です。
設備工事関係（電気）	1	エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・クーラー用電源（クーラーありの場合）・接地線の引込みならびに、つなぎ込み工事。	電源電圧の変動は＋2%から－2%以内。電圧不平衡率は5%以内。
	2	エレベータ用自家発電源の供給工事。(自家発時管制運転のある場合)	
	3	昇降路外のインターホン・警報装置配管配線工事。	
	4	昇降路外の監視盤用配管配線工事。	
	5	監視盤操作用電源の監視盤までの引き込み工事。	AC/GCまたは無停電電源としてください。
	6	買電、自家発電源識別用無電圧接点の信号線の引き込み工事。（自家発時管制運転のある場合）	
	7	ピット内点検用コンセント設置工事。	容量100V 10A
	8	昇降路頂部の煙感知器の設備工事。	
	9	エレベータ遠隔保守監視用電話回線（電話中継盤からエレベータ制御盤まで）の配管配線工事。	呼び線含みます。
	10	医療機器、放送用機器、コンピュータ機器などの電源と、エレベータ動力用電源の電源系統分離工事。	
	11	遮煙エレベータ乗場ドアを設置する場合、自動火災報知機からの火災報知信号（エレベータ制御盤まで）の配管配線工事。（自動火災報知設備を必要としない建物であっても必要です。）	
仮設工事関係	1	据付工事用現場詰所および材料置場を無償貸与願います。	
	2	据付工事用仮設電源、および試運転調整用電力等は無償支給願います。	動力および照明用電源共、本設電源配管経路で引込みください。
	3	据付工事用砂、セメント、水等は無償貸与願います。	
	4	工事中の囲いを施工願います。	
	5	エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。	必要に応じて穴あけ工事およびその復旧工事を含みます。
	6	エレベータを工事用として使用される場合は、別途ご用命ください。	
	7	仮設使用をする場合の出入口およびかご内養生工事。	
注意事項	1	昇降路には、他の用途の配管、ダクト等が露出しないように願います。	
	2	昇降路は、有害ガスや甚だしい塵埃などが入らないようにしてください。	
	3	昇降路および出入口は風雨にさらされたり、塩分の影響を受けないようにしてください。	
	4	出入口には直射日光が当たらないようにしてください。	
	5	昇降路内の温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。（必要に応じて昇降路に換気設備を設置願います。）	

この設計資料に掲載した内容は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

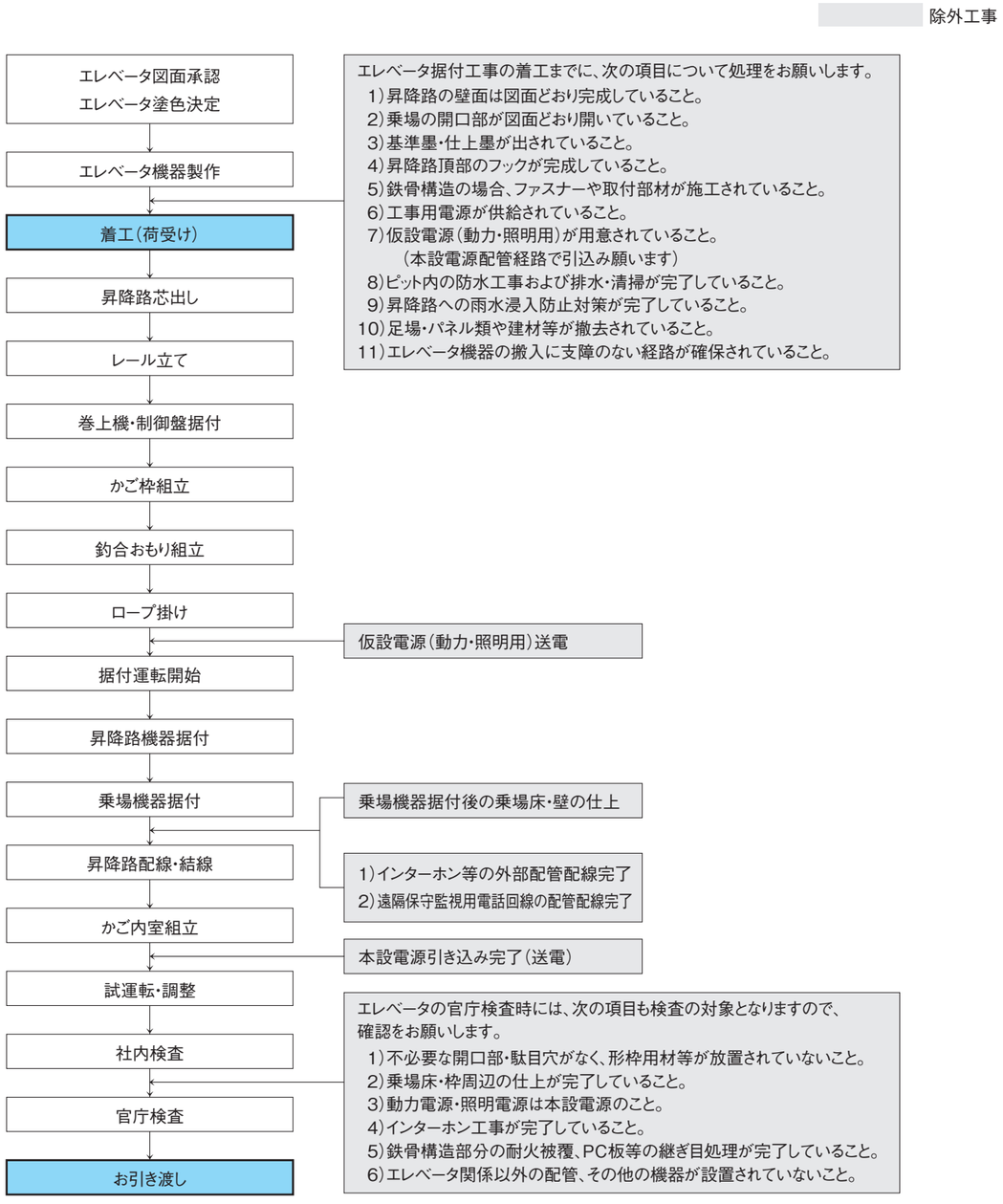
⚠安全に関するご注意

●法令を遵守してください。
●ご使用前に管理・取扱説明書および操作説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

X－2　据付工程

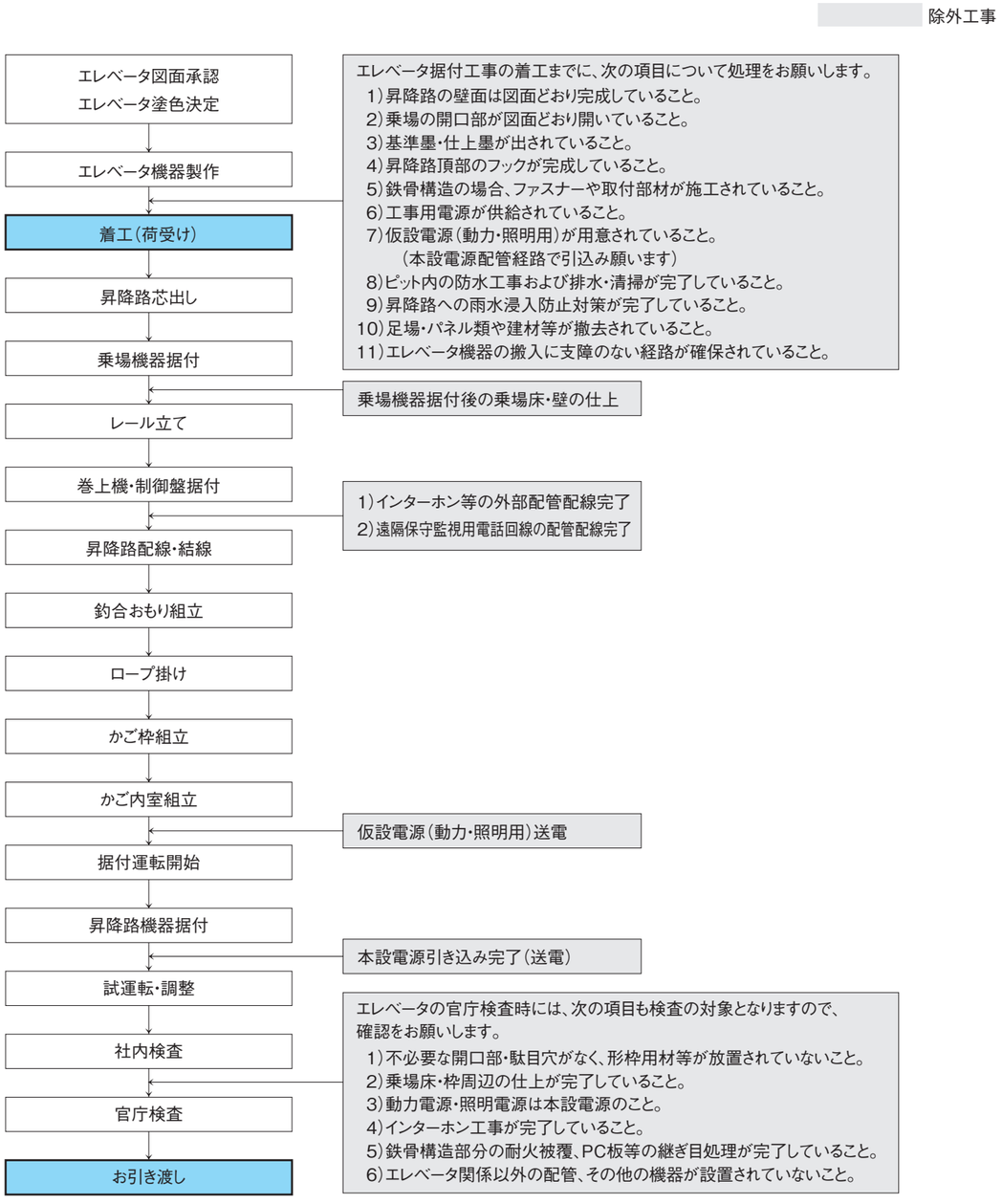
2－1　積載1000kg以下

下図に積載1000kg以下の標準据付工程を示します。据付並びに工事区分・施工時期についてご理解・ご協力をお願いいたします。
なお、据付工程は機種・昇降行程・仕様等により異なる場合がありますので、詳細については別途ご相談ください。



2－2　積載1000kg超

下図に積載1000kg超の標準据付工程を示します。据付並びに工事区分・施工時期についてご理解・ご協力をお願いいたします。
なお、据付工程は機種・昇降行程・仕様等により異なる場合がありますので、詳細については別途ご相談ください。



仕様一覧表

※E非常用はP乗用の欄をご確認ください。

● 基本仕様　純正で搭載されている機能
★ 標準装備仕様　純正で搭載されているが、外すことができる機能
■ 有償付加仕様　有償オプションになる機能

機能一覧

項目	仕様	内容	P乗用、R住宅用、S人荷共用	B寝台用	F荷物用	備考
運転方式	乗合全自動方式 (SC)	エレベータは登録されている複数の呼びに順次応答します。	●	●	●	F荷物用はシングルオートマチック（単式自動方式）仕様にも対応可能です。
	群乗合全自動方式 (2SC)	2台のエレベータが連携し、乗場の呼びを効率良くサービスします。	■	■	—	—
	群管理方式(GSO) FLEX-NX100	複数のエレベータを効率良くサービスします。各エレベータの位置や運転方向から最適なエレベータを割り当てます。	■	■	—	—
	群管理方式(GSO) FLEX-NX202	建物の交通需要を時間ごとに学習し、将来発生する利用者の待ち時間も仮想的に評価して、より効率的な群管理制御を行います。	■	■	—	—
	行先階登録システム 「EZ-SHUTTLE」 （イージーシャトル）	利用者が乗場で行先階を登録することにより、効率的なエレベータの運行制御をする次世代のエレベータ群管理システムです。	■	■	—	—
	専用運転	任意の階に直通運転をします。	■	●	★	F荷物用のシングルオートマチックは適用外です。
表示機能	かご内 液晶インジケーター	8.4インチの液晶インジケーターを搭載します。	●	●	●	青（グラデーション有り）の標準背景色に加え、有償付加仕様の意匠バリエーションとして、赤・黄・グレー（グラデーション有り）と、黒・グレー（グラデーション無し）があります。
	情報モニター	かご内の液晶インジケーター下に8.4インチの液晶モニターを設置し、時事通信社のニュースと日本気象協会の天気予報を配信します。	■	■	—	配信サービスには別途契約が必要です。
	混雑度表示	かご内の乗車状況を乗場インジケーターに表示します。エレベータ到着前に乗場からかご内の乗車状況を把握することができます。	★	★	—	デジタルインジケーターは適用外です。
地震対策	地震時リスタート 運転機能	地震時管制運転中に地震の揺れで安全装置が作動し、エレベータが停止しても、エレベータの安全を確認すると地震時管制運転を再開します。	●	●	●	—
	P波センサー付き 地震時管制運転 「ウェイビック-P」	地震の初期微動をキャッチし、エレベータを最寄り階に速やかに到着させ、ドアを開きます。利用者の閉じ込めや機器の損傷を防ぎます。	●	●	●	7m以下の場合は標準装備仕様。
	緊急地震速報連動 管制運転	気象庁から配信される「緊急地震速報」をエレベータと連動させ、本震が到達する前に自動的に最寄り階へ停止させ、ドアを開きます。	■	■	■	緊急地震速報受信解析装置の設置および配信サービス契約は当社工事範囲外です。別途手配ください。
停電対策	停電時自動着床装置 「ランディック」	停電によりエレベータが停止しても、バッテリー電源でエレベータを最寄り階へ到着させ、ドアを開きます。かご内停電灯と液晶表示、音声案内があり利用者も安心です。	●	●	●	—
	自家発時管制運転	停電時に自家発電源を使用して、エレベータを帰着階に呼び戻し待機させたり、継続運転させることができます。	■	■	■	自家発電源は当社工事範囲外です。別途手配ください。
火災対策	火災時管制運転	エレベータが火災信号を受信すると、液晶表示と音声で案内しながら、避難階に到着させ、ドアを開きます。	★	★	★	火災発生信号は除外工事となります。
	遮煙エレベータ乗場ドア 「スモークタイト」	乗場ドアと枠、敷居のすき間を特殊気密材で密閉し、乗場ドアに遮煙性能を持たせます。	■	■	■	遮煙エレベータ乗場ドアの設置には、停電時自動着床装置と火災時管制運転の設置が必要です（認定条件による）。

項目	仕様	内容	P乗用、R住宅用、S人荷共用	B寝台用	F荷物用	備考
水害対策	冠水時管制運転	水害などでピット部（最下階床面から昇降路底までの部分）が浸水（冠水）する場合に、ピット内フロートスイッチが水量を検知し、エレベータを最下階以外の最寄り階でドアを開きます。	★	★	★	—
その他運転機能	最寄り階救出運転	エレベータが停止階の間で停止した場合、エレベータの安全を確認した上で、自動的に最寄り階まで低速運転し、ドアを開きます。	●	●	●	—
	ドア開放不能時救出運転	ドアを開くことができない場合、他の階へ自動的に救出運転を行い、ドアの開放を試みます。	●	●	●	—
	乗り過ぎ検出 （警報音、音声案内）	乗り過ぎを検出した場合にかご内の警報音、音声案内にて降車を促します。乗り過ぎが解消されるまで、ドアは閉まりません。	●	●	●	F荷物用は警報音のみです。
	満員通過	かご内が満員である場合、途中の乗場呼びには応答せず、かご呼びにのみに応答して走行します。	★	★	—	—
運転操作	いたずら呼びキャンセル	いたずらと推測されるかご呼びボタンの操作があった場合、その操作を無効とするとともに、既に登録されたかご呼びを取り消します。	●	●	●	—
	タイマー自動休止	夜間や休日などあらかじめ指定した時間帯に自動でエレベータを休止させます。	■	■	■	—
ドア周りの安全機能	セーフティー ドアリターン	ドアの開閉途中に物などが挟まれた場合、素早くドアが反転します。	●	●	●	—
	ドア開き警報	エレベータの走行中にかご内の利用者がいたずらで無理にドアを開けようとした場合、警報音を鳴らして注意を促します。	●	●	●	—
	カードアポケット センサー	戸袋部やドア重なり部に赤外線ビームを照射し、ドアに近づく利用者の手や荷物を検知すると、一旦ドアを停止し、ゆっくりドアを開きます。	★	★	—	ドア寸法によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。
	光電式ドアニック	乗場側に向けて赤外線ビームを照射し、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。	★	★	■	ドア寸法によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。また、画像認識ドアニックとの併用はできません。
	光電式多光軸センサー	出入口に赤外線ビームを照射し、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。	★	★	■	ドア寸法によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。また、2光軸ドアセンサーとの併用はできません。
	2光軸ドアセンサー	出入口の赤外線センサーで、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。	■	■	■	光電式多光軸センサーとの併用はできません。
	画像認識ドアニック	利用者の移動方向や行動を分析し、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。	■	■	—	建物状況によっては設置できない場合があります。また、光電式ドアニックとの併用はできません。
	ドアエッジセンサー	ひもやコードを検知し、ドアを反転して開きます。	■	■	—	ドア寸法に制限がありますので、詳細は当社にご相談ください。
	ドアウィンカー	ドアが閉まるタイミング、開くタイミングを、かご内の幕板に設けたLEDの点滅でお知らせします。	■	■	—	—

※E非常用はP乗用の欄をご確認ください。

● 基本仕様　純正で搭載されている機能
★ 標準装備仕様　純正で搭載されているが、外すことができる機能
■ 有償付加仕様　有償オプションになる機能

機能一覧

項目	仕様	内容	P乗用、R住宅用、S人荷共用	B寝台用	F荷物用	備考
セキュリティー機能	各階強制停止運転（各停運転）	エレベータの悪用を防止するため、目的階までの各階でドアの開閉を行う設定ができます。	●	●	—	—
	パーキングスイッチ	夜間や休日などエレベータを使用しない場合、休止することができます。	★	★	★	—
	かご内暴れ行動検出	かご内の暴れを検知すると音声で注意喚起します。激しい暴れであれば最寄り階へ到着後、所定時間運転休止となります。	■	■	—	建物状況によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。
	防犯モニター	かご内に取り付けた小型カメラからの映像を液晶モニターで常時映し出します。	■	■	—	—
	防犯運転	利用者がかご内の「インターホン呼びボタン」を押すと、所定時間、ブザーを鳴らすとともに目的階まで各階停止で運転します。	■	—	—	R住宅用は標準装備仕様。
	かご呼び暗証番号登録	特定階に対してあらかじめ設定した暗証番号を知っている人だけが、その階のかご呼び登録を行うことができます。	■	■	■	—
	かご内防犯カメラ「NEWセキュリアV」	エレベータ専用のかご内防犯カメラです。人感センサーでかご内の人を検知して録画します。	■	■	■	—
	セキュリティーシステム連動運転	建物共用部のセキュリティーと連動運転が可能です。	■	■	—	共用部セキュリティーは当社工事範囲外です。別途手配ください。
	防犯窓	乗場ドアとかごドアにガラス窓を設けます。	■	■	—	E非常用は適用外です。
	セキュリティー運転	あらかじめ指定された階にエレベータを停止させない、またはエレベータを呼べないようにします。	■	■	■	—
音声機能	かご内音声案内装置「ボニック」	かご内の利用者にアナウンスを行います。	●	●	—	基本仕様の適用範囲は標準メッセージのみです。
	多言語応対音声案内（ボニック）・文字表示	通常時は日英の2カ国語、緊急時は日英中韓4カ国語でかご内の利用者にアナウンスを行います。文字も同様に表示します。	●	●	—	緊急時の中国語表示は繁体字と簡体字。
	走行お知らせ音	エレベータ走行中に途中階通過のタイミングでサイン音を放送します。	●	●	—	停止数が2カ所の場合は放送できません。BGMがある場合やアナウンスが多い場合は対応できない場合があります。
ボタン機能	かご・乗場ボタン発音機能	ボタンを押すと電子音でお知らせし、ボタンの登録が有効になっていることを確認できます。	●	●	●	テンキータッチパネルと大型タッチパネルに本機能はありません。
	タクタイルボタン	凹凸で数字や表示をくっきり浮き立たせたボタンです。	●	●	●	F荷物用で操作方法がシングルオートマチックの場合は、当社にご相談ください。
	大型「開」ボタン	他のボタンよりサイズを大きくした操作しやすい開ボタンです。	●	●	●	—
	カラー区別ボタン	開ボタンとインターホン呼びボタンを認識しやすいよう、他のボタンの色と区別しています。	●	●	●	—
	ドア開き延長ボタン	ドアの開放時間を延長します。	■	●	★	シングルオートマチックは除く。

項目	仕様	内容	P乗用、R住宅用、S人荷共用	B寝台用	F荷物用	備考
ボタン機能	応答灯付きインターホン呼びボタン	ボタンを押すとマークが点灯し、通話可能になると点滅します。	■	■	—	—
	点字プレート	かご操作盤や乗場ボタンに点字を付けることができます。	■	■	—	—
	大型ボタン	高齢者や身体にハンディキャップのある方でも、操作しやすい大きなボタンです。	■	■	■	—
ユニバーサルデザイン	敷居すき間10mm	乗場とかごの敷居のすき間を10mmに縮小しました。	●	●	■	最小階高に制限があります。F荷物用は30mmが基本仕様となります。分速120mとE非常用は適用外です。
	車いす仕様	車いすを使用する方に配慮した仕様です。	■	■	—	P乗用6名乗りは適用外です。
	2色タイル	かご床タイルを敷き分けて、車いすなどの乗降をスムーズにします。	■	■	—	—
	フルハイトミラー	かご背面に設置する床面から天井までのミラーです。車いすの方が安心して乗降できます。	■	■	—	—
クリーン機能	抗菌ボタン	素材に抗菌性樹脂が練り込まれたボタンです。	●	●	●	タクタイルボタンのみ対応。
	プラズマクラスターイオン発生装置「イオンフル」	エレベータの換気装置にプラズマクラスターイオン発生装置を組み込み、かご内の空気を快適にします。	●	●	■	天井ファン（F荷物用は有償付加仕様）またはクーラー設置の場合のみ可。
	クーラー	かご内室温の上昇を抑えます。	★	★	—	P乗用6名乗り、B寝台用の一部の天井タイプは適用外です。E非常用は有償付加仕様です。詳細は当社にご相談ください。設置には、建築設備として昇降路に換気設備の工事が必要な場合があります。
	ペットボタン	ペットが同乗していることを各階の乗場に表示するボタンです。ボタンはかご内に設置されます。	■	—	—	—
	森林浴消臭装置	植物由来の香り成分の働きで、かご内の空気中の臭い物質を中和・消臭します。	■	■	—	クーラーとの併用はできません。
	手垢対策	指紋の跡が付きにくい特殊コーティングをエレベータのステンレス部分に施します。	■	■	■	—
	非接触呼び登録	行先階ボタンに手をかざすと、赤外線センサーが遮光され、呼び登録される操作盤です。	■	—	—	R住宅用、E非常用は適用外です。かご内はかご副操作盤への設置に限定します。また、設置スペースに制約があるため、詳細は当社にご相談ください（制約の例：最大停止数は7停、非常呼びボタンと開閉ボタンは押しボタン式）。
環境配慮機能	天井LED照明	かご天井の照明にLED照明を採用します。	●	●	●	カタログ掲載の天井タイプ以外につきましては制限があります。
	シックハウス対策	かご内で使用する材料は、シックハウス対策に対応しています。	●	●	●	—
	かご照明とファンまたはクーラーの自動休止	かご内に利用者がいないとき、自動的に照明、ファンまたはクーラーを停止させて電力消費を節減します。	●	●	●	F荷物用は天井ファン設置の場合のみ適用。
	回生システム	エレベータの運転時に発生した回生電力を、建物内の他の電気設備に有効利用します。	■	■	■	建物の電源設備によっては、設置できない場合があります。本機能の搭載に際して、昇降路寸法を広げる必要がある場合もございます。詳細は当社にご相談ください。

※E非常用はP乗用の欄をご確認ください。

● 基本仕様 純正で搭載されている機能
★ 標準装備仕様 純正で搭載されているが、外すことができる機能
■ 有償付加仕様 有償オプションになる機能

機能一覧

項目	仕様		P乗用、R住宅用、S人荷共用	B寝台用	F荷物用	備考
かご	天井	SC-01	●	●	●	—
		SCD-01	■	—	—	—
		SCD-02	■	—	—	—
		SCD-03	■	■	—	E非常用は適用外です。
		EX-11	■	■	—	—
		DX-11	■	■	—	E非常用は適用外です。
		DX-12	■	■	—	E非常用の場合は、当社にご相談ください。
		DX-13	■	—	—	—
		DX-14	■	—	—	E非常用は適用外です。
	側壁・ドア	化粧鋼板	●	●	●	天井をカタログ記載寸法より高くする場合は、当社にご相談ください。
		鋼板塗装	■	■	■	—
		ステンレス	■	■	■	F荷物用はヘアライン仕上げのみ対応となります。
		鋼板化粧シート貼り	■	■	—	—
	袖壁	ステンレスバイブレーション仕上げ	●	●	—	—
		ステンレスヘアライン仕上げ	■	■	●	—
		鋼板塗装	—	—	■	入口柱（ステンレスヘアライン仕上げ）付きとなります。
	幅木	アルミアルマイト仕上げ	●	●	●	F荷物用は荷重条件によって、幅木なしの場合があります。
		ステンレスヘアライン仕上げ	■	■	■	—
	ガード	ステンレス製スタッド固定式	■	■	■	通常床面から高さ300mm、F荷物用の場合は、1000mmとなります。
	床	ビニールタイル	●	●	—	—
		ゴムタイル	■	★	●	振動に弱い荷物の運搬、また台車などの車軸が鉄製でない場合に適用してください。
		ビニールタイル（ウッド調、大理石調）	■	■	—	—
	敷居	硬質アルミ製	●	●	●	ステンレス製は有償付加仕様。
	保護幕		■	■	■	—
	床マット		■	■	—	—
	手すり		■	■	—	—

項目	仕様		P乗用、R住宅用、S人荷共用	B寝台用	F荷物用	備考
かご	ストレッチャーガード	アルミ製（端部は樹脂製）	—	●	—	—
		ステンレスヘアライン仕上げ	—	■	—	—
	かご床強度増し		■	★	■	P乗用、R住宅用は適用外です。 詳細は24ページ「1回に積み込める最大質量（kg）」をご確認ください。
	フルハイトミラー		■	■	—	—
かご操作盤	液晶インジケーター搭載操作盤	フルハイトタイプ	●	●	—	E非常用は平板タイプが基本仕様。
		平板タイプ	■	■	●	—
	副操作盤		■	■	—	R住宅用、B寝台用は側壁に設置されます。
	車いす用操作盤		■	■	—	—
乗場	枠	小枠	●	●	●	—
		大枠	■	■	■	—
		大枠幕板付き	■	■	—	—
		大枠幕板付き面一タイプ	■	■	—	—
		ストライクパネル付き小枠	■	■	—	P乗用は適用外です。
		フロントパネル付き小枠	■	—	—	R住宅用のみ適用。 P乗用、S人荷共用、E非常用は適用外です。
		ホールボタン・インジケーター一体型枠	■	■	—	—
	敷居	硬質アルミ製	●	●	●	ステンレス製は有償付加仕様。
	枠・幕板・ドア	化粧鋼板	●	●	●	枠を2350mmより高くする場合は、当社にご相談ください。
		鋼板塗装	■	■	■	—
		ステンレス	■	■	■	—
乗場操作表示器	液晶インジケーター		★	★	■	F荷物用はデジタルインジケーターが基本仕様。
	デジタルインジケーター		■	■	●	—
	ホールランタン		■	■	—	群管理方式では乗場インジケーターの代わりにホールランタンを設置します。
乗場操作盤	樹脂製		●	●	—	—
	ステンレス製		■	■	●	—